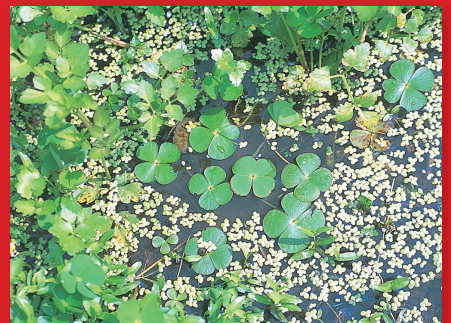


Threatened Wildlife of Akita Prefecture

秋田県の絶滅の おそれのある 野生生物



秋田県版レッドデータブック2014
[維管束植物]



Red Data Book of
Akita Prefecture 2014
Vascular Plants



秋田県

◎表紙写真

フシグロセンノウ 撮影 高田 順	ミヤマツチトリモチ 撮影 脇坂良子	デンジソウ 撮影 高田 順
タカサゴソウ 撮影 菊地卓弥		オゼコウホネ 撮影 沖田貞敏
フナバラソウ 撮影 高田 順	ヒメヒゴタイ 撮影 沖田貞敏	ヤマトグサ 撮影 脇坂良子

Threatened Wildlife of Akita Prefecture

秋田県の絶滅の おそれのある 野生生物

秋田県版レッドデータブック2014
[維管束植物]



Red Data Book of
Akita Prefecture 2014
Vascular Plants



改訂版の発刊にあたって



秋田県は、海岸から山岳に至るまで変化に富んだ地形・地質を有しており、湿潤な気候の下で、豊かな自然が育まれてきました。また、県内の里地里山には、人が手を加え続けることにより形成され、維持されてきた水田や雑木林などの二次的自然も広く見ることができます。本県には、このように恵まれた自然環境の中で、多種多様な野生生物が生息・生育しています。

こうした豊かな自然が残されている本県にあっても、産業構造の変化や様々な開発行為による土地の改変、過疎化・少子高齢化による手入れ不足などにより、野生生物の生息・生育環境は大きな影響を受けており、多くの種において生存が危ぶまれています。

地球上には、それぞれの環境に適応して進化した多種多様な生物が、他の多くの生物と互いに関わり合いながら生きています。私たちは、暮らしに不可欠な水や食料はもとより、地域の経済活動や固有の文化など、日々の生活が生物多様性からの恵みによって支えられていることを改めて認識するとともに、その恵沢を将来にわたり享受することができるよう、生物多様性の保全に取り組んでいかなければなりません。

このため、県では、平成23年6月に策定した「第2次秋田県環境基本計画」において、「生物多様性の確保」を環境保全に関する重点プロジェクトとして位置付け、野生生物の絶滅の危険性を評価した秋田県版レッドリストの見直しを行うなど、生物多様性の保全に向けた取組を進めてまいりました。

こうした中、この度、県内に生育する維管束植物について、その現状を踏まえながら絶滅の危険性の再評価を行い、「秋田県の絶滅のおそれのある野生生物－秋田県版レッドデータブック2014－維管束植物」を取りまとめたところであります。

つきましては、本書が、県民の皆様の野生生物とその生育環境への理解を一層深めるための一助となるとともに、研究者や各関係機関等の方々におかれましては、野生生物の保護対策に幅広く活用していただければ幸いです。

結びに、本書の発刊にあたり御協力いただきました秋田県版レッドデータブック改訂検討委員会の委員をはじめとする関係者の皆様と、長年にわたり野生生物の調査・研究に取り組んでこられた皆様に、心からお礼申し上げます。

平成26年3月

秋田県知事 佐竹 敬久



ヒメイワトラノオ 絶滅危惧 IA類

撮影 脇坂良子 P.43



オクヤマワラビ 絶滅危惧 IA類

撮影 沖田貞敏 P.45



イチヨウシダ 絶滅危惧 IA類

撮影 藤原重栄 P.44



デンジソウ 絶滅危惧 IA類

撮影 高田 順 P.46



ツクシイワゴ 絶滅危惧 IA類

撮影 菊地卓弥 P.44



イチイ 絶滅危惧 IA類

撮影 高田 順 P.46



イワヘゴ 絶滅危惧 IA類

撮影 菊地卓弥 P.45



ミヤマカワラハンノキ 絶滅危惧 IA類

撮影 沖田貞敏 P.46



ミヤマツトリモチ 絶滅危惧 IA類

撮影 脇坂良子 P.47



エゾオオヤマハコベ 絶滅危惧 IA類

撮影 松田義徳 P.49



エゾノミズタデ 絶滅危惧 IA類

撮影 沖田貞敏 P.47



アズマレイジンソウ 絶滅危惧 IA類

撮影 沖田貞敏 P.50



フシグロセンノウ 絶滅危惧 IA類

撮影 高田 順 P.48



ツルケマン (ツルケマン) 絶滅危惧 IA類

撮影 沖田貞敏 P.51



シラオイハコベ 絶滅危惧 IA類

撮影 高田 順 P.48



ハクセンナズナ 絶滅危惧 IA類

撮影 熊谷 隆 P.52



ホクリクネコノメ 絶滅危惧 IA類

撮影 沖田貞敏 P.53



ミヤマハハソ 絶滅危惧 IA類

撮影 高田 順 P.56



ヒメウメバチソウ 絶滅危惧 IA類

撮影 脇坂良子 P.53



ゲンジスミレ 絶滅危惧 IA類

撮影 脇坂良子 P.57



バイカウツギ 絶滅危惧 IA類

撮影 高田 順 P.54



カラフトイチヤクソウ 絶滅危惧 IA類

撮影 沖田貞敏 P.58



タカネナカマド 絶滅危惧 IA類

撮影 脇坂良子 P.56



アイナエ 絶滅危惧 IA類

撮影 沖田貞敏 P.60



ハナイカリ 絶滅危惧 IA類

撮影 脇坂良子 P.60



カリガネソウ 絶滅危惧 IA類

撮影 児玉 勉 P.62



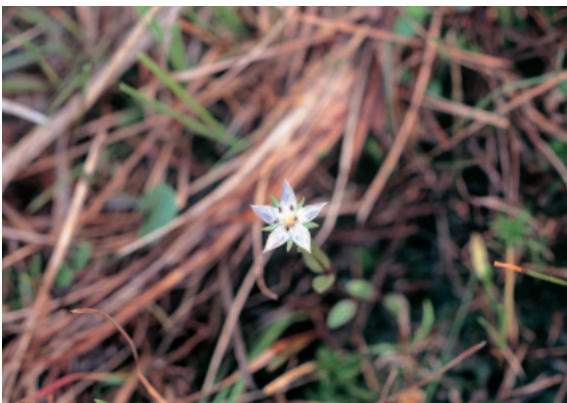
ミヤマアケボノソウ 絶滅危惧 IA類

撮影 脇坂良子 P.60



カイジンドウ 絶滅危惧 IA類

撮影 高田 順 P.62



イヌセンブリ 絶滅危惧 IA類

撮影 高田 順 P.61



ハダカホオズキ 絶滅危惧 IA類

撮影 松田義徳 P.63



フナバラソウ 絶滅危惧 IA類

撮影 高田 順 P.61



ミヤマシオガマ 絶滅危惧 IA類

撮影 脇坂良子 P.64



ゴマノハグサ 絶滅危惧 IA類

撮影 高田 順 P.64



ガンジュアザミ 絶滅危惧 IA類

撮影 高田 順 P.67



シデシャジン 絶滅危惧 IA類

撮影 沖田貞敏 P.66



タカサゴソウ 絶滅危惧 IA類

撮影 菊地卓弥 P.68



エゾノコギリソウ 絶滅危惧 IA類

撮影 高田 順 P.66



マルバダケブキ 絶滅危惧 IA類

撮影 沖田貞敏 P.69



サマニヨモギ 絶滅危惧 IA類

撮影 脇坂良子 P.66



オヤリハグマ 絶滅危惧 IA類

撮影 大日向真英 P.70



ヒメヒゴタイ 絶滅危惧 IA類

撮影 沖田貞敏 P.70



イトクズモ 絶滅危惧 IA類

撮影 高田 順 P.72



エゾオグルマ 絶滅危惧 IA類

撮影 高田 順 P.70



マルバサンキライ 絶滅危惧 IA類

撮影 菊地卓弥 P.73



ウリカワ 絶滅危惧 IA類

撮影 高田 順 P.71



コジマエンレイソウ 絶滅危惧 IA類

撮影 高田 順 P.73



ツツイトモ 絶滅危惧 IA類

撮影 高田 順 P.72



ヤブミョウガ 絶滅危惧 IA類

撮影 松田義徳 P.74



ミヤマノガリヤス 絶滅危惧 IA類

撮影 沖田貞敏 P.75



アゼナルコ 絶滅危惧 IA類

撮影 菊地卓弥 P.78



ヌマドシヨウツナギ 絶滅危惧 IA類

撮影 沖田貞敏 P.76



ヤラメスゲ 絶滅危惧 IA類

撮影 高田 順 P.79



モウコガマ 絶滅危惧 IA類

撮影 高田 順 P.77



ナツエビネ 絶滅危惧 IA類

撮影 猿田 基 P.81



アワボスゲ 絶滅危惧 IA類

撮影 高田 順 P.78



ハマカキラン 絶滅危惧 IA類

撮影 人見和男 P.81



ヒロハツリシュスラン 絶滅危惧 IA類 撮影 山口 実 P.82



スギラン 絶滅危惧 IB類 撮影 脇坂良子 P.84



サカネラン 絶滅危惧 IA類 撮影 沖田貞敏 P.82



オオハナワラビ 絶滅危惧 IB類 撮影 高田 順 P.85



ウチョウラン 絶滅危惧 IA類 撮影 沖田貞敏 P.83



ヤブソテツ 絶滅危惧 IB類 撮影 高田 順 P.87



コスギラン 絶滅危惧 IB類 撮影 高田 順 P.84



オクヤマシダ 絶滅危惧 IB類 撮影 沖田貞敏 P.87



ツヤナシノデ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.88



コウライイヌワラビ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.89



サイゴクイノデ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.88



オヤマソバ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.92



イノデモドキ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.88



イブキトラノオ 絶滅危惧 IB類

撮影 脇坂良子 P.92



ヒメワラビ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.89



ナガバノウナギツカミ 絶滅危惧 IB類

撮影 沖田貞敏 P.92



サデクサ 絶滅危惧 IB類

撮影 沖田貞敏 P.93



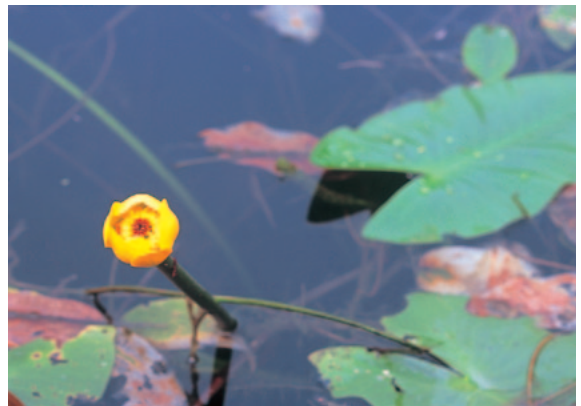
トガクシソウ (トガクシショウマ) 絶滅危惧 IB類

撮影 脇坂良子 P.95



チョウセンゴミシ 絶滅危惧 IB類

撮影 脇坂良子 P.93



オゼコウホネ 絶滅危惧 IB類

撮影 沖田貞敏 P.95



コミヤマハンショウヅル 絶滅危惧 IB類

撮影 沖田貞敏 P.94



ヤマエゴサク 絶滅危惧 IB類

撮影 沖田貞敏 P.96



チトセバイカモ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.94



ミギワガラシ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.97



チダケサシ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.98



ウラジロナナカマド 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.100



クサバケ 絶滅危惧 IB類

撮影 菊地卓弥 P.99



モメンズル 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.101



クサイチゴ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.100



スズメノエンドウ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.101



コガネイチゴ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.100



クロビイタヤ 絶滅危惧 IB類

撮影 菊地卓弥 P.102



イソスミレ (セナミスミレ) 絶滅危惧 IB類 撮影 高田 順 P.103



ヒメビシ 絶滅危惧 IB類 撮影 高田 順 P.104



コスミレ 絶滅危惧 IB類 撮影 高田 順 P.103



ヤマトグサ 絶滅危惧 IB類 撮影 脇坂良子 P.105



アケボノスミレ 絶滅危惧 IB類 撮影 沖田貞敏 P.103



オオカサモチ 絶滅危惧 IB類 撮影 脇坂良子 P.105



ミズキカシグサ 絶滅危惧 IB類 撮影 沖田貞敏 P.104



ジンヨウイチヤクソウ 絶滅危惧 IB類 撮影 高田 順 P.105



イワヒゲ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.106



バイカツツジ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.107



ウラジロハナヒリノキ 絶滅危惧 IB類

撮影 沖田貞敏 P.106



オオコメツツジ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.107



ツガザクラ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.106



リンドウ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.108



ユキグニミツバツツジ 絶滅危惧 IB類

撮影 沖田貞敏 P.107



アカネムグラ 絶滅危惧 IB類

撮影 沖田貞敏 P.109



マルバノサワトウガラシ 絶滅危惧 IB類 撮影 高田 順 P.110



イワタバコ 絶滅危惧 IB類 撮影 沖田真敏 P.112



ホソバコメグサ 絶滅危惧 IB類 撮影 脇坂良子 P.110



キヨスマイツボ 絶滅危惧 IB類 撮影 福田兼四郎 P.112



トモエシオガマ 絶滅危惧 IB類 撮影 脇坂良子 P.111



ハクサンオオバコ 絶滅危惧 IB類 撮影 沖田真敏 P.113



ミチノクワガタ 絶滅危惧 IB類 撮影 高田 順 P.111



カノソノウ 絶滅危惧 IB類 撮影 脇坂良子 P.113



ミネアザミ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.114



アマモ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.117



ノニガナ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.115



イバラモ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.117



ヤハストウヒレン 絶滅危惧 IB類

撮影 脇坂良子 P.116



クロヒメシライトソウ 絶滅危惧 IB類

撮影 脇坂良子 P.119



オクスギタンポポ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.116



ホソバナアマナ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.119



ヒオウギアヤメ 絶滅危惧 IB類

撮影 沖田貞敏 P.120



ハマヒエガエリ 絶滅危惧 IB類

撮影 菊地卓弥 P.125



ヒメコウガイゼキショウ 絶滅危惧 IB類

撮影 沖田貞敏 P.121



オオマムシグサ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.126



タカネスズメノヒエ 絶滅危惧 IB類

撮影 沖田貞敏 P.121



ナベクラザゼンソウ 絶滅危惧 IB類

撮影 沖田貞敏 P.126



ハمامギ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.122



タテヤマスゲ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.126



ヒラギスゲ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.126



ツルスゲ 絶滅危惧 IB類

撮影 沖田真敏 P.129



ニッコウハリスゲ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.127



クサスゲ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.129



コハリスゲ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.127



ヤワラスゲ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.129



ヒエスゲ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.128



イガガヤツリ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.130



スシヌマハリイ 絶滅危惧 IB類

撮影 菊地卓弥 P.130



クロアブラガヤ 絶滅危惧 IB類

撮影 沖田真敏 P.132



タカネクロスゲ 絶滅危惧 IB類

撮影 沖田真敏 P.131



コシンシュガヤ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.132



マツカサスキ 絶滅危惧 IB類

撮影 沖田真敏 P.132



キンセイラン 絶滅危惧 IB類

撮影 沖田真敏 P.133



ソルアブラガヤ 絶滅危惧 IB類

撮影 菊地卓弥 P.132



キンラン 絶滅危惧 IB類

撮影 沖田真敏 P.133



オノエラン 絶滅危惧 IB類

撮影 沖田貞敏 P.133



スズムシソウ 絶滅危惧 IB類

撮影 沖田貞敏 P.136



アオチドリ 絶滅危惧 IB類

撮影 高田 順 P.135



ヒメフタバラン 絶滅危惧 IB類

撮影 沖田貞敏 P.137



ハクウンラン 絶滅危惧 IB類

撮影 沖田貞敏 P.135



ミヤマフタバラン 絶滅危惧 IB類

撮影 沖田貞敏 P.137



ギボウシラン 絶滅危惧 IB類

撮影 脇坂良子 P.135



ホザキヤドリギ 絶滅危惧 II類

撮影 沖田貞敏 P.143



オオバナノミノナグサ 絶滅危惧Ⅱ類 撮影 沖田貞敏 P.144



キバナウツギ 絶滅危惧Ⅱ類 撮影 沖田貞敏 P.160



サンリンソウ 絶滅危惧Ⅱ類 撮影 沖田貞敏 P.145



サワギク 絶滅危惧Ⅱ類 撮影 沖田貞敏 P.163



エンコウソウ 絶滅危惧Ⅱ類 撮影 沖田貞敏 P.145



ヤマスカシユリ 絶滅危惧Ⅱ類 撮影 沖田貞敏 P.166



オオタヌキモ 絶滅危惧Ⅱ類 撮影 沖田貞敏 P.159



ジョウロウスゲ 絶滅危惧Ⅱ類 撮影 沖田貞敏 P.170

目次

改訂版の発刊にあたって

口絵

秋田県の自然環境 1

秋田県版レッドデータブック2014の概要 5

改訂の目的

改訂の経緯

掲載対象

改訂のための調査

改訂のための検討体制

カテゴリー及びカテゴリー定義

評価結果

掲載種の解説 33

維管束植物概説

解説項目と内容

掲載種解説 絶滅 絶滅危惧IA類 絶滅危惧IB類 絶滅危惧II類 準絶滅危惧 情報不足

付属資料 187

分布上希少な雑種 留意種

参考資料 189

秋田県版レッドデータブック2002から削除した種

参考文献

秋田県の自然公園、自然環境保全地域一覧

執筆者、写真提供者 195

和名索引 197

秋田県の自然環境

県内には、海岸から高山帯までの間に、平野部、河川・湖沼地域、扇状地と湧水地帯、山麓帯から山地帯、亜高山帯等の様々な環境が存在する。そこには多種多様な生物が生息・生育し、独自の生態系を形成している。以下、主要な生態系毎に県内の自然環境の概要を述べる。

1. 森林生態系

森林は県内の生態系の中核をなしている重要な存在であり、県内に生息・生育する多くの動植物もまた、何らかの形で森林生態系にその存在基盤を依存している。

現在の森林面積は県土面積の70%余りを占めているが、森林面積の50%が針葉樹を中心とした人工林で、人工林の大半はスギ植林地となっている。その他の森林の多くは落葉広葉樹林となっているが、その半分は伐採等様々な人為的影響を受けたコナラやミズナラなどからなる二次林である。一方、ブナ林をはじめとする自然林の多くは、標高500m以上の山地部にまとまって残存している。

亜高山性の森林は、標高1,100m～1,200m以上に遺存的に点在している。八幡平・森吉山や秋田駒ヶ岳一帯、鳥海山地域を除いてはいずれも小面積で連続性は少ないが、そのため固有性を保持しているとも言える。また、由利地方海岸部には暖地性の常緑広葉樹のタブノキ林等が小面積ながら残存している。

標高の高い土地の森林は、日常生活圏から離れていること、気象条件が厳しいことなどから、車道や登山道沿線等を除いて比較的自然性の高い生態系が維持されている。しかしながら、近年の登山ブームによる利用者増や盗掘等による影響と、温暖化などの地球規模での環境問題の拡大による影響が懸念されている。

2. 草地生態系

県内における自然草原としては、高山ハイテや高山風衝草原、亜高山性広葉草原、雪田植生のほか、山地帯に多く見られる雪崩植生や高茎草本群落、岩壁植生、河川の氾濫原植生、海浜地の砂丘植生や海岸風衝草原、あるいは火山・硫気孔荒原などが代表的である。これら自然草原のうち砂丘植生と河川の氾濫原植生を除いては連続性を欠いている上、面積も狭小であり、遺存的に点在しているのみである。また、砂丘植生及び河川氾濫原植生は、元来不安定な立地に成立しているとともに、様々な人為的影響を受けやすい状況となっている。

いわゆる二次草原としては、シバ草地やススキ草地などが主に里山地帯に点在している。比較的面積の大きい二次草原は、寒風山一帯や一部の牧草地やスキー場等に限定されており、その他は小面積で点在しているに過ぎない。二次草原は、古くから放牧や採草、火入れ等の人為的干渉により成立してきたが、近年の牧畜業の衰退や人為的干渉の減少に伴いその面積を大幅に減少させているとともに、二次草原に依存して生息・生育する生物の減少が認められ、その維持・管理方法の確立が課題となっている。

3. 湿原生態系

県内には、釧路湿原や尾瀬ヶ原のような大規模な湿原は見られないが、低層湿原から高層湿原まで様々な発達段階の湿原が各所に点在している。

亜高山帯及び山地帯上部に分布する中間湿原や高層湿原は、八幡平周辺、栗駒山、鳥海山等の主に自然公園内に位置しているため比較的自然度が高く維持されているが、部分的には、盗掘・踏み付け等による影響が見られる。

一方、低山地帯や低湿地、河川氾濫原、海岸砂丘後背地等に分布する湿原は、県内各所に点在しているが、開田や土地造成、公園造成などの人為的影響を受け、既に消失した湿原も多い。残されている湿原の多くも、様々な開発行為や営農行為等から直接・間接の影響を受けており、その存続基盤は脆弱な状況にある。

また、八郎潟干拓地の一部に成立したヨシ草原等は、干拓事業により人工的に創り出された湿地地であるが、県内最大の面積を有しており、鳥類等の生息地として重要な位置を占めている。

4. 河川・湖沼生態系

県内には、雄物川、米代川、子吉川の三大河川のほか、馬場目川、水沢川、白雪川をはじめとした多くの独立中小河川が存在している。これら河川は水生生物の生息場所となっているだけでなく、川沿いの河畔林と一体となって河川環境の維持・保全機能を担うとともに、様々な動植物の移動・分散ルート等としても機能している。さらに河川上流部の渓谷林は、森林生態系との連続性の確保に大きな役割を果たしている。

県内に分布する三大湖沼である十和田湖、田沢湖、八郎湖は、近代以降、おのおの大規模な生態系の改変を被っており、二次的に成立した生態系とも言える状況下にある。また、山間部等に位置する湖沼においても、魚類等の放流の影響を受けているケースが散見される。

平野部に位置する大小さまざまな河跡湖やため池群の中には、県内の生物相を特徴付ける希少な淡水魚類、水生植物や湿原植物が残存している。しかしながら、利水等を目的とした開発、ブラックバス等の移入種による在来種の駆逐等の問題が認められる。

また、平鹿・仙北地域等の扇状地に多く分布する湧水地帯には、希少なトミヨ属雄物型や水生植物が生息・生育する特異な生態系が形成されている。この生態系は周辺の水田地帯と密接な関係にあり、当該地の広域的・一体的保全が課題となっている。

5. 沿岸域生態系

県内の沿岸には暖流の対馬海流が北上しているため、緯度のわりには温暖な気候となっており、南方系の生物が由利地域や男鹿半島、岩館海岸等に線状に分布している。

県中央部で日本海に突出している男鹿半島西側一帯及び北部の岩館海岸、南部の象潟海岸には自然性の高い岩礁海岸が発達し、海岸岩礁性の様々な生物群が分布している。またこれら岩礁地帯は、ハヤブサ等の猛禽類や、ウミウなどの繁殖地としても重要な位置を占めている。

これら岩礁海岸の間には長大な砂浜海岸が弧状に連なり、海岸砂丘植生が線状に分布しているが、道路・港湾整備やクロマツ植林による海岸防風林化等の影響を受け、本来の砂浜植生が大幅に減少している。また、砂丘後背地に見られる湿地・湖沼群も、主に江戸時代から昭和20年代にかけての開田や土地造成等の影響を受け、天王湿原などごく一部を除いて大幅に面積を減少させるとともに、自然度の低下が危惧されている。

県内の海岸線にはサンゴ礁や干潟は存在しないが、男鹿、八森、象潟の岩礁性海岸の地先には様々なタイプの藻場が分布し、特にホンダワラ類を主体とするガラモ場は、ハタハタの産卵場として不可欠な存在となっている。

また、沿岸部における特異な生態系である塩沼湿地が小面積ながら男鹿半島の西部海岸域に分布している。この塩沼湿地は、海釣り利用者等による踏みつけや漂着物による影響を部分的に受けている。

6. 耕地生態系

県内の耕地面積は県土の約13%（水田面積は約11%）を占めており、森林に次ぐ大きな面積となっている。これら耕地の大半は、標高200m以下の低地に分布しており、これより標高の高い耕地の多くは戦後の開拓や近年の農地造成によるものである。

このため、ヨシ群落やハンノキ林などの低地部の原植生は、谷地湿原や池沼後背地、河川氾濫原などに断片的に残存しているに過ぎない。

耕地生態系、特に水田地帯は、用排水路等を介して河川や、ため池等とつながった複合的な生態系をなしている。そこには、メダカ、カエル、ホタルなどの身近な生き物が数多く生息していたが、高度経済成長期を境とした社会・経済条件の大幅な変動から、耕地における生物多様性が減少してきている。一部の水生植物や淡水魚、昆虫類の中には、絶滅の危惧が指摘される種まで生じている。このため、近年は農業関係の各種事業においても環境に配慮した対策が実施されてきているが、人為的な影響を日常的に受けている生態系であることに変わりはない。

7. 都市生態系

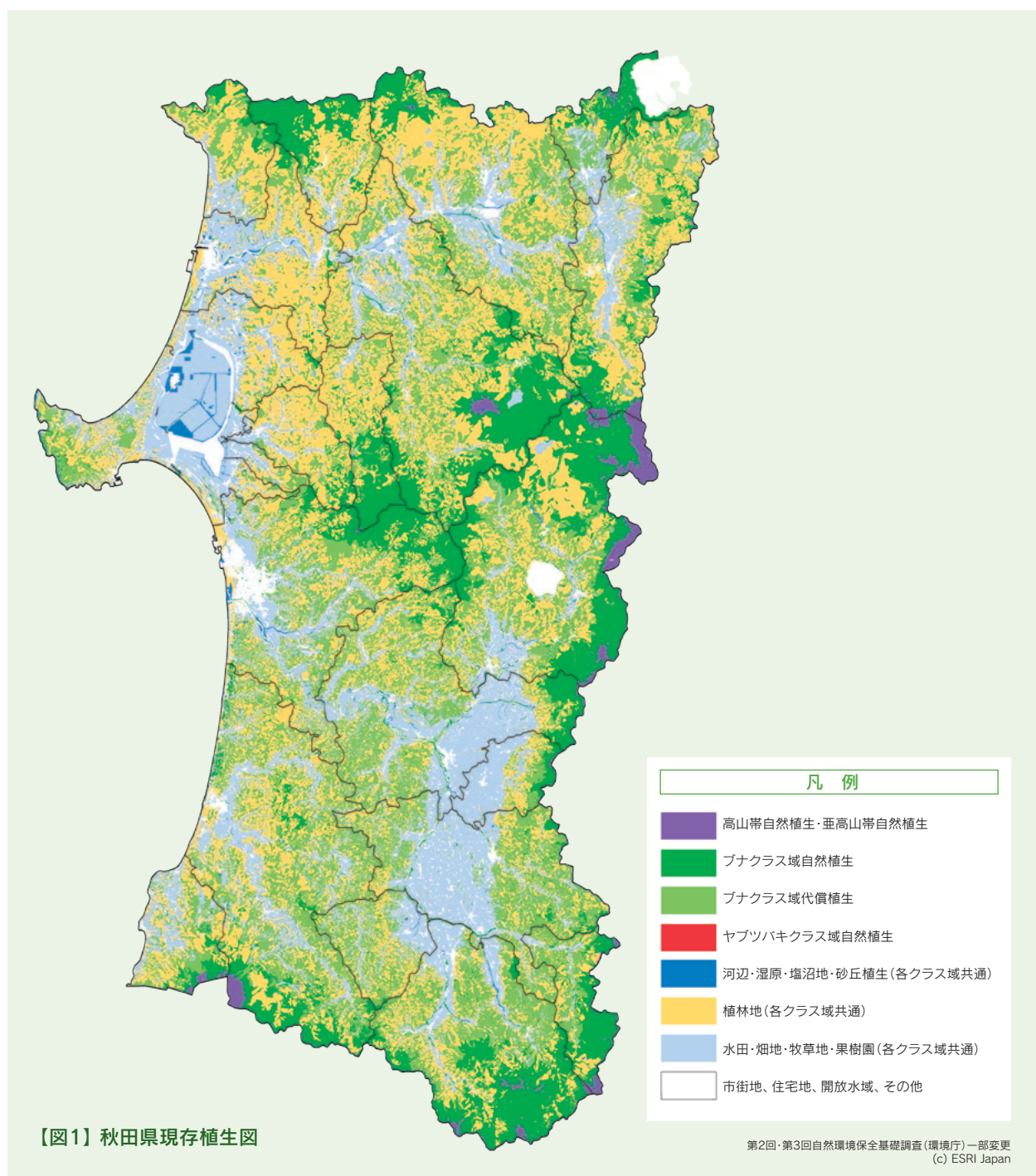
県内の主な都市域は、耕地生態系同様標高200m以下の平野部に集中している。その大半は、低地においては水田地帯やヨシ群落、ハンノキ林などから、丘陵地においては畑地及び二次林地帯などから改変されたものと考えられる。

県内の都市域は、概して都市公園面積率が低いが、都市近郊丘陵部の二次林や海岸部のクロマツ防風林、河畔林等により森林生態系と回廊的または飛石状に連続性が確保されている地域が多い。反面、そのスピードが減少してきているものの郊外の二次林地帯等への宅地化が進行しており、秋田市などでは都市部と森林域との連続性が失われる傾向が認められる。また、都市公園や街路の植栽への郷土産樹種等の使用、河川整備時の多自然型工法等の採用による親水性の確保と水生生物の生息・生育空間の回復が課題となっている。

8.秋田県現存植生図

ある場所を覆っている植物体の総称を植生といい、それらの広がりを地図上に表現したものが植生図である。図1は、環境庁（現環境省、以下同じ）が実施した第2回・第3回自然環境保全基礎調査植生調査（1/50,000縮尺）の成果をもとに、植生を8つに区分して、その水平分布を示したものである。

現在、環境省は1/25,000縮尺植生図の整備を進めている。平成25年12月末で、秋田県域の整備率は約50%（2次メッシュ数による算出）と全国平均を下回っている。今後の整備の進展が期待される。



秋田県版レッドデータブック 2014の概要

1.改訂の目的

豊かな自然が残っているとされる本県においても、土地利用の変化に伴って動物の生息地や植物の生育地は様々な影響を受けてきている。環境の悪化により生息・生育地の消失や個体数の減少が生じ、中には絶滅の危機に瀕している例も出現している。また、産業構造や資源利用の変化と社会の過疎化・高齢化により、里地里山への働きかけが減少することによって、近い過去に存続してきた生態系が大きく変化している状況も顕著になってきている。さらに人為によって他の地域から持ち込まれた生物が在来種の脅威となっている例も見られる。本県における生物多様性の保全を図るためには、環境の悪化を防ぎ、植生や種を持続的に維持する努力が必要と考えられる。

動物や植物の種の存続についての全国レベルの評価は国により策定されている。しかしながら、野生生物の生息・生育状況は地域によって異なるため、全国的には絶滅のおそれがないと評価された種であっても都道府県レベルでは地域の実態に符合しない場合がある。都道府県において種の保全を行うためには、より地域の現況を反映したレッドリスト^{*1}・レッドデータブック^{*2}が必要となり、これまでに全ての都道府県において都道府県版レッドデータブックが発刊されてきた。また、野生生物の生息・生育状況は常に変化していることから、これらにおける評価は定期的に見直すことが求められ、既に約半数の都道府県で改訂版が発刊され、残るほとんどの都道府県でも改訂に向けた作業が進められている。

「秋田県の絶滅のおそれのある野生生物－秋田県版レッドデータブック2014－維管束植物」は、本県における絶滅のおそれのある維管束植物についての最新の状況を明らかにすることを目的に作成された。これらの情報が明らかにされることにより多くの人々が種や生態系の保全に関心を持ち、自然環境の良好な推移に留意されることが期待される。また、本書は絶滅の危機にある県内の野生植物の現状を知り、教育普及から開発行為に至る広い領域での基礎的情報として共有されることが望まれる。

※1:野生生物について生物学的観点から絶滅の危険性を評価し選定したリスト。

※2:レッドリストに選定された野生生物について、分布、生息・生育環境、生息・生育状況、絶滅の要因、保全対策などをとりまとめて編さんした本。

2.改訂の経緯

環境庁は1991年に「日本の絶滅のおそれのある野生生物－脊椎動物編－」及び「同一無脊椎動物編－」を発行した。その後環境庁は、国際自然保護連合 (IUCN) が採択したレッドリストカテゴリーの考え方を取り入れた新たなカテゴリーに基づく改訂を行った。環境省はこれまでに3回の見直しを行い、2012年と2013年に第4次レッドリストを公表している。

秋田県では、1999～2001年に、ほ乳類、鳥類、は虫類、両生類、淡水魚類、昆虫類、陸産貝類及び維管束植物について秋田県版レッドリストを順次公表した。その一部を見直した後、2002年に「秋田県の絶滅のおそれのある野生生物2002－秋田県版レッドデータブック－動物編・植物編」(以下「2002年版」という。)を発刊した。また、2008年には、蘚苔類及び地衣類についての秋田県版レッドリストを公表するとともに、2009年に、「秋田県の絶滅のおそれのある野生生物2009－秋田県版レッドデータブック－維管束植物以外編(蘚苔類・地衣類)」を発刊した。さらに、2009年には、シャジクモ類についての秋田県版レッドリストを公表した。

しかしながら、2002年版が発刊されてから10年以上が経過し、この間にも野生生物の生息・生育状況の変化が見られるとともに、新たな知見が蓄積されてきた。掲載した野生生物及びそのカテゴリーを現況に出来るだけ正確に反映させるための見直しの必要性が認識された。そのため県では2009年から順次、分類群ごとに県内の野生生物の専門家で構成された「秋田県版レッドデータブック改訂検討委員会」を設置し、見直しを進めている。このたび維管束植物について、「秋田県の絶滅のおそれのある野生生物－秋田県版レッドデータブック2014－維管束植物」として発刊することとなった。

3.掲載対象

秋田県内で自生が記録されている維管束植物を対象とした。自生の記録としては標本が存在することを基本的な必要条件とした。種、亜種及び変種ランクの分類群を評価の単位とし、品種は原則として対象から除いた。なお、帰化種・移入種等も対象外とした。

4.改訂のための調査

2002年版の発刊後に新しく記録された自生種や新しい分布地について文献と標本を確認した。一部の種については県外の博物館などの機関や施設の標本も閲覧した。更に、多くの種について生育の現況を把握するために生育地の現地調査を実施した。それらは「県内の分布」の追加や新掲載種の採用に反映された。また、調査の進展により分布地の増加や減少が確認され、カテゴリーの変更や2002年版からの削除などに反映された。

植物学の進歩により学名や和名が変化したものが多くあるので全掲載種についてその検討を行った。APG分類体系についてはその内容が一般には未だ十分に知られていないので科の配列等は採用しなかった。

5.改訂のための検討体制

秋田県版レッドデータブック改訂検討委員会（維管束植物）を2009年に設置し、改訂の進め方、評価対象種の選定、その生育状況の情報収集・整理、絶滅の危険性の評価等を協議、検討した。

【秋田県版レッドデータブック改訂検討委員会（維管束植物）委員】

沖田 貞敏	秋田県立平成高等学校 校長
菊地 卓弥	秋田県立米内沢高等学校 教諭
◎高田 順	秋田自然史研究会 顧問
高橋 祥祐	エヌエス環境株式会社技術本部 技師長
松田 義徳	秋田県立湯沢北高等学校 教諭（～2012年度）

（五十音順、敬称略、所属等は委員会設立当時、◎はチーフ）

6. カテゴリー及びカテゴリー定義

(1) カテゴリー

秋田県版レッドデータブックのカテゴリー及び定義は、環境省レッドリストカテゴリー(2007)に準拠した。

【秋田県版レッドデータブックカテゴリー】

絶滅(EX)	: 本県ではすでに絶滅したと考えられる種。
野生絶滅(EW)	: 栽培下でのみ存続している種。
絶滅危惧	: 絶滅の危機に瀕している種。
IA類(CR)	: ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い種。
IB類(EN)	: IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種。
II類(VU)	: 絶滅の危険が増大している種。
準絶滅危惧(NT)	: 現時点では絶滅危険度は小さいが、生育条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種。
情報不足(DD)	: 「絶滅危惧」に移行する可能性はあるが、評価するだけの情報が不足している種。
地域個体群(LP)	: 地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高い個体群。

[付属資料]

分布上希少な雑種	: 生育地が局限され、レッドデータブック掲載種に準じて扱うべきと判断される雑種。
留意種	: 本県では絶滅のおそれはないが、国際的、国内的に保護を要するとされている種、現在は講じられている保護策等により絶滅の危険が回避されている種、過去に個体数・分布が著しく減少した種、他の機関で準絶滅危惧以上の評価を受けている種。

(2) 秋田県版レッドデータブックカテゴリー定義

カテゴリー及び基本概念	定性的要件	定量的要件
● 絶滅 Extinct(EX) 本県ではすでに絶滅したと考えられる種(注1、以下同じ)	過去に本県に生育したことが確認されており、栽培下を含め、本県ではすでに絶滅したと考えられる種	
● 野生絶滅 Extinct in the Wild(EW) 栽培下でのみ存続している種	過去に本県に生育したことが確認されており、栽培下では存続しているが、本県において野生ではすでに絶滅したと考えられる種 【確実な情報があるもの】 ①信頼できる調査や記録により、すでに野生で絶滅したことが確認されている。 ②信頼できる複数の調査によっても、生育が確認できなかった。 【情報量が少ないもの】 ③過去50年間前後の間に、信頼できる生育の情報が得られていない。	

カテゴリー及び基本概念	定性的要件	定量的要件
<p>● 絶滅危惧 T H R E A T E N E D</p> <p>○絶滅危惧I類 Critically Endangered+ Endangered (CR+EN) 絶滅の危機に瀕している種</p> <p>現在の状態をもたらした 圧迫要因が引き続き作 用する場合、野生での存 続が困難なもの。</p>	<p>次のいずれかに該当する種</p> <p>【確実な情報があるもの】</p> <p>①既知のすべての個体群で、危機的水準に まで減少している。 ②既知のすべての生育地で、生育条件が著し く悪化している。 ③既知のすべての個体群がその再生産能力 を上回る採取圧にさらされている。 ④ほとんどの分布域に交雑のおそれのある 別種が侵入している。</p> <p>【情報量が少ないもの】</p> <p>⑤それほど遠くない過去(30年～50年)の生 育記録以後確認情報がなく、その後信頼 すべき調査が行われていないため、絶滅 したかどうかの判断が困難なもの。</p>	<p>絶滅危惧 IA類 Critically Endangered (CR) ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。</p> <p>A. 次のいずれかの形で個体群の減少がみられる場合。</p> <p>1. 過去10年間若しくは3世代のどちらか長い期間(注2、以下同じ)を通 じて、90%以上の減少があったと推定され、その原因がなくなつて おり、かつ理解されており、かつ明らかに可逆的である。 2. 過去10年間若しくは3世代のどちらか長い期間を通じて、80%以上 の減少があったと推定され、その原因がなくなっていない、理解され ていない、あるいは可逆的でない。 3. 今後10年間若しくは3世代のどちらか長い期間を通じて、80%以上 の減少があると予測される。 4. 過去と未来の両方を含む10年間若しくは3世代のどちらか長い期間 において80%以上の減少があると推定され、その原因がなくなつて いない、理解されていない、あるいは可逆的でない。</p> <p>B. 出現範囲が25km²未満若しくは生育地面積が2.5km²未満であると推定 されるほか、次のうち2つ以上の兆候が見られる場合。</p> <p>1. 生育地が過度に分断されているか、ただ1カ所の地点に限定されて いる。 2. 出現範囲、生育地面積、成熟個体数等に継続的な減少が予測される。 3. 出現範囲、生育地面積、成熟個体数等に極度の減少が見られる。</p> <p>C. 個体群の成熟個体数が250未満であると推定され、さらに次のいずれ かの条件が加わる場合。</p> <p>1. 3年間若しくは1世代のどちらか長い期間に25%以上の継続的な減 少が推定される。 2. 成熟個体数の継続的な減少が観察、若しくは推定・予測され、かつ次 のいずれかに該当する。</p> <p>a) 個体群構造が次のいずれかに該当</p> <p>i) 50以上の成熟個体を含む下位個体群は存在しない。 ii) 1つの下位個体群中に90%以上の成熟個体が属している。 b) 成熟個体数の極度の減少</p> <p>D. 成熟個体数が50未満であると推定される個体群である場合。</p> <p>E. 数量解析により、10年間、若しくは3世代のどちらか長い期間における 絶滅の可能性が50%以上と予測される場合。</p> <hr/> <p>絶滅危惧IB類 Endangered (EN) 絶滅危惧IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性 が高いもの。</p> <p>A. 次のいずれかの形で個体群の減少が見られる場合。</p> <p>1. 過去10年間若しくは3世代のどちらか長い期間を通じて、70%以上 の減少があったと推定され、その原因がなくなっており、かつ理解さ れており、かつ明らかに可逆的である。 2. 過去10年間若しくは3世代のどちらか長い期間を通じて、50%以上 の減少があったと推定され、その原因がなくなっていない、理解され ていない、あるいは可逆的でない。 3. 今後10年間若しくは3世代のどちらか長い期間を通じて、50%以上 の減少があると予測される。 4. 過去と未来の両方を含む10年間若しくは3世代のどちらか長い期間 において50%以上の減少があると推定され、その原因がなくなつて いない、理解されていない、あるいは可逆的でない。</p>

カテゴリー及び基本概念	定性的要件	定量的要件
		<p>B.出現範囲が125km²未満若しくは生育地面積が12.5km²未満であると推定されるほか、次のうち2つ以上の兆候が見られる場合。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.生育地が過度に分断されているか、5以下の地点に限定されている。 2.出現範囲、生育地面積、成熟個体数等に継続的な減少が予測される。 3.出現範囲、生育地面積、成熟個体数等に極度の減少が見られる。 <p>C.個体群の成熟個体数が2,500未満であると推定され、さらに次のいずれかの条件が加わる場合。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.5年間若しくは2世代のどちらか長い期間に20%以上の継続的な減少が推定される。 2.成熟個体数の継続的な減少が観察、若しくは推定・予測され、かつ次のいずれかに該当する。 <ol style="list-style-type: none"> a) 個体群構造が次のいずれかに該当 <ol style="list-style-type: none"> i) 250以上の成熟個体を含む下位個体群は存在しない。 ii) 1つの下位個体群中に95%以上の成熟個体が属している。 b) 成熟個体数の極度の減少 <p>D.成熟個体数が250未満であると推定される個体群である場合。</p> <p>E.数量解析により、20年間、若しくは5世代のどちらか長い期間における絶滅の可能性が20%以上と予測される場合。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">●絶滅危惧 T H R E A T E N E D</p> <p>○絶滅危惧Ⅱ類 Vulnerable (VU) 絶滅の危険が増大している種</p> <p>現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のカテゴリーに移行することが確実と考えられるもの。</p>	<p>次のいずれかに該当する種</p> <p>【確実な情報があるもの】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①大部分の個体群で個体数が大幅に減少している。 ②大部分の生育地で生育条件が明らかに悪化しつつある。 ③大部分の個体群がその再生産能力を上回る採取圧にさらされている。 ④分布域の相当部分に交雑可能な別種が侵入している。 	<p>A.次のいずれかの形で個体群の減少が見られる場合。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.過去10年間若しくは3世代のどちらか長い期間を通じて、50%以上の減少があったと推定され、その原因がなくなっており、かつ理解されており、かつ明らかに可逆的である。 2.過去10年間若しくは3世代のどちらか長い期間を通じて、30%以上の減少があったと推定され、その原因がなくなっていない、理解されていない、あるいは可逆的でない。 3.今後10年間若しくは3世代のどちらか長い期間を通じて、30%以上の減少があると予測される。 4.過去と未来の両方を含む10年間若しくは3世代のどちらか長い期間において30%以上の減少があると推定され、その原因がなくなっていない、理解されていない、あるいは可逆的でない。 <p>B.出現範囲が250km²未満若しくは生育地面積が25km²未満であると推定され、また次のうち2つ以上の兆候が見られる場合。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.生育地が過度に分断されているか、10以下の地点に限定されている。 2.出現範囲、生育地面積、成熟個体数等について、継続的な減少が予測される。 3.出現範囲、生育地面積、成熟個体数等に極度の減少が見られる。 <p>C.個体群の成熟個体数が10,000未満であると推定され、さらに次のいずれかの条件が加わる場合。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.10年間若しくは3世代のどちらか長い期間に10%以上の継続的な減少が推定される。 2.成熟個体数の継続的な減少が観察、若しくは推定・予測され、かつ次のいずれかに該当する。 <ol style="list-style-type: none"> a) 個体群構造が次のいずれかに該当 <ol style="list-style-type: none"> i) 1,000以上の成熟個体を含む下位個体群は存在しない。 ii) 1つの下位個体群中にすべての成熟個体が属している。 b) 成熟個体数の極度の減少 <p>D.個体群が極めて小さく、成熟個体数が1,000未満と推定されるか、生育地面積あるいは分布地点が極めて限定されている場合。</p> <p>E.数量解析により、100年間における絶滅の可能性が10%以上と予測される場合。</p>

カテゴリー及び基本概念	定性的要件	定量的要件
<p>● 準絶滅危惧 Near Threatened (NT) 存続基盤が脆弱な種</p> <p>現時点での絶滅危険度は小さいが、生育条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位カテゴリーに移行する要素を有するもの。</p>	<p>次に該当する種</p> <p>生育状況の推移から見て、種の存続への圧迫が強まっていると判断されるもの。具体的には、分布域の一部において、次のいずれかの傾向が顕著であり、今後さらに進行するおそれがあるもの。</p> <p>a) 個体数が減少している。 b) 生育条件が悪化している。 c) 過度の採取圧による圧迫を受けている。 d) 交雑可能な別種が侵入している。</p>	
<p>● 情報不足 Data Deficient (DD) 評価するだけの情報が不足している種</p>	<p>次に該当する種</p> <p>環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧のカテゴリーに移行し得る属性（具体的には、次のいずれかの要素）を有しているが、生育状況をはじめとして、カテゴリーを判定するに足る情報が得られていない種。</p> <p>a) どの生育地においても生育密度が低く希少である。 b) 生育地が局限されている。 c) 生物地理上、孤立した分布特性を有する（分布域がごく限られた固有種等）。 d) 生活史の一部又は全部で特殊な環境条件を必要としている。</p>	
<p>● 地域個体群 Threatened Local Population (LP) 地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。</p>	<p>次のいずれかに該当する地域個体群</p> <p>① 生育状況、学術的価値等の観点から、レッドデータブック掲載種に準じて扱うべきと判断される種の地域個体群で、生育域が孤立しており、地域レベルで見れば絶滅に瀕しているかその危険が増大していると判断されるもの。</p> <p>② 地方型としての特徴を有し、生物地理学的観点から見て重要と判断される地域個体群で、絶滅に瀕しているか、その危険が増大していると判断されるもの。</p>	

■付属資料

カテゴリー及び基本概念	定性的要件	定量的要件
●分布上希少な雑種 Rare Hybrid	生育地が局限され、レッドデータブック掲載種に準じて扱うべきと判断される雑種で、絶滅に瀕しているか、その危険が増大していると判断されるもの。	
●留意種 Noteworthy	次に該当する種 ①本県では絶滅のおそれはないが、国際的、国内的に保護を要するとされている種。 ②現在は保護策が講じられていて、差し迫った危機はないが、それが中止されれば絶滅危惧Ⅱ類以上の危険度になる種。 ③過去に個体数・分布が著しく減少した種など。 ④他の機関で準絶滅危惧以上の評価を受けている種。	

(注1)種:種、亜種及び変種を示す。

(注2)過去10年間若しくは3世代:1世代が短く3世代に要する期間が10年未満のものは年数を、1世代が長く3世代に要する期間が10年を超えるものは世代数を採用する。

(3) 主な変更点

① 環境省レッドリストカテゴリー(2007)からの変更点

ア.本県の面積を勘案し、定量的要件のB要件の出現範囲面積と生育地面積を変更した。

カテゴリー	項目	環境省	秋田県
絶滅危惧ⅠA類 (CR)	出現範囲	100km ² 未満	25km ² 未満
	生育地面積	10km ² 未満	2.5km ² 未満
絶滅危惧ⅠB類 (EN)	出現範囲	5,000km ² 未満	125km ² 未満
	生育地面積	500km ² 未満	12.5km ² 未満
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	出現範囲	20,000km ² 未満	250km ² 未満
	生育地面積	2,000km ² 未満	25km ² 未満

イ.環境省では付属資料としている「絶滅のおそれのある地域個体群」をレッドデータブックカテゴリーに組み入れ、名称を「地域個体群」とした。これは2002年版と同様である。

② 2002年版からの変更点

ア.カテゴリー名称から“種”を削除した(付属資料を除く)。

イ.レッドデータブック掲載種に準じて扱うべきと判断される雑種のためのカテゴリーとして2002年版で設けた「分布上希少な雑種」は付属資料とした。

ウ.本県では絶滅のおそれはないが、国際的、国内的に保護を要するとされる種などのためのカテゴリーとして2002年版で設けた「留意種」は付属資料とした。

エ.「環境庁レッドリストカテゴリー(1997)」から「環境省レッドリストカテゴリー(2007)」への変更内容を反映した。

7. 評価結果

(1) 掲載種数

本書に掲載した種は、付属資料を含めて799種である。表1に本書及び2002年版の 카테고리ごとの掲載種数並びにその増減を示した。

「絶滅」は12種、「絶滅危惧」は530種、「準絶滅危惧」は149種、「情報不足」は33種である。いずれの 카테고리においても2002年版に比して掲載種数は減少している。これは生存への脅威の減少によるよりも、研究・調査の精度が上昇し知見が増加したことによる要因が大きい。分類学の進歩や調査の進展により削除されたり新規に掲載された種があることから今後とも継続的調査が必要である。

【表1】 秋田県版レッドデータブック掲載種数

カテゴリー	秋田県版レッドデータブック2014	秋田県版レッドデータブック2002	増減	
絶滅(種)	12	18	-6	
野生絶滅(種)	0	0	0	
絶滅危惧(種)	IA類	168	168	0
	IB類	217	241	-24
	II類	145	147	-2
	小計	530	556	-26
準絶滅危惧(種)	149	157	-8	
情報不足(種)	33	57	-24	
地域個体群	0	0	0	
合計	724	788	-64	

【付属資料】

分布上希少な雑種	62	71	-9
留意種	13	7	6

(2) 掲載種の主な変更

① 掲載種の カテゴリの変更

ア. 「絶滅(種)」について

2002年版では18種が本県では既に絶滅したものとして「絶滅種(EX)」とされた。その後の調査により9種が再発見されたのでそれらは生存に対する脅威や分布状態により適切と考えられる カテゴリに評価された。また、長期間消息不明であったいくつかの種は改訂のための調査によっても発見されなかったことから新しく「絶滅」と評価された。

イ. 上位 カテゴリに移行した種

改訂に際して数十種が絶滅のおそれが高くなったものとして上位 カテゴリに移行された。生育地の減少が見られること、個体数が激減していること、高採集圧のような人為の影響が懸念されること、自然遷移を含め生育環境の悪化が観察されることなどが主な理由である。いくつかの種は近年の調査で生育の確認が困難になっていて今後の継続的な調査が必要と考えられる。

ウ.下位カテゴリーに移行した種

改訂に際して数十種の植物が絶滅のおそれがやや後退したものとして下位カテゴリーに移行された。ここ数十年の研究活動の結果、新しい生育地の発見により個体数の増加が観察され、従来の知見に比して分布量が増えたことがその理由の多くを占めている。また、一般的な環境意識の高まりや保護についての普及活動の広がりにより、生育条件が良好ないしは安定的に推移している場合もあり、変更理由の一端となった。

エ.「情報不足」について

2002年版で「情報不足種」とされた種の中で確かな生育地が発見された数種は適切と考えられるカテゴリーに評価された。また、評価に足るだけの分布情報がない、人為による分布の疑いが指摘されている、標本の不備により研究が十分でないなどと評価された数種は「情報不足」に移行された。

② 削除された種

今回の改訂に際して2002年版で掲載されていた種の中で107種が絶滅のおそれが遠のいたものとして掲載されないこととなった。その多くは改訂のための調査や日常的な研究活動により生育地・個体数が増加し、当面絶滅のおそれがないと評価されたものである。いくつかの種は移入種や植栽種との指摘により削除されたものがあり、それらは2002年版で「情報不足種」に掲載された植物に顕著である。また、「種」の下位分類群などでは標本の不備によって今後の研究により確かな資料が提示されるまで削除が至当と判断されたものもある。従ってこれらの一部は今後の改訂の際に評価が変わることも考えられる。

③ 新たに掲載された種

2002年版が発刊されてから12年が過ぎようとしている。その間の調査や研究の結果新しく本県のフロラに加えられた種は多数に上る。全国的な傾向として帰化種や移入種の増加によるフロラの変化が指摘されており、その傾向は本県においても顕著であるがこれらの種はレッドデータブックの掲載対象とはなっていない。一方、分類学者による新しい分類群の発見や記載、県内研究者の調査・研究活動の成果として新発見された自生植物も相次いでいる。これらの植物には希少なものが多く、それらは適切と考えられるカテゴリーに評価された。この改訂版に新しく掲載された植物は40種である。

(3) 改訂前後の比較表

秋田県版レッドデータブック2002											
カテゴリー	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	RH	N	合計	追加
野生絶滅 (EW)	18	0	168	241	147	157	57	71	7	866	40
絶滅 (EX)	12	8	3							11	1
			イノモトソウ ギンレイカ ソクシンラン								ヒメイバラモ
168	8	123		14	1	1	4	1	152	16	
IA類 (CR)	イヌドクサ テンジソウ フシグロセンノウ アイナエ ヒシモドキ シデシヤジン ツツイトモ イトクスモ		ハマハナヤスリ アスマレイジンソウ (シロウマレイジンソウ舎) エゾハタサオ イヌナズナ オオシラヒゲソウ サクラスミレ ヒメナエ イヌセンブリ タカサゴソウ ヒメヒゴタイ オオトボシガラ ヒゲシバ ヒロハツリシユスラン ウチヨウラン	オナモミ	セキシヨウモ	イチイ ハシバミ シロダモ モクゲンジ	ヤマドリトラノオ		ツクシイワハゴ ミヤマカワラハンノキ エソノミスダテ ツルキケマン ホクリクノコノメ シロハナノヘビイチゴ カラフトイチヤクソウ カイジンドウ ウリカワ ササエビモ ヌマドジョウツナギ モウコガマ アゼナルコ タカネマスカサ ユキクニハリスゲ サカネラン		
217	1	24	181	5	214	3	3	5	214	3	
	ヒメコウガイゼキショウ		ヤシヤセンマイ イノデモドキ ユビソヤナキ ナガハノウナギツカミ オセコウホネ ヤマエンゴサク	ミスメ ヒゴスミレ ヒメビシ マツバスケ クロアブラガヤ	スズメノエンドウ アウゴケ ミネアサミ						ミヤマワレモコウ ハマヒエガエリ ナベクワサセンソウ

絶滅危惧

I B類 (EN)	145	3	28	101	7	139	6	絶滅危惧
II類 (VU)	145	3	28	101	7	139	6	絶滅危惧

秋田県版レッドデータブック2002

カテゴリー	秋田県版レッドデータブック2002										追加		
	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	RH	N	合計			
準絶滅危惧 (NT)	149	18	0	168	241	147	157	57	71	7	866	40	
			キクモ ホッスモ	2	カワラアカザ アカメガシワ トウハナ セキショウ	4	イロヒバ ニッコウシダ アモトシケシダ ヤナギヌカボ ヌカボタテ オオミミナグサ タカネナデシコ フクジュソウ ケキツネノボタン タガラン イワカラマツ クロハナシロウゲ カワラケツメイ ハクサンタイゲキ カラコギカエテ ヤナギラン ミヤマアカバナ ムカゴニンジン ツルコケモモ アサザ ハシカグサ サンインヒキオコシ エゾヒナノウスツボ エソオオハコ ヒメヨモギ ヒメシオン マルハオモダカ センニンモ アズマガヤ ハイドジョウツナギ コウキヤガラ ハタガヤ シロガヤツリ ミネハリイ トキノウ	35	ウスゲミヤマシケシダ カスマグサ	2		147	2
情報不足 (DD)	33	1		4	1	0	0	19			25	8	
		コバノカモメツル	ハイキンボウゲ ヤマウグイスキガラ ウコンウツギ オカススミノヒエ	4	エゾノコリンゴ	1							ワガトリカブト アキノクラアザミ リョウウアザミ オガアザミ トガアザミ ツガルコウモリ オガコウモリ カラフトホシクサ
合計	724	18	0	159	228	142	112	28	1	0	688	36	

分布上希少な 雑種	62				1				57		58	4
					マシゲスゲモドキ				付属資料へ			オオメシダモドキ ユキバタツバキ テリハナガハシスミレ トカチエンレイソウ

13	イトモ	1	6	6	13	付属資料へ
留意種	タチモ タヌキモ アギナシ カキツバタ ミクリ ナガエミクリ					

削除	<p>ホソハコケシノブ カラフトメンマ ムクゲシゲシダ ミドリワラビ ケハギ ムラサキマユミ クロツリハサ シハイスミレ ヘニシユスラン</p> <p>ツルナ リュウキンカ エゾイタヤメイゲツ 赤サキノアサモ モリアサミ ニラ ミノゴメ チシマガリヤス タマミソイチゴツナギ テキリスゲ ヒカゲハリスゲ オオイトスゲ</p> <p>ナラガシロ タコアシオトギリ エゾホソイ トロイ</p> <p>ツルボ リュウキンカ エゾイタヤメイゲツ 赤サキノアサモ モリアサミ ニラ ミノゴメ チシマガリヤス タマミソイチゴツナギ テキリスゲ ヒカゲハリスゲ オオイトスゲ</p> <p>ミヤマシシラ イノテ メニツコウシダ ハイネス キヌヤナギ ハマツメクサ ハマアサギ バイカモ コモチマンネンゲサ チシグルマ イワキンバイ ヒメゴヨウイチゴ イワウメツル イイギリ アリアケスミレ ミスユキノシタ アサモ アキノギンリヨウソウ ヒメウスノキ スナヒキノウ オオマルバノホロシ サウトウガラン チヨウジギク シロヨモギ ウゴアサミ ミスギク クロモ エビモ キハチノアマナ ツルボ ミヤマホソコウガイゼキシヨウ ミヤマカボシソウ ヒゲノガリヤス (オオヒゲガリヤス含) コメススキ ハマエノコロ コイチヨウラン アケボノシユスラン コケイラン コバノトンボソウ</p> <p>ハイホラコケ ヒメサクラタテ ハマナテシコ ナツカラマツ モツコク タイトコメ トベラ ヤマザクラ ヤブツルアズキ ヒヨウノセンカタバミ ユズリハ ミヤマシキミ イヌツゲ ヒメスミレ アオキ カクレミノ チトメグサ クリンソウ ネズミモ子 ミヤマヨメナ ハイニガナ コシカギク ハマギク エゾタケシマラン ヒメイヌノヒゲ ミカウイヌノヒゲ ハライヌノヒゲ オオウシノケグサ ヌマスゲ</p> <p>ニセコシノサトメシダ オセオサトメシダ イケノヤナギ トヨハラヤナギ ホソバガシロ コガシロ トガマダイオウ ツルワサビ カスミオクチヨウジサク ラ ミズタキノウ イヌヌマトラノホ アイノコイトモ</p> <p>オオニガナ</p>	9	12	4	39	29	13	1	107
----	--	---	----	---	----	----	----	---	-----

(4) 掲載種一覧(カテゴリー順)

絶滅(EX)

- 1 イノモトソウ
- 2 オオアカウキクサ
- 3 マツバニンジン
- 4 オオアカバナ
- 5 ギンレイカ(ミヤマタゴボウ)
- 6 マツムシソウ
- 7 アサギリソウ
- 8 ヒメイバラモ
- 9 ソクシンラン
- 10 ホシクサ
- 11 アツモリソウ
- 12 ムカゴソウ

絶滅危惧IA類(CR)

- 1 ミズスギ
- 2 イヌドクサ
- 3 ハマハナヤスリ
- 4 キジノオシダ
- 5 フモトシダ
- 6 ハコネシダ
- 7 ヒメイワトラノオ
- 8 ヤマドリトラノオ
- 9 イチョウシダ
- 10 イヌチャセンシダ
- 11 サイゴクベニシダ
- 12 ツクシイワヘゴ
- 13 イワヘゴ
- 14 オクヤマワラビ
- 15 キタノミヤマシダ
- 16 エゾテンダ
- 17 オオクボシダ
- 18 デンジソウ
- 19 イチイ
- 20 ミヤマカワラハンノキ
- 21 ハシバミ
- 22 ミヤマツチトリモチ
- 23 ムカゴトラノオ

- 24 エゾノミズタデ
- 25 ネバリタデ
- 26 チョウカイフスマ
- 27 フシグロセンノウ
- 28 シラオイハコベ
- 29 エゾオオヤマハコベ
- 30 ミドリアカザ
- 31 シロダモ
- 32 ヒロハカツラ
- 33 アズマレイジンソウ
(シロウマレイジンソウを含む)
- 34 ミヤマオダマキ
- 35 ヒメキンポウゲ
- 36 シナノキンバイ
- 37 ネムロコウホネ
- 38 ツルキケマン(ツルケマン)
- 39 コマクサ
- 40 エゾハタザオ
- 41 イヌナズナ
- 42 ハクセンナズナ
- 43 キバナハタザオ
- 44 イワベンケイ
- 45 アラシグサ
- 46 ホクリクネコノメ
- 47 アカヒダボタン
- 48 ヒメウメバチソウ
- 49 オオシラヒゲソウ
- 50 バイカウツギ
- 51 シロバナノヘビイチゴ
- 52 カラフトダイコンソウ
- 53 オオウラジロノキ
- 54 キンロバイ
- 55 シャリンバイ
(マルバシャリンバイ)
- 56 タカネバラ
- 57 タカネナナカマド
- 58 モクゲンジ

- 59 ミヤマハハソ
- 60 エゾノタチツボスミレ
- 61 タカネスミレ
- 62 サクラスミレ
- 63 ゲンジスミレ
- 64 ヒメアカバナ
- 65 ヤマゼリ
- 66 コバノイチヤクソウ
- 67 カラフトイチヤクソウ
- 68 ヤチツツジ
- 69 ヒメクロマメノキ
- 70 ミチノクコザクラ
- 71 オオサクラソウ
- 72 ヒメナエ
- 73 アイナエ
- 74 ハナイカリ
- 75 ミヤマアケボノソウ
- 76 タカネセンブリ
- 77 イヌセンブリ
- 78 テイカカズラ
- 79 フナバラソウ
- 80 エゾルリムラサキ
- 81 ムラサキ
- 82 カリガネソウ
- 83 カイジンドウ
- 84 ムシャリンドウ
- 85 キセワタ
- 86 ミソガワソウ
- 87 ハダカホオズキ
- 88 アブノメ
- 89 ミチノクコゴメグサ
- 90 ミヤマシオガマ
- 91 イワブクロ
- 92 ゴマノハグサ
- 93 ヒメクワガタ
- 94 ヒシモドキ
- 95 リンネソウ

96 エゾヒョウタンボク
97 シデシヤジン
98 イワギキョウ
99 エゾノコギリソウ
100 サマニヨモギ
101 オオガンクビソウ
102 ウゴシオギク
103 ハリオニアザミ
104 ガンジュアザミ
105 ムカシヨモギ
106 ミヤマアズマギク
107 タカサゴソウ
108 ミヤマイワニガナ
109 カワラニガナ
110 ミヤマウスユキソウ
111 マルバダケブキ
112 オタカラコウ
113 オヤリハグマ
114 ヒメヒゴタイ
115 エゾオグルマ
116 オナモミ
117 ウリカワ
118 スブタ
119 セキショウモ
120 ホソバノシバナ
121 ササエビモ
122 ツツイトモ
123 イトクズモ
124 トリゲモ
125 ミヤマラツキョウ
126 アマナ
127 マルバサンキライ
128 コジマエンレイソウ
129 ミクリゼキショウ
130 ヤマスズメノヒエ
131 ヤブミョウガ
132 カニツリノガリヤス

133 ヒナガリヤス
134 ミヤマノガリヤス
135 ツクシガヤ
136 オオトボシガラ
137 ヌマドジョウツナギ
138 キダチノネズミガヤ
139 アオイチゴツナギ
140 ヒゲシバ
141 チシマカニツリ
142 マイヅルテンナンショウ
143 ヒメカイウ
144 モウコガマ
145 アワボスゲ
146 ヒメカワズスゲ
147 クリイロスゲ
148 アゼナルコ
149 ヤラメスゲ
150 オタルスゲ
151 ウスイロスゲ
152 ダケスゲ
153 タカネマスクサ
154 キンスゲ
155 ユキグニハリスゲ
156 イワスゲ
157 ナツエビネ
158 ユウシュラン
159 チョウセンキバナアツモリソウ
160 ハマカキラン
161 ヒロハツリシュスラン
162 ヤチラン
163 ホザキイチヨウラン
164 サカネラン
165 フジチドリ
166 ウチヨウラン
167 サギソウ
168 タカネサギソウ

絶滅危惧IB類(EN)

1 コスギラン
2 スギラン
3 コケスギラン
4 ヒメミスニラ
5 オオハナワラビ
6 ヤシャゼンマイ
7 アオホラゴケ
8 オオバノイノモトソウ
9 オオバノハチジョウシダ
10 イワトラノオ
11 オニカナワラビ
12 ハカタシダ
13 ヤブソテツ
14 オクヤマシダ
15 オオイタチシダ
16 ナンゴクナライシダ
17 ツヤナシノデ
18 サイゴクイノデ
19 イノデモドキ
20 ゲジゲジシダ
21 ヒメワラビ
22 ミドリヒメワラビ
23 ウスヒメワラビ
24 コウライイヌワラビ
25 セイタカシケシダ
26 ヌリワラビ
27 ヒメノキシノブ
28 ネズミサシ(ネズ)
29 ユビソヤナギ
30 ネコシテ
31 ミズメ
32 ヤマミス
33 オヤマソバ
34 オンタテ
35 イブキトラノオ
36 ナガバノウナギツカミ

37	サデクサ	73	クロビイタヤ	109	ママコナ
38	アオモリマンテマ	74	クロカンバ	110	トモエシオガマ
39	チョウセンゴミシ	75	ヒゴスミレ	111	ミチノククワガタ
40	ハクサンイチゲ	76	エゾアオイスミレ	112	シラガミクワガタ
41	コミヤマハンショウヅル (ミヤマハンショウヅルを含む)	77	イソスミレ(セナミスミレ)	113	イワタバコ
42	ミスミソウ(スハマソウを含む)	78	ツルタチツボスミレ	114	ハマウツボ (オカウツボを含む)
43	オキナグサ	79	コスミレ	115	キヨスミウツボ
44	チトセバイカモ	80	アケボノスミレ	116	ムシトリスミレ
45	ナンブソウ	81	ミズマツバ	117	フサタヌキモ
46	メギ	82	ミズキカシグサ	118	ハクサンオオバコ
47	トガクシソウ(トガクシショウマ)	83	ヒメビシ	119	カノコソウ
48	オゼコウホネ	84	ホソバアカバナ	120	キキョウ
49	コシノカンアオイ	85	ヤマトグサ	121	シロヨメナ
50	ヒサカキ	86	オオカサモチ	122	ミネアザミ
51	エゾオトギリ	87	ヒメイワカガミ	123	チョウカイアザミ
52	ヤマエンゴサク	88	ジンヨウイチヤクソウ	124	エゾノキツネアザミ
53	オサバグサ	89	ヒメシャクナゲ	125	ノニガナ
54	オクヤマガラシ	90	イワヒゲ	126	コオニタバコ
55	ミギワガラシ	91	ウラジロハナヒリノキ	127	イワテヒゴタイ
56	アオノイワレンゲ	92	ツガザクラ (ナガバツガザクラを含む)	128	ミヤマキタアザミ
57	チダケサシ	93	ユキグニミツバツツジ	129	オクキタアザミ
58	エゾノチャルメルソウ	94	バイカツツジ	130	ヤハズトウヒレン
59	ザリコミ	95	オオコメツツジ	131	オクウスギタンポポ
60	シコタンソウ	96	エゾツツジ	132	トチカガミ
61	クサボケ	97	イワツツジ	133	オオシバナ
62	エゾツルキンバイ	98	マルバウスゴ	134	アマモ
63	カワラサイコ	99	リンドウ	135	イトトリゲモ
64	オオタカネバラ	100	ホソバツルリンドウ	136	イバラモ
65	クサイチゴ	101	オオキヌタソウ	137	オトリゲモ
66	コガネイチゴ	102	アカネムグラ	138	イトイバラモ
67	ミヤマワレモコウ	103	アワゴケ	139	シロウマアサツキ
68	ウラジロナナカマド	104	ヤマジソ	140	ヤマラッキョウ
69	モメンヅル	105	ヤマジノタツナミソウ	141	クロヒメシライトソウ
70	レンリソウ	106	イヌニガクサ	142	スズラン
71	スズメノエンドウ	107	マルバノサフトウガラシ	143	キヌガサソウ
72	シナノタイゲキ	108	ホソバコゴメグサ	144	ホソバノアマナ

145 チシマゼキショウ
146 ヒメイワシヨウブ
147 オオバナノエンレイソウ
148 ヒオウギアヤメ
149 ヒメコウガイゼキショウ
150 ホソコウガイゼキショウ
151 タカネスズメノヒエ
152 ミヤマヒナホシクサ
153 タカネコウボウ
154 ヒナザサ
155 ヒロハノコメススキ
156 ハمامギ
157 アオウシノケグサ
158 ウキガヤ
159 ミノボロ
160 アイアシ
161 イトイチゴツナギ
162 オガタチイチゴツナギ
163 イブキソモソモ
164 イチゴツナギ
165 ハマヒエガエリ
166 イヌアワ
167 ヒロハノハネガヤ
168 メガルガヤ
169 オオمامシグサ
170 ナベクラザゼンソウ
171 タテヤマスゲ
172 ヒラギシスゲ
173 マツバスゲ
174 ニッコウハリスゲ
175 コハリスゲ
176 ヤマアゼスゲ
177 ヒエスゲ
178 ヤガミスゲ
179 キンチャクスゲ
180 エゾツリスゲ
181 ツルスゲ

182 クサスゲ
183 ヤワラスゲ
184 カンエンガヤツリ
185 アゼガヤツリ
186 イガガヤツリ
187 セイタカハリイ
188 スジヌマハリイ
189 マルホハリイ
190 クロテンツキ
191 アオテンツキ
192 タカネクロスゲ
193 マツカサススキ
194 ツルアブラガヤ
195 クロアブラガヤ
196 コシンジュガヤ
197 キンセイラン
198 サルメンエビネ
199 キンラン
200 オノエラン
201 トケンラン
202 コアツモリソウ
203 クマガイソウ
204 ツチアケビ
205 アオチドリ
206 サワラン
207 ハクウンラン
208 ギボウシラン
209 フガクスズムシソウ
210 セイタカスズムシソウ
211 スズムシソウ
212 コフタバラン(フタバラン)
213 ヒメフタバラン
214 ミヤマフタバラン
215 ヒナチドリ
216 タカネトンボ
217 ツレサギソウ

絶滅危惧II類(VU)

1 ヒメスギラン
2 スギカズラ
3 タカネヒカゲノカズラ
4 コバノイシカグマ
5 シノブ
6 リシリシノブ
7 キヨスミヒメワラビ
8 ミサキカグマ
9 オオベニシダ
10 カラクサイノデ
11 ヒロハイヌワラビ
12 ハコネシケチシダ
13 イワヤシダ
14 ウサギシダ
15 ヒメサジラン
16 イワオモダカ
17 ビロードシダ
18 サンショウモ
19 ミヤマビャクシン
20 オニヤブマオ
21 クサコアカソ
22 ホザキヤドリギ
23 サクラタテ
24 ポントクタテ
25 オオバナノミミナグサ
26 ハマハコベ
27 ホソバハマアカザ
28 ウゼントリカブト
29 サンリンソウ
30 エンコウソウ
31 オオバショウマ
32 ミツバノバイカオウレン
33 ミヤマキンボウゲ
34 ハンゲショウ
35 ミヤマハタザオ
36 ヤマハタザオ

- | | | | | | |
|----|-----------------|-----|----------------------------|-----|-----------------|
| 37 | エゾワサビ | 74 | チョウジソウ | 110 | ヒロハノエビモ |
| 38 | オオユリワサビ | 75 | ハマベンケイソウ | 111 | コアマモ |
| 39 | ハタザオ | 76 | コシジタヒラコ | 112 | ギョウジャニンニク |
| 40 | ツガルミセバヤ | 77 | メハジキ | 113 | キジカクシ |
| 41 | ミツバベンケイソウ | 78 | ミヤマタムラソウ | 114 | ヤマスカシユリ |
| 42 | コモチレンゲ | 79 | イブキジャコウソウ | 115 | ミスアオイ |
| 43 | ホソバイワベンケイ | 80 | ミヤマママコナ | 116 | タチコウガイゼキショウ |
| 44 | タコノアシ | 81 | ヨツバシオガマ | 117 | タカユイヌノヒゲ |
| 45 | ミヤマダイコンソウ | 82 | シオガマギク | 118 | ミヤマヌカボ |
| 46 | コゴメウツギ | 83 | ヒヨクソウ | 119 | コミヤマヌカボ |
| 47 | ミヤマキンバイ | 84 | エチゴトラノオ | 120 | カラフトドジョウツナギ |
| 48 | ヒロハノカワラサイコ | 85 | ホザキノミミカキグサ | 121 | ヒエガエリ |
| 49 | ミヤマウラジロイチゴ | 86 | オオタヌキモ | 122 | エゾミクリ |
| 50 | サナギイチゴ | 87 | ヒメタヌキモ | 123 | ヤマトミクリ |
| 51 | イワオウギ | 88 | トウオオバコ | 124 | タマミクリ |
| 52 | エゾノレンリソウ | 89 | クロミノウグイスカグラ
(マルバヨノミを含む) | 125 | ホソバタマミクリ |
| 53 | ヒロハクサフジ | 90 | キバナウツギ | 126 | コガマ |
| 54 | ナンテンハギ | 91 | レンブクソウ | 127 | ヤマタヌキラン |
| 55 | ハマフウロ(オガフウロを含む) | 92 | ホタルブクロ | 128 | ハクサンスゲ |
| 56 | ヤマアイ | 93 | ウサギギク | 129 | ジョウロウスゲ |
| 57 | シラキ | 94 | サワシロギク | 130 | マスクサ |
| 58 | オオバグミ(マルバグミ) | 95 | カントウヨメナ | 131 | イトキンスゲ |
| 59 | キバナノコマノツメ | 96 | オケラ | 132 | ムジナスゲ |
| 60 | ウスバスミレ | 97 | コヤブタバコ | 133 | トマリスゲ(ホロムイスゲ) |
| 61 | ケゴンアカバナ | 98 | ニッコウアザミ | 134 | シオクグ |
| 62 | スギナモ | 99 | タカサブロウ | 135 | ヒメハリイ(クロハリイを含む) |
| 63 | ハマゼリ | 100 | ミヤマコウゾリナ | 136 | コアゼテンツキ |
| 64 | カラフトニンジン | 101 | サワギク | 137 | テンツキ |
| 65 | オヤブジラミ | 102 | カニコウモリ | 138 | コイヌノハナヒゲ |
| 66 | イワウメ | 103 | ミミコウモリ | 139 | コアニチドリ |
| 67 | ヘニバナイチヤクソウ | 104 | ハチジョウナ | 140 | イチヨウラン |
| 68 | ミネズオウ | 105 | ヤナギスブタ | 141 | ミズトンボ |
| 69 | イソツツジ | 106 | ホロムイソウ | 142 | ジガバチソウ |
| 70 | ウミミドリ | 107 | エゾヤナギモ | 143 | ミズチドリ |
| 71 | ユキワリコザクラ | 108 | エゾノヒルムシロ | 144 | ハシナガヤマサギソウ |
| 72 | ミヤマリンドウ | 109 | リュウノヒゲモ | 145 | ヤマトキソウ |
| 73 | タテヤマリンドウ | | | | |

準絶滅危惧(NT)

- | | | |
|---------------|----------------|-----------------------------|
| 1 ヤチスギラン | 37 ミヤママンネングサ | 74 ミズハコベ |
| 2 エゾノヒメクラマゴケ | 38 コマガタケスグリ | 75 トウバナ |
| 3 ヒモカズラ | 39 ミヤマザクラ | 76 サンインヒキオコシ |
| 4 イワヒバ | 40 クロバナロウゲ | 77 タテヤマウツボグサ |
| 5 ミズニラ | 41 エゾノシロバナシモツケ | 78 テワノタツナミソウ |
| 6 クモノスシダ | 42 カワラケツメイ | 79 ハシリドコロ |
| 7 オオクジャクシダ | 43 フジカンゾウ | 80 キクモ |
| 8 トウゴクシダ | 44 イヌハギ | 81 イワテシオガマ |
| 9 ニッコウシダ | 45 センダイハギ | 82 オニシオガマ |
| 10 ホソバイヌワラビ | 46 ノハラクサフジ | 83 エゾヒナノウスツボ |
| 11 ウスゲミヤマシケシダ | 47 カスマグサ | 84 オオヒナノウスツボ |
| 12 フモトシケシダ | 48 ミツバフウロ | 85 エゾリトランオ
(ヤマルリトランオを含む) |
| 13 ミヤマシダ | 49 ハクサンフウロ | 86 オオナンバンギセル |
| 14 フクロシダ | 50 ハクサンタイゲキ | 87 イヌタヌキモ |
| 15 ミツデウラボシ | 51 アカメガシワ | 88 ミミカキグサ |
| 16 コメツガ | 52 カラコギカエデ | 89 ムラサキミミカキグサ |
| 17 ミヤマネズ | 53 オオツリバナ | 90 エゾオオバコ |
| 18 ホソバイヌタデ | 54 ヒナスミレ | 91 ソクズ |
| 19 ヤナギヌカボ | 55 ヤナギラン | 92 ツルカノコソウ |
| 20 ヌカボタデ | 56 ミヤマアカバナ | 93 ヤマノコギリソウ |
| 21 オオミミナグサ | 57 ハクサンサイコ | 94 ヒメヨモギ |
| 22 タカネナデシコ | 58 ハマボウフウ | 95 ヒメシオン |
| 23 センジュガンピ | 59 ムカゴニンジン | 96 エゾノタウコギ |
| 24 カワラアカザ | 60 シャクジョウソウ | 97 アズマギク |
| 25 オカヒジキ | 61 コメバツガザクラ | 98 クモマニガナ |
| 26 フサザクラ | 62 サラサドウダン | 99 ウスユキソウ |
| 27 フクジュソウ | 63 シラタマノキ | 100 メタカラコウ |
| 28 エゾノリュウキンカ | 64 アオノツガザクラ | 101 クルマバハグマ |
| 29 ケキツネノボタン | 65 オオバツツジ | 102 サジオモダカ |
| 30 タガラシ | 66 コメツツジ | 103 マルバオモダカ |
| 31 イワカラマツ | 67 ツルコケモモ | 104 ミズオオバコ |
| 32 シラネアオイ | 68 ヒナザクラ | 105 センニンモ |
| 33 ウマノスズクサ | 69 ハイハマボツス | 106 ホツスモ |
| 34 ミチノクサイシン | 70 アサザ | 107 ノカンゾウ |
| 35 ヤマシャクヤク | 71 キクムグラ | 108 スカシユリ |
| 36 メノマンネングサ | 72 ハシカグサ | 109 クルマバツクバネソウ |
| | 73 フタバムグラ | |

110 チャボゼキショウ
111 バイケイソウ
112 ヒメシャガ
113 イワノガリヤス
114 タカネノガリヤス
115 ミヤマドジョウツナギ
116 ヒロハノドジョウツナギ
117 アズマガヤ
118 カモノハシ
119 ハイドジョウツナギ
120 セキショウ
121 ヒメミクリ
122 コウキヤガラ(エゾウキヤガラ)
123 ハタガヤ
124 ヤチスゲ
125 ホソバカンスゲ
126 ナガエスゲ
127 シラコスゲ
128 シロガヤツリ
129 サギスゲ
130 イトイヌノハナヒゲ
131 コホタルイ
132 ヒメホタルイ
133 ミネハリイ
134 エビネ
135 ギンラン
136 ハクサンチドリ
137 エソズラン
138 カキラン
139 オニノヤガラ
140 アリドオシラン
141 ノビネチドリ
142 アオフタバラン
143 ジンバイソウ
144 イイヌマムカゴ
145 オオキソチドリ
146 ホソバノキソチドリ

147 トキソウ
148 ヒトツボクロ
149 ショウキラン

情報不足(DD)

1 アカハナワラビ
2 イワウサギシダ
3 オオタチヤナギ
4 ワガトリカブト
5 ハイキンポウゲ
6 オクヤマオトギリ
7 イワテハタザオ
8 ミチバタガラシ
9 エゾノコリンゴ
10 クロツバラ
11 オクノハマイボタ
12 コバノカモメヅル
13 マメダオシ
14 ヤマウグイスカグラ
15 ウコンウツギ
16 ヤマホタルブクロ
17 アシノクラアザミ
18 リョウウアザミ
19 オガアザミ
20 トガアザミ
21 アキノハハコグサ
22 ツガルコウモリ
23 オガコウモリ
24 ヤブラン
25 ヒロハノコウガイゼキショウ
26 オカスズメノヒエ
27 カラフトホシクサ
28 コケヌマイヌノヒゲ
29 ガリメギイヌノヒゲ
30 スズタケ
31 センダイザサ(オオクマザサ)
32 アイヅスゲ
33 クモイジガバチ

(5) 掲載種一覧(分類順)

シダ植物					
		ヤブソテツ	EN	ヒメサジラン	VU
ヒメスギラン	VU	キヨスミヒメワラビ	VU	エゾテンダ	CR
コスギラン	EN	オクヤマシダ	EN	イワオモダカ	VU
ミズスギ	CR	サイゴクベニシダ	CR	ピロードシダ	VU
ヤチスギラン	NT	ミサキカグマ	VU	ミツテウラボシ	NT
スギカズラ	VU	ツクシイワヘゴ	CR	オオクボシダ	CR
スギラン	EN	イワヘゴ	CR	デンジソウ	CR
タカネヒカゲノカズラ	VU	オオクジャクシダ	NT	サンショウモ	VU
エゾノヒメクラマゴケ	NT	オオベニシダ	VU	オオアカウキクサ	EX
コケスギラン	EN	トウゴクシダ	NT		
ヒモカズラ	NT	オオイタチシダ	EN	裸子植物	
イワヒバ	NT	ナンゴクナライシダ	EN	コメツガ	NT
ヒメミズニラ	EN	カラクサイノテ	VU	ミヤマビャクシン	VU
ミズニラ	NT	ツヤナシノテ	EN	ミヤマネズ	NT
イヌドクサ	CR	サイゴクイノテ	EN	ネズミサシ(ネズ)	EN
オオハナワラビ	EN	イノテモドキ	EN	イチイ	CR
アカハナワラビ	DD	ゲシゲシシダ	EN	被子植物 双子葉植物 離弁花類	
ハマハナヤスリ	CR	ニッコウシダ	NT	ユビソヤナギ	EN
ヤシャゼンマイ	EN	ヒメワラビ	EN	オオタチヤナギ	DD
キジノオシダ	CR	ミドリヒメワラビ	EN	ミヤマカワラハンノキ	CR
アオホラゴケ	EN	ウスヒメワラビ	EN	ネコシテ	EN
コバノイシカグマ	VU	オクヤマワラビ	CR	ミズメ	EN
フモトシダ	CR	ホソバイヌワラビ	NT	ハシバミ	CR
シノブ	VU	ヒロハイヌワラビ	VU	オニヤブマオ	VU
ハコネシダ	CR	ハコネシケチシダ	VU	クサコアカソ	VU
リシリシノブ	VU	コウライヌワラビ	EN	ヤマミズ	EN
オオバノイノモトソウ	EN	セイタカシケシダ	EN	ホザキヤドリギ	VU
オオバノハチジョウシダ	EN	ウスゲミヤマシケシダ	NT	ミヤマツチトリモチ	CR
イノモトソウ	EX	フモトシケシダ	NT	オヤマソバ	EN
ヒメイトラノオ	CR	イワヤシダ	VU	オンタデ	EN
ヤマドリトラノオ	CR	ミヤマシダ	NT	イブキトラノオ	EN
クモノスシダ	NT	キタノミヤマシダ	CR	ムカゴトラノオ	CR
イチョウシダ	CR	ウサギシダ	VU	エゾノミズタデ	CR
イトラノオ	EN	イワウサギシダ	DD	ホソバイヌタデ	NT
イヌチャセンシダ	CR	ヌリワラビ	EN	ヤナギヌカボ	NT
オニカナワラビ	EN	フクロシダ	NT	ナガバノウナギツカミ	EN
ハカタシダ	EN	ヒメノキシノブ	EN	サデクサ	EN
				サクラタデ	VU

ボントクタテ	VU	オキナグサ	EN	ミギワガラシ	EN
ヌカボタテ	NT	ミヤマキンポウゲ	VU	キバナハタザオ	CR
ネバリタテ	CR	ケキツネノボタン	NT	ハタザオ	VU
チョウカイフスマ	CR	ハイキンポウゲ	DD	ツガルミセバヤ	VU
オオバナノミミナグサ	VU	タガラシ	NT	ミツバベンケイソウ	VU
オオミミナグサ	NT	チトセバイカモ	EN	アオノイワレンゲ	EN
タカネナデシコ	NT	イワカラマツ	NT	コモチレンゲ	VU
ハマハコベ	VU	シナノキンバイ	CR	ホソバイワベンケイ	VU
アオモリマンテマ	EN	シラネアオイ	NT	イワベンケイ	CR
センジュガンピ	NT	ナンブソウ	EN	メノマンネングサ	NT
フシグロセンノウ	CR	メギ	EN	ミヤママンネングサ	NT
シラオイハコベ	CR	トガクシソウ (トガクシシヨウマ)	EN	チダケサシ	EN
エゾオオヤマハコベ	CR			アラシグサ	CR
ホソバハマアカザ	VU	オゼコウホネ	EN	ホクリクネコノメ	CR
カワラアカザ	NT	ネムロコウホネ	CR	アカヒダボタン	CR
ミドリアカザ	CR	ハンゲシヨウ	VU	エゾノチャルメルソウ	EN
オカヒジキ	NT	ウマノスズクサ	NT	ヒメウメバチソウ	CR
チョウセンゴミシ	EN	ミチノクサイシン	NT	オオシラヒゲソウ	CR
シロダモ	CR	コシノカンアオイ	EN	タコノアシ	VU
フサザクラ	NT	ヤマシャクヤク	NT	バイカウツギ	CR
ヒロハカツラ	CR	ヒサカキ	EN	コマガタケスグリ	NT
ウゼントリカブト	VU	オクヤマオトギリ	DD	ザリコミ	EN
ワガトリカブト	DD	エゾオトギリ	EN	シコタンソウ	EN
アズマレイジンソウ (シロウマレイジンソウを含む)	CR	ヤマエンゴサク ツルキケマン(ツルケマン)	EN CR	ミヤマザクラ	NT
フクジュソウ	NT	コマクサ	CR	クサボケ	EN
ハクサンイチゲ	EN	オサバグサ	EN	クロバナロウゲ	NT
サンリンソウ	VU	オサバグサ	EN	シロバナノヘビイチゴ	CR
ミヤマオダマキ	CR	ミヤマハタザオ	VU	ミヤマダイコンソウ	VU
エゾノリュウキンカ	NT	ヤマハタザオ	VU	カラフトダイコンソウ	CR
エンコウソウ	VU	イワテハタザオ	DD	エゾノコリンゴ	DD
オオバシヨウマ	VU	オクヤマガラシ	EN	オオウラジロノキ	CR
コミヤマハンショウヅル (ミヤマハンショウヅルを含む)	EN	エゾワサビ	VU	コゴメウツギ	VU
ミツバノバイカオウレン	VU	エゾハタザオ	CR	エゾツルキンバイ	EN
ヒメキンポウゲ	CR	イヌナズナ	CR	カワラサイコ	EN
ミスミソウ(スハマソウを含む)	EN	オオユリワサビ	VU	キンロバイ	CR
		ハクセンナズナ	CR	ミヤマキンバイ	VU
		ミチバタガラシ	DD	ヒロハノカワラサイコ	VU

				被子植物 双子葉植物 合弁花類	
シャリンバイ (マルバシャリンバイ)	CR	ミヤマハハソ	CR		
オオタカネバラ	EN	オオツリバナ	NT	イワウメ	VU
タカネバラ	CR	クロカンバ	EN	ヒメイワカガミ	EN
クサイチゴ	EN	クロツバラ	DD	シャクジョウソウ	NT
ミヤマウラジロイチゴ	VU	オオバグミ(マルバグミ)	VU	コバノイチヤクソウ	CR
コガネイチゴ	EN	エゾノタチツボスミレ	CR	ヘニバナイチヤクソウ	VU
サナギイチゴ	VU	キバナノコマノツメ	VU	カラフトイチヤクソウ	CR
ミヤマワレモコウ	EN	ウスバスミレ	VU	ジンヨウイチヤクソウ	EN
ウラジロナナカマド	EN	ヒゴスミレ	EN	ヒメシャクナゲ	EN
タカネナナカマド	CR	エゾアオイスミレ	EN	コメバツガザクラ	NT
エゾノシロバナシモツケ	NT	タカネスミレ	CR	イワヒゲ	EN
モメンヅル	EN	イソスミレ(セナミスミレ)	EN	ヤチツツジ	CR
カワラケツメイ	NT	ツルタチツボスミレ	EN	サラサドウダン	NT
イワオウギ	VU	サクラスミレ	CR	ウラジロハナヒリノキ	EN
フジカンゾウ	NT	コスミレ	EN	シラタマノキ	NT
エゾレンリソウ	VU	アケボносミレ	EN	ミネズオウ	VU
レンリソウ	EN	ヒナスミレ	NT	アオノツガザクラ	NT
イヌハギ	NT	ゲンジスミレ	CR	ツガザクラ (ナガバツガザクラを含む)	EN
センダイハギ	NT	ミズマツバ	EN	イソツツジ	VU
ノハラクサフジ	NT	ミズキカシグサ	EN	ユキグニミツバツツジ	EN
スズメノエンドウ	EN	ヒメピン	EN	オオバツツジ	NT
ヒロハクサフジ	VU	ヤナギラン	NT	ハイカツツジ	EN
カスマグサ	NT	ケゴンアカバナ	VU	オオコメツツジ	EN
ナンテンハギ	VU	ヒメアカバナ	CR	コメツツジ	NT
ミツバフウロ	NT	オオアカバナ	EX	エゾツツジ	EN
ハクサンフウロ	NT	ミヤマアカバナ	NT	ツルコケモモ	NT
ハマフウロ(オガフウロを含む)	VU	ホソバアカバナ	EN	イワツツジ	EN
マツバニンジン	EX	ヤマトグサ	EN	マルバウスゴ	EN
シナノタイゲキ	EN	スギナモ	VU	ヒメクロマメノキ	CR
ハクサンタイゲキ	NT	ハクサンサイコ	NT	ギンレイカ(ミヤマタゴボウ)	EX
アカメガシワ	NT	ハマゼリ	VU	ウミミドリ	VU
ヤマアイ	VU	カラフトニンジン	VU	ミチノクコザクラ	CR
シラキ	VU	ハマボウフウ	NT	ユキワリコザクラ	VU
カラコギカエデ	NT	ヤマゼリ	CR	オオサクラソウ	CR
クロビイタヤ	EN	オオカサモチ	EN	ヒナザクラ	NT
モクゲンジ	CR	ムカゴニンジン	NT	ハイハマボツ	NT
		オヤブジラミ	VU		

オクノハマイボタ	DD	タテヤマウツボグサ	NT	ムシトリスミレ	EN
ヒメナエ	CR	ミヤマタムラソウ	VU	イヌタヌキモ	NT
アイナエ	CR	ヤマジノタツナミソウ	EN	ミミカキグサ	NT
ミヤマリンドウ	VU	デワノタツナミソウ	NT	ホザキノミミカキグサ	VU
リンドウ	EN	イヌニガクサ	EN	フサタヌキモ	EN
タテヤマリンドウ	VU	イブキシヤコウソウ	VU	オオタヌキモ	VU
ハナイカリ	CR	ハシリドコロ	NT	ヒメタヌキモ	VU
ホソバツルリンドウ	EN	ハダカホオズキ	CR	ムラサキミミカキグサ	NT
ミヤマアケボノソウ	CR	マルバノサワトウガラシ	EN	エゾオオバコ	NT
タカネセンブリ	CR	アブノメ	CR	ハクサンオオバコ	EN
イヌセンブリ	CR	ホソバコゴメグサ	EN	トウオオバコ	VU
アサザ	NT	ミチノクコゴメグサ	CR	リンネソウ	CR
チョウジソウ	VU	キクモ	NT	エゾヒヨウタンボク	CR
テイカカズラ	CR	ミヤマママコナ	VU	クロミノウグイスカグラ	VU
フナバラソウ	CR	ママコナ	EN	(マルバヨノミを含む)	
コバノカモメヅル	DD	ミヤマシオガマ	CR	ヤマウグイスカグラ	DD
キクムグラ	NT	ヨツバシオガマ	VU	ウコンウツギ	DD
ハシカグサ	NT	イワテシオガマ	NT	ソクズ	NT
フタバムグラ	NT	オニシオガマ	NT	キバナウツギ	VU
オオキヌタソウ	EN	シオガマギク	VU	レンブクソウ	VU
アカネムグラ	EN	トモエシオガマ	EN	カノコソウ	EN
マメダオシ	DD	イワブクロ	CR	ツルカノコソウ	NT
エゾルリムラサキ	CR	エゾヒナノウスツボ	NT	シテシャジン	CR
ムラサキ	CR	ゴマノハグサ	CR	イワギキョウ	CR
ハマベンケイソウ	VU	オオヒナノウスツボ	NT	ヤマホタルブクロ	DD
コシジタヒラコ	VU	ヒヨクソウ	VU	ホタルブクロ	VU
カリガネソウ	CR	ヒメクワガタ	CR	キキョウ	EN
アワゴケ	EN	エチゴトラノオ	VU	マツムシソウ	EX
ミズハコベ	NT	エゾルリトラノオ	NT	ヤマノコギリソウ	NT
カイジンドウ	CR	(ヤマノコギリソウを含む)		エゾノコギリソウ	CR
トウバナ	NT	ミチノククワガタ	EN	ウサギギク	VU
ムシャリンドウ	CR	シラガミクワガタ	EN	サマニヨモギ	CR
サンインヒキオコシ	NT	ヒシモドキ	CR	ヒメヨモギ	NT
メハジキ	VU	イワタバコ	EN	アサギリソウ	EX
キセウタ	CR	オオナンバンギセル	NT	シロヨメナ	EN
ヤマジソ	EN	ハマウツボ(オカウツボを含む)	EN	ヒメシオン	NT
ミソガワソウ	CR	キヨスミウツボ	EN	サワシロギク	VU

カントウヨメナ	VU	オガコウモリ	DD	トリゲモ	CR
オケラ	VU	クルマバハグマ	NT	オオトリゲモ	EN
エゾノタウコギ	NT	オヤリハグマ	CR	ヒメイバラモ	EX
コヤブタバコ	VU	イワテヒゴタイ	EN	イトイバラモ	EN
オオガンクビソウ	CR	ミヤマキタアザミ	EN	ソクシンラン	EX
ウゴシオギク	CR	ヒメヒゴタイ	CR	シロウマアサツキ	EN
ミネアザミ	EN	オクキタアザミ	EN	ミヤマラッキョウ	CR
アシノクラアザミ	DD	ヤハズトウヒレン	EN	ヤマラッキョウ	EN
ハリオニアザミ	CR	エゾオグルマ	CR	ギョウジャニンニク	VU
チョウカイアザミ	EN	ハチジョウナ	VU	アマナ	CR
リョウウアザミ	DD	オクウスギタンポポ	EN	キジカクシ	VU
ガンジュアザミ	CR	オナモミ	CR	クロヒメシライトソウ	EN
オガアザミ	DD	被子植物 単子葉植物		スズラン	EN
ニッコウアザミ	VU	サジオモダカ	NT	ノカンゾウ	NT
エゾノキツネアザミ	EN	マルバオモダカ	NT	キヌガサソウ	EN
トガアザミ	DD	ウリカワ	CR	スカシユリ	NT
タカサブロウ	VU	スブタ	CR	ヤマスカシユリ	VU
ムカシヨモギ	CR	ヤナギスブタ	VU	ヤブラン	DD
ミヤマアズマギク	CR	トチカガミ	EN	ホソバナアマナ	EN
アズマギク	NT	ミズオオバコ	NT	クルマバツクハネソウ	NT
アキノハハコグサ	DD	セキショウモ	CR	マルバサンキライ	CR
ミヤマコウゾリナ	VU	ホロムイソウ	VU	チシマゼキショウ	EN
クモマニガナ	NT	オオシバナ	EN	チャボゼキショウ	NT
タカサゴソウ	CR	ホソバナシバナ	CR	ヒメイワショウブ	EN
ノニガナ	EN	エゾヤナギモ	VU	オオバナノエンレイソウ	EN
ミヤマイワニガナ	CR	エゾノヒルムシロ	VU	コジマエンレイソウ	CR
カワラニガナ	CR	センニンモ	NT	バイケイソウ	NT
コオニタビラコ	EN	ササエビモ	CR	ミズアオイ	VU
ミヤマウスユキソウ	CR	リュウノヒゲモ	VU	ヒメシャガ	NT
ウスユキソウ	NT	ヒロハノエビモ	VU	ヒオウギアヤメ	EN
マルバダケブキ	CR	ツツイトモ	CR	ヒメコウガイゼキショウ	EN
オタカラコウ	CR	イトクズモ	CR	ヒロハノコウガイゼキショウ	DD
メタカラコウ	NT	コアマモ	VU	ミクリゼキショウ	CR
サワギク	VU	アマモ	EN	ホソコウガイゼキショウ	EN
カニコウモリ	VU	イトトリゲモ	EN	タチコウガイゼキショウ	VU
ツガルコウモリ	DD	ホッスモ	NT	ヤマスズメノヒエ	CR
ミミコウモリ	VU	イバラモ	EN	タカネスズメノヒエ	EN

オカスズメノヒエ	DD	イブキノモソモ	EN	コハリスゲ	EN
ヤブミヨウガ	CR	イチゴツナギ	EN	ヤマアゼスゲ	EN
ホシクサ	EX	ヒエガエリ	VU	アイツスゲ	DD
タカユイヌノヒゲ	VU	ハマヒエガエリ	EN	ムジナスゲ	VU
ミヤマヒナホシクサ	EN	イヌアワ	EN	ヤチスゲ	NT
カラフトホシクサ	DD	ヒゲシバ	CR	ヒエスゲ	EN
コケヌマイヌノヒゲ	DD	ヒロハノハネガヤ	EN	ヤラメスゲ	CR
ガリメギイヌノヒゲ	DD	メガルガヤ	EN	ヤガミスゲ	EN
スズタケ	DD	ハイドジョウツナギ	NT	キンチャクスゲ	EN
センダイザサ(オオクマザサ)	DD	チシマカニツリ	CR	トマリスゲ(ホロムイスゲ)	VU
ミヤマヌカボ	VU	セキショウ	NT	ホソバカンスゲ	NT
コミヤマヌカボ	VU	マイヅルテンナンショウ	CR	オタルスゲ	CR
タカネコウボウ	EN	オオマムシグサ	EN	ナガエスゲ	NT
カニツリノガリヤス	CR	ヒメカイウ	CR	ウスイロスゲ	CR
ヒナガリヤス	CR	ナベクラザゼンソウ	EN	エゾツリスゲ	EN
イワノガリヤス	NT	エゾミクリ	VU	ダケスゲ	CR
タカネノガリヤス	NT	ヤマトミクリ	VU	タカネマスクサ	CR
ミヤマノガリヤス	CR	タマミクリ	VU	ツルスゲ	EN
ツクシガヤ	CR	ホソバタマミクリ	VU	キンスゲ	CR
ヒナザサ	EN	ヒメミクリ	NT	シラコスゲ	NT
ヒロハノコメススキ	EN	モウコガマ	CR	クサスゲ	EN
ハمامギ	EN	コガマ	VU	シオクグ	VU
オオトボシガラ	CR	コウキヤガラ(エゾウキヤガラ)	NT	ユキグニハリスゲ	CR
アオウシノケグサ	EN	ハタガヤ	NT	イワスゲ	CR
ミヤマドジョウツナギ	NT	ヤマタヌキラン	VU	ヤワラスゲ	EN
ウキガヤ	EN	タテヤマスゲ	EN	カンエンガヤツリ	EN
ヒロハノドジョウツナギ	NT	ヒラギシスゲ	EN	アゼガヤツリ	EN
カラフトドジョウツナギ	VU	マツバスゲ	EN	シロガヤツリ	NT
ヌマドジョウツナギ	CR	アワボスゲ	CR	イガガヤツリ	EN
アズマガヤ	NT	ヒメカワズスゲ	CR	セイタカハリイ	EN
カモノハシ	NT	ハクサンスゲ	VU	スジヌマハリイ	EN
ミノボロ	EN	ジョウロウスゲ	VU	ヒメハリイ(クロハリイを含む)	VU
キダチノネズミガヤ	CR	クリイロスゲ	CR	マルホハリイ	EN
アイアシ	EN	アゼナルコ	CR	サギスゲ	NT
アオイチゴツナギ	CR	ニッコウハリスゲ	EN	コアゼテンツキ	VU
イトイチゴツナギ	EN	マスクサ	VU	テンツキ	VU
オガタチイチゴツナギ	EN	イトキンスゲ	VU	クロテンツキ	EN

アオテンツキ	EN	ムカゴソウ	EX
イトイヌノハナヒゲ	NT	ハクウンラン	EN
コイヌノハナヒゲ	VU	ギボウシラン	EN
コホタルイ	NT	フガクスズムシソウ	EN
ヒメホタルイ	NT	セイタカスズムシソウ	EN
タカネクロスゲ	EN	ジガバチソウ	VU
マツカサススキ	EN	スズムシソウ	EN
ツルアブラガヤ	EN	クモイジガバチ	DD
クロアブラガヤ	EN	ホザキイチヨウラン	CR
コシンジュガヤ	EN	アリドオシラン	NT
ミネハリイ	NT	ノビネチドリ	NT
コアニチドリ	VU	コフタバラン(フタバラン)	EN
エビネ	NT	ヒメフタバラン	EN
キンセイラン	EN	アオフタバラン	NT
ナツエビネ	CR	サカネラン	CR
サルメンエビネ	EN	ミヤマフタバラン	EN
ギンラン	NT	フジチドリ	CR
ユウシュンラン	CR	ヒナチドリ	EN
キンラン	EN	ウチヨウラン	CR
オノエラン	EN	サギソウ	CR
トケンラン	EN	タカネトンボ	EN
コアツモリソウ	EN	ジンバイソウ	NT
チョウセンキバナアツモリソウ	CR	ミスチドリ	VU
クマガイソウ	EN	イイヌマムカゴ	NT
アツモリソウ	EX	ツレサギソウ	EN
ツチアケビ	EN	ハシナガヤマサギソウ	VU
アオチドリ	EN	タカネサギソウ	CR
ハクサンチドリ	NT	オオキノチドリ	NT
イチヨウラン	VU	ホソバノキノチドリ	NT
サワラン	EN	トキソウ	NT
エゾスズラン	NT	ヤマトキソウ	VU
ハマカキラン	CR	ヒトツボクロ	NT
カキラン	NT	ショウキラン	NT
オニノヤガラ	NT		
ヒロハツリシュスラン	CR		
ミズトンボ	VU		
ヤチラン	CR		

Vascular Plants



維管束 植物

掲載種の解説

Red Data Book of Akita Prefecture 2014
Vascular Plants

維管束植物概説 ー秋田の植物的自然ー

地球科学の書物には地球が出来てから数十億年の時が過ぎていることが書かれている。その間に地殻は様々な変化を遂げて日本列島が形成され秋田県の県土ができあがった。新生代第四紀は地質時代の中では僅かな時間と言われ、その中で完新世はさらに短い最近の1万年余である。しかし、人類の歴史にとってのこの時代は自らの進歩と重なる重要な時期であった。地球の歴史の中で生命が誕生し、生物が進化し、人類が生まれ、その地質時代と歩みを同じくして植物も進化し様々な変化を経て現在のよう姿になってきた。私たちが見る自然における植物の有り様は地球の歴史と生物の進化の結果としての存在である。このような時間軸・空間軸の中における植物の総体を植物的自然という呼び方をする。しかるに、ここ数十年の人間の社会的活動は自然の中の植物に大きな変革を強いることとなった。それは森林の皆伐や植林、農耕地や都市の開発、埋め立て等の海岸工事、交通網整備のような大規模な開発行為であり、酸性雨・水質汚染・農薬散布のような環境への負荷行為である。僅か数百年前の焼き畑や農耕などの土地利用とは比較にならない大規模、深刻な自然への影響が続き、自然界の植物も大きな変化を余儀なくされている。

近年の環境改変による植物種への影響に対して、生態系の多様性保全という立場から基礎的データの提出が求められ、国においても地方自治体においてもレッドデータブックの策定が求められたものと考えられる。このような社会的要請の中で本県でも秋田県版レッドデータブックが2002年に刊行された。国には5年ごとの改訂予定があったが秋田県では10年ほどの期間をおいてこのたび新しいデータに基づく改訂版を作成することとなった。

秋田県の植物はおおよそ2千数百種と見られている。その中には外国から入り込んだ帰化種、国内の他の地域から移動してきた移入種、栽培植物が野生化した逸出種などが含まれている。また、植物の種類には厳格な格付けが行われていて、「種 Species」の下には亜種・変種・品種などの下位分類群が置かれている。園芸植物などで何百種というような場合は品種を種類として扱う方法で、植物分類学ではそれらは合わせて1種ということになる。秋田県の自生植物約2千種は秋田県の県土において進化の歴史の中で、地殻の変動に対処しながら生き延びてきた貴重な生き物であり、その価値は花の美しさや人間に対する有用性などに左右されず等しく同じ価値を持つものと考えられる。

秋田県に生育する植物の種を総括して植物相（フロラ）と呼ぶ。秋田県のフロラの構成に最も大きな影響を与えたのは最終氷期（主ウルム氷期）と考えられる。旧大雄村田根森の泥炭は古い時代の植物遺体の堆積物と言われ、しばしば果実や小枝などの大型遺体が見つかっている。花粉分析と放射性同位元素による解析でこれらは約2万2千年前の地層であることが明らかにされている。当時この周辺はトウヒ属などの亜寒帯性針葉樹林で覆われ、現在の北海道のような風景が広がっていたものと見られている。また、秋田県のスギは約3千年前頃から漸増してきたことが分かっており、森林の構成も長い時間の中で変化してきたことがうかがわれる。県内の二次林の構成種であるコナラは寒さを避ける形で本州においては数カ所の狭い地域（レフュージア）に閉じこめられるようにして氷期を過ごしたと言われている。このように植物はその時代の気候によって分布域の伸縮や移動のような変化を繰り返してきたものと思われる。また、多雪地帯に多いユキツバキはウルム氷期以前から本州に生育していた植物であり、逆に海岸部に生育するヤブツバキは後氷期になって南方から進入して北上したとの研究もあり、本県に現存している植物もそれぞれ異なった歴史的背景を持つものと考えられる。

秋田県は国内で6番目の広い面積を持つ県である。その中には多様な環境があり、植物は気候や人間活動の影響を受けながら独自の空間を確保して生育している。高山・草原・森林・湿原・水域・都市環境などの異なる環境に適応しながら特徴的な植物群落を形成している。群落の中の植物は環境の変化により選択的な影響を受ける。その結果、以前に比べて著しく生育域が狭められたり個体数が激減したりする種があり、さらにその中には県内での自生が確認出来なくなり、絶滅してしまったのではないかと見られる種も存在する。全国的にも同様な指摘がされているが、秋田県のご数十年で最も深刻な変化を受けているのは草原の植物である。例えば秋の七草として知られるキキョウやオミナエシなど草地に生育していた植物はここ数十年で激減し人々の目に触れる機会は著しく少なくなった。これは農村の生活形態の変化により集落の周辺にあった採草地が森林化していったことによると見られている。また、化学物質が水域に流入することにより水域の植物、特に沈水植物への大きな影響が懸念されている。さらに園芸目的や食用目的の採取も看過出来ない状況のようである。ラン科植物の採取は恒常的に行われている恐れがあり、ギョウジャニンニクは食用として流通ルートに乗るようになってから県内の生育地が激減していることが話題となっている。

日常的に秋田県を探索している立場で改訂に際して以上のような問題意識を持ちながら調査を進めた。2002年版に採用されている種の分布域についての再検討、希少な種についての現地の生育状況調査、標本についての分類学的な再同定、新しく採用されるべき種の検討、記述方式の点検など、多岐にわたる作業により県民への出来る限りの正確な情報の伝達を心がけた。2002年版に書かれているとおり、このような作業は常に進行形であり、いつも正確さへの真摯な研究態度が求められるものと考えている。所与の条件の中で最善を期したものではあるが、なお今後の研究者によるさらなる研鑽により完成度の高い資料への向上を期待してやまないものがある。

社会生活の進歩にともない我が国の国民生活は今後さらに自然との距離が遠くなる傾向が強まるものと思われる。教育の世界で児童生徒に対して環境教育や総合的な学習の領域を積み重ねることで自然の体験や文化を伝承してゆく試みも行われている。しかし、かつて個人の興味関心の赴くままに行われた非職業的ナチュラリストによる自然の研究は今後期待することは出来ない。環境行政・教育行政などが一体となって自然を調べ、資料を残し、正確に伝えてゆく仕組みを構築することが国のみならず地方の行政機関にも求められる時代になった。その際に大学などの高等教育機関と博物館のような生涯学習の場、各地の研究会のような民間団体などの有機的なネットワークが重要な役割を担うものと考えられる。今の時代に責任を持つ作業の終わりにあたって未来への進展に改めて期待を表したい。

秋田県版レッドデータブック改訂検討委員会 委員 高田 順

解説項目と内容

〔例〕

キク科 ← (1)	秋田県2014：絶滅危惧IA類 ← (4)
タカサゴソウ ← (2)	秋田県2002：絶滅危惧種IB類 ← (5)
<i>Ixeris chinensis</i> subsp. <i>strigosa</i> ← (3)	環境省2012：絶滅危惧II類 ← (6)
国内の分布 本州、四国、九州 ← (7)	
県内の分布 毛馬内、鷹巣東部、扇田、湯瀬 ← (8)	
生育環境 丘陵地や山地の草地 ← (9)	
選定理由 分布局限、個体数希少 ← (10)	
生存に対する脅威 草地開発、管理放棄、自然遷移 ← (11)	
現在の保護対策 県立自然公園指定植物 ← (12)	
特記事項 近年生育地の減少が見られる。 ← (13)	

(1) 科名

科名は原則として日本の野生植物(平凡社)によった。

(2) 和名

和名は原則として環境省第4次レッドリスト(2012)又は日本維管束植物目録(米倉 2012)によった。2002年版と異なる和名を用いた場合や県内で一般的に用いられている別名はかっこ内に示した。また、軽微な変異の下位分類群を統一して選定した場合もかっこ内に注記した。

(3) 学名

学名は原則として環境省第4次レッドリスト(2012)又は日本維管束植物目録(米倉 2012)によった。なお、命名者名は省略した。

(4) 秋田県2014

秋田県版レッドデータブック2014のカテゴリーを記載した。

(5) 秋田県2002

2002年版のカテゴリーを記載した。2002年版で掲載されていない場合は、「-」と記載した。

(6) 環境省2012

環境省第4次レッドリスト(2012)のカテゴリーを記載した。掲載されていない場合は、「該当なし」と記載した。

(7) 国内の分布

国内の分布を記載した。

(8) 県内の分布

県内の分布記録の位置を国土地理院の2万5千分の1地形図名で記載した。本項目の記載内容には現在確認できない分布記録も含まれている。また、選定理由が高採集圧である種、生存に対する脅威が園芸採取や薬用採取である種、ラン科植物については、保護上の理由により記載せず「保護上の理由により非公開」と記した。秋田県全域の地形図名は図2(P38)のとおりである。

(9) 生育環境

秋田県における主な生育環境を記載した。

(10) 選定理由

掲載種に選定した主な理由を記載した。

(11) 生存に対する脅威

減少、絶滅の要因として推定されるものを記載した。

(12) 現在の保護対策

国立公園、国定公園又は県立自然公園の指定植物、野生動植物保護地区の指定植物、天然記念物の指定もしくはその他の保護対策を記載した。なお、当該植物が採取等の規制対象となる地域内に生育しているか否かを確認したのではなく、指定植物に登載されていることにより本項目に記載した。記載した略称は以下のとおりである。

略 称	内 容
国立公園指定植物	国立公園特別地域において採取等が禁止される植物。国立公園ごとに対象となる植物が指定されている。十和田八幡平国立公園で指定されている場合は記載した。
国定公園指定植物	国定公園特別地域において採取等が禁止される植物。県内には、国定公園が3か所（鳥海、栗駒、男鹿）指定されており、当該公園ごとに対象となる植物が指定されている。いずれかの国定公園において採取等が禁止される植物に指定されている場合は記載した。
県立自然公園指定植物	県立自然公園特別地域において採取等が禁止される植物。
国指定野生動植物保護地区指定植物	自然環境保全法により、野生動植物保護地区において採取等が禁止される植物。野生動植物保護地区ごとに対象となる植物が指定されている。白神山地自然環境保全地域内に設けられた野生動植物保護地区で指定されている場合は記載した。
県指定野生動植物保護地区指定植物	秋田県自然環境保全条例により、野生動植物保護地区において採取等が禁止される植物。県内には、県が指定した自然環境保全地域内に野生動植物保護地区が7か所（P194参照）設けられており、当該地区ごとに対象となる植物が指定されている。いずれかの野生動植物保護地区において採取等が禁止される植物に指定されている場合は記載した。
国内希少種	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（通称「種の保存法」）により、国内希少種に指定されている植物。
県（市）指定天然記念物	県又は市により天然記念物に指定されている植物。

(13) 特記事項

その他特記すべき事項を記載した。特記すべき事項が無い場合は項目を省略した。

なお、準絶滅危惧は、(1) 科名、(2) 和名、(3) 学名、(5) 秋田県2002、(6) 環境省2012 のみを記載した。

									湯川	陸奥焼山
	大間越	二ツ森	冷水岳	尾太岳	田代岳	阿闍羅山	碓ヶ関	十和田湖西部	十和田湖東部	
	岩館	中浜	羽後焼山	真名子	越山	白沢	陸中濁川	小坂釜山	中滝	
		羽後水沢	根城岳	藤琴	早口	大館	小坂	毛馬内	犬吠森	
		能代	二ツ井	鷹巣西部	鷹巣東部	扇田	十二所	花輪	四角岳	
		森岳	下岩川	米内沢	桂瀬	明利又	大島	湯瀬	田山	
	大湯	鹿渡	小又口	沖田面	阿仁前田	太平湖	サンク森	熊沢		
戸賀	北浦	寒風山	五城目	湯ノ又	八木沢	阿仁合	森吉山	玉川温泉	八幡平	
	船川	船越	大久保	蓬内台	天上倉山	比立内	戸島内	羽後玉川	曲崎山	松川温泉
		土崎	松原	太平山	番島森	上楡木内	田沢	秋田駒ヶ岳		
		秋田西部	秋田東部	岩見三内	羽後庄内	下楡木内	田沢湖	国見温泉		
		羽川	羽後和田	羽後境	稲沢	角館	抱返り深谷	羽後朝日岳		
		内道川	新波	刈和野	刈和野東部	羽後長野	大神成	北川舟		
		岩谷	新沢	悪戸野	大曲	六郷	真昼岳			
		本荘	岩野目沢	八沢木	角間川	金沢本町	左草			
	平沢	前郷	大琴	老方	浅舞	横手	羽後黒沢	陸中川尻		
	象潟	川辺	矢島	羽後田代	西馬音内	十文字	田子内	三界山		
	小砂川	鳥海山	中直根	上笹子	湯沢	稲庭	楢台	焼石岳		
		湯ノ台	丁岳	松ノ木峠	横堀	菅生	小安温泉	真湯温泉		
					羽後川井	秋ノ宮	桂沢	栗駒山		
					神室山	鬼首峠	軍沢			

【図2】 国土地理院1/25,000地形図



【図3】 秋田県市町村区画図

EX
絶滅CR
絶滅危惧ⅠA類EN
絶滅危惧ⅠB類VU
絶滅危惧Ⅱ類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

イノモトソウ科

イノモトソウ

*Pteris multifida*秋田県2014：絶滅
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	象潟
生育環境	低地の石垣
選定理由	長期間生育の確認がされていない。
生存に対する脅威	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	1970年代の標本が秋田県立博物館に収蔵されている。

アカウキクサ科

オオアカウキクサ

*Azolla japonica*秋田県2014：絶滅
秋田県2002：絶滅種
環境省2012：絶滅危惧IB類

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	浅舞、横手、十文字
生育環境	低地の池沼
選定理由	長期間生育の確認がされていない。
生存に対する脅威	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	1982年の標本が秋田県立博物館に収蔵されているが偶発的な発生も推測される水生シダ類である。

アマ科

マツバニンジン

*Linum stelleroides*秋田県2014：絶滅
秋田県2002：絶滅種
環境省2012：絶滅危惧IA類

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	秋田東部
生育環境	日当たりのよい草地
選定理由	長期間生育の確認がされていない。
生存に対する脅威	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	1950年代に秋田市手形山で採集された標本が秋田県立博物館に収蔵されている。

アカバナ科

オオアカバナ

*Epilobium hirsutum*秋田県2014：絶滅
秋田県2002：絶滅種
環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	本州
県内の分布	陸中濁川
生育環境	低地の河川敷や湿地
選定理由	長期間生育の確認がされていない。
生存に対する脅威	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	1980年代の標本が長野県環境保全研究所に収蔵されている。消長の激しい植物と考えられる。

EX
絶滅

サクランソウ科

ギンレイカ (ミヤマタゴボウ)

Lysimachia acroadenia

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	船川
生育環境	丘陵地の林内・林縁
選定理由	長期間生育の確認がされていない。
生存に対する脅威	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	1980年代の標本が長野県環境保全研究所に収蔵されている。

秋田県2014：絶滅
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

CR

絶滅危惧I A類

マツムシソウ科

マツムシソウ

Scabiosa japonica var. *japonica*

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	秋田東部
生育環境	丘陵地の草地
選定理由	長期間生育の確認がされていない。
生存に対する脅威	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	1950年代の秋田市手形山産の標本が秋田県立博物館に収蔵されている。

秋田県2014：絶滅
秋田県2002：絶滅種
環境省2012：該当なし

EN

絶滅危惧I B類

キク科

アサギリソウ

Artemisia schmidtiana

国内の分布	南千島、北海道、本州（東北、北陸）
県内の分布	毛馬内
生育環境	高山や北地の岩場
選定理由	長期間生育の確認がされていない。
生存に対する脅威	
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物、国指定野生動物植物保護地区指定植物
特記事項	「立山廉吉 1919.9.26毛馬内」の標本が鹿角市先人顕彰館に収蔵されている。

秋田県2014：絶滅
秋田県2002：絶滅種
環境省2012：該当なし

NT

準絶滅危惧

イバラモ科

ヒメイバラモ

Najas tenuicaulis

国内の分布	本州
県内の分布	五城目
生育環境	低地の池沼
選定理由	長期間生育の確認がされていない。
生存に対する脅威	
現在の保護対策	
特記事項	1927年に八郎潟で採集された標本が大阪市立自然史博物館に収蔵されている。

秋田県2014：絶滅
秋田県2002：—
環境省2012：絶滅危惧IA類

DD

情報不足

EX
絶滅CR
絶滅危惧ⅠA類EN
絶滅危惧ⅠB類VU
絶滅危惧Ⅱ類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

ユリ科

ソクシンラン

*Aletris spicata*秋田県2014：絶滅
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	毛馬内
生育環境	シバ草地や林縁
選定理由	長期間生育の確認がされていない。
生存に対する脅威	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	1980年代の標本が鹿角市先人顕彰館に収蔵されている。

ホシクサ科

ホシクサ

*Eriocaulon cinereum*秋田県2014：絶滅
秋田県2002：絶滅種
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	鷹巣東部、米内沢、桂瀬
生育環境	水田
選定理由	長期間生育の確認がされていない。
生存に対する脅威	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	1970年代の標本が秋田県立博物館に収蔵されている。水田に生ずるが全国的に衰退が著しい。

ラン科

アツモリソウ

Cypripedium macranthos var. *speciosum*秋田県2014：絶滅
秋田県2002：絶滅種
環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類

国内の分布	南千島、北海道、本州（中部以北）
県内の分布	十二所
生育環境	山地の草原あるいは疎林内
選定理由	長期間生育の確認がされていない。
生存に対する脅威	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	1918年の標本が鹿角市先人顕彰館に収蔵されている。

ラン科

ムカゴソウ

*Herminium lanceum*秋田県2014：絶滅
秋田県2002：絶滅種
環境省2012：絶滅危惧IB類

国内の分布	北海道、本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	秋田東部
生育環境	やや湿った草地
選定理由	長期間生育の確認がされていない。
生存に対する脅威	
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物
特記事項	1950年代の標本が秋田県立博物館に収蔵されている。

EX
絶滅

ヒカゲノカズラ科

ミスズギ

Lycopodiella cernua

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	桂沢
生育環境	温泉の噴気孔周辺
選定理由	分布局限、個体数希少
生存に対する脅威	土地造成
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物
特記事項	西南日本では普通種であるが北日本では噴気地域に限られる。

CR
絶滅危惧IA類

トクサ科

イヌドクサ

Equisetum ramosissimum var. *ramosissimum*

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅種
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	羽後水沢
生育環境	河口部の砂地
選定理由	分布局限、生育環境悪化
生存に対する脅威	河川改修、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	以前の生育地周辺で二十数年を経て再生しているのが発見された。

EN
絶滅危惧IB類

ハナヤスリ科

ハマハナヤスリ

Ophioglossum thermale var. *thermale*

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	羽後水沢、扇田、船越
生育環境	沿岸部の砂質湿地、内陸部の湿地
選定理由	個体数希少、生育地減少
生存に対する脅威	湿地開発、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

キジノオシダ科

キジノオシダ

Plagiogyria japonica var. *japonica*

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	小砂川
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

DD
情報不足

EX
絶滅

CR
絶滅危惧ⅠA類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

コバノイシカグマ科		秋田県2014：絶滅危惧IA類
フモトシダ		秋田県2002：絶滅危惧種IA類
<i>Microlepia marginata</i>		環境省2012：該当なし
国内の分布	本州、四国、九州、沖縄	
県内の分布	象潟、小砂川	
生育環境	丘陵地の林内	
選定理由	分布局限、個体数極少	
生存に対する脅威	森林伐採、土地造成	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

ホウライシダ科		秋田県2014：絶滅危惧IA類
ハコネシダ		秋田県2002：絶滅危惧種IA類
<i>Adiantum monochlamys</i>		環境省2012：該当なし
国内の分布	本州、四国、九州	
県内の分布	抱返り溪谷	
生育環境	溪流沿いの岩場	
選定理由	分布局限、個体数減少	
生存に対する脅威	園芸採取	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

チャセンシダ科		秋田県2014：絶滅危惧IA類
ヒメイワトラノオ		秋田県2002：絶滅危惧種IA類
<i>Asplenium capillipes</i>		環境省2012：該当なし
国内の分布	北海道、本州、四国、九州	
県内の分布	抱返り溪谷	
生育環境	山地の岩場	
選定理由	分布局限、個体数極少	
生存に対する脅威	森林伐採、岩壁崩落	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

チャセンシダ科		秋田県2014：絶滅危惧IA類
ヤマドリトラノオ		秋田県2002：分布上希少な雑種
<i>Asplenium castaneoviride</i>		環境省2012：絶滅危惧IA類
国内の分布	北海道、本州	
県内の分布	樺台	
生育環境	山地の岩壁	
選定理由	分布局限、個体数極少	
生存に対する脅威	森林伐採	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	
特記事項	雑種とする学説もあるが、環境省レッドリストの分類基準を採用した。	

EX
絶滅

チャセンシダ科

イチョウシダ

Asplenium ruta-muraria

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	樺台
生育環境	山地の岩場
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	好石灰岩植物である。

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：準絶滅危惧

CR
絶滅危惧IA類

チャセンシダ科

イヌチャセンシダ

Asplenium tripteropus

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	岩野目沢
生育環境	山地の岩場
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	北限と見られる。

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

EN
絶滅危惧IB類

オシダ科

サイゴクベニシダ

Dryopteris championii

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	小砂川
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

NT
準絶滅危惧

オシダ科

ツクシイワヘゴ

Dryopteris commixta

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	早口
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	森林開発
現在の保護対策	
特記事項	北限と見られる。

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：—
環境省2012：該当なし

DD
情報不足

EX

絶滅

CR

絶滅危惧ⅠA類

EN

絶滅危惧ⅠB類

VU

絶滅危惧Ⅱ類

NT

準絶滅危惧

DD

情報不足

オシダ科

イワヘゴ

*Dryopteris cycadina*秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	桂瀬、小砂川
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

イワデングダ科

オクヤマワラビ

*Athyrium alpestre*秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	鳥海山
生育環境	亜高山帯の草原、岩石地
選定理由	分布局限、個体数希少
生存に対する脅威	踏みつけ、自然遷移
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

イワデングダ科

キタノミヤマシダ

Diplazium sibiricum var. *sibiricum*秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	白沢
生育環境	山地の風穴周辺
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

ウラボシ科

エゾデングダ

*Polypodium sibiricum*秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	北浦、岩野目沢
生育環境	山地の岩場
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EX
絶滅

ヒメウラボシ科

オオクボシダ

Micropolypodium okuboi

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	松原
生育環境	樹上または岩壁に着生
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	標本は国立科学博物館に収蔵されている。

CR
絶滅危惧IA類

デンジソウ科

デンジソウ

Marsilea quadrifolia

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅種
環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	北海道、本州、四国、九州、奄美大島
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	低地の池沼、水田
選定理由	分布局限、個体数希少
生存に対する脅威	池沼開発、湿地開発、農業汚染、水質汚濁、自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	絶滅に近い状態と見られる。

EN
絶滅危惧IB類

イチイ科

イチイ

Taxus cuspidata var. *cuspidata*

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：情報不足種
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	十和田湖西部、真湯温泉
生育環境	山地の森林
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	

VU
絶滅危惧II類

カバノキ科

ミヤマカワラハンノキ

Alnus fauriei

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：—
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（福井県以北の日本海側）
県内の分布	羽後川井
生育環境	多雪地帯の湿った斜面
選定理由	分布局限
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	
特記事項	県内には一部植栽のものが見られるが、それらは対象外である。

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

カバノキ科

ハシバミ

Corylus heterophylla var. *thunbergii*

国内の分布	北海道、本州、九州
県内の分布	稲庭
生育環境	低山地の林内
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採、道路工事
現在の保護対策	

秋田県2014：絶滅危惧IA類
 秋田県2002：情報不足種
 環境省2012：該当なし

EX
絶滅

ツチトリモチ科

ミヤマツチトリモチ

Balanophora nipponica

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の林内
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	希少な寄生植物である。

秋田県2014：絶滅危惧IA類
 秋田県2002：絶滅危惧種IA類
 環境省2012：絶滅危惧II類

CR
絶滅危惧I A類

タデ科

ムカゴトラノオ

Bistorta vivipara

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	北川舟
生育環境	高山帯の草原
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	踏みつけ、自然遷移
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
 秋田県2002：絶滅危惧種IA類
 環境省2012：該当なし

EN
絶滅危惧I B類VU
絶滅危惧II類

タデ科

エゾノミズタデ

Persicaria amphibia

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	金沢本町
生育環境	低地の池沼
選定理由	分布局限、個体数希少
生存に対する脅威	池沼開発、ため池の崩壊、水質汚濁
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
 秋田県2002：—
 環境省2012：該当なし

NT
準絶滅危惧DD
情報不足

EX
絶滅

タデ科

ネバリタデ

Persicaria viscofera var. *viscofera*秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道～九州
県内の分布	六郷
生育環境	丘陵地の林縁、路傍
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	土地造成
現在の保護対策	

CR

絶滅危惧IA類

ナデシコ科

チョウカイフスマ

Arenaria merckioides var. *chokaiensis*秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	本州（秋田県、山形県）
県内の分布	鳥海山
生育環境	高山帯の草地
選定理由	分布局限、個体数希少
生存に対する脅威	踏みつけ、園芸採取
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

EN

絶滅危惧IB類

ナデシコ科

フシグロセンノウ

*Silene miqueliana*秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅種
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	丘陵地の林内・林縁
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	園芸採取、森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	絶滅寸前と見られる。

NT

準絶滅危惧

ナデシコ科

シラオイハコベ

*Stellaria fenzlii*秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	犬吠森、秋田駒ヶ岳
生育環境	亜高山帯の林縁、草地
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	踏みつけ・森林伐採
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

DD

情報不足

ナデシコ科

エゾオオヤマハコベ

Stellaria radians

秋田県2014：絶滅危惧IA類
 秋田県2002：絶滅危惧種IA類
 環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	浅舞
生育環境	低地の湿地
選定理由	分布局限、生育条件悪化
生存に対する脅威	湿地開発、土地造成
現在の保護対策	

アカザ科

ミドリアカザ

Chenopodium bryoniifolium

秋田県2014：絶滅危惧IA類
 秋田県2002：絶滅危惧種IA類
 環境省2012：絶滅危惧IA類

国内の分布	本州～九州
県内の分布	花輪
生育環境	丘陵地の斜面崩壊地
選定理由	分布局限、個体数激減
生存に対する脅威	土地造成
現在の保護対策	

クスノキ科

シロダモ

Neolitsea sericea var. *sericea*

秋田県2014：絶滅危惧IA類
 秋田県2002：情報不足種
 環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	象潟
生育環境	低地の森林
選定理由	分布局限、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	
特記事項	山形県の生育地との連続的な分布と見られる。

カツラ科

ヒロハカツラ

Cercidiphyllum magnificum

秋田県2014：絶滅危惧IA類
 秋田県2002：絶滅危惧種IA類
 環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	尾太岳
生育環境	山地の風穴周辺
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	

EX
絶滅CR
絶滅危惧IA類EN
絶滅危惧IB類VU
絶滅危惧II類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

EX
絶滅

キンポウゲ科

アズマレイジンソウ (シロウマレイジンソウを含む)

Aconitum pterocaule var. *pterocaule*

国内の分布	本州
県内の分布	大曲、稲庭
生育環境	山地の林縁
選定理由	分布局限、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

CR
絶滅危惧IA類

キンポウゲ科

ミヤマオダマキ

Aquilegia flabellata var. *pumila*

国内の分布	南千島、北海道、本州（中部以北）
県内の分布	八幡平
生育環境	高山の岩場
選定理由	分布局限、個体数希少、高採集圧
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

EN
絶滅危惧IB類

キンポウゲ科

ヒメキンポウゲ

Halerpestes kawakamii

国内の分布	本州（関東以北）
県内の分布	羽後水沢、平沢、象潟
生育環境	塩性湿地
選定理由	分布局限、生育条件悪化
生存に対する脅威	海岸開発・改修、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	確実な生育地は県内1カ所と見られる。

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

キンポウゲ科

シナノキンバイ

Trollius japonicus

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	八幡平、北川舟
生育環境	高山の草原
選定理由	分布局限、個体数極少、高採集圧
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

DD
情報不足

EX
絶滅CR
絶滅危惧ⅠA類EN
絶滅危惧ⅠB類VU
絶滅危惧Ⅱ類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

スイレン科

ネムロコウホネ

Nuphar pumila var. *pumila*

秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類

秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類

環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類

国内の分布 北海道、本州（東北地方）

県内の分布 八幡平

生育環境 亜高山帯の池沼

選定理由 分布局限

生存に対する脅威 池沼開発・改修、園芸採取

現在の保護対策 国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

ケシ科

ツルキケマン（ツルケマン）

Corydalis ochotensis

秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類

秋田県2002：—

環境省2012：絶滅危惧ⅠB類

国内の分布 本州

県内の分布 湯瀬

生育環境 山地の風穴

選定理由 分布局限、個体数希少

生存に対する脅威 森林伐採、踏みつけ

現在の保護対策

ケシ科

コマクサ

Dicentra peregrina

秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類

秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類

環境省2012：該当なし

国内の分布 北海道、本州（中部以北）

県内の分布 秋田駒ヶ岳、国見温泉

生育環境 高山の砂礫地

選定理由 分布局限、高採集圧

生存に対する脅威 園芸採取、踏みつけ、自然遷移

現在の保護対策 国立公園指定植物、県立自然公園指定植物

アブラナ科

エゾハタザオ

Catolobus pendula

秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類

秋田県2002：絶滅危惧種ⅠB類

環境省2012：該当なし

国内の分布 北海道、本州（中部以北）

県内の分布 湯瀬、田山

生育環境 山地～丘陵地の林縁

選定理由 分布局限、個体数希少

生存に対する脅威 森林開発、土地造成、道路工事

現在の保護対策 県立自然公園指定植物

EX
絶滅

アブラナ科

イヌナズナ

Draba nemorosa

国内の分布 北海道、本州、四国、九州

県内の分布 毛馬内、能代、花輪、湯瀬

生育環境 低地の畑地、草地

選定理由 分布局限、個体数希少

生存に対する脅威 土地造成、農薬散布

現在の保護対策 県立自然公園指定植物

特記事項 上記の生育地の多くで確認できない。

秋田県2014：絶滅危惧IA類

秋田県2002：絶滅危惧種IB類

環境省2012：該当なし

CR

絶滅危惧IA類

アブラナ科

ハクセンナズナ

Macropodium pterospermum

国内の分布 北海道、本州（中部以北）

県内の分布 犬吠森、太平山

生育環境 山地の林内・林縁

選定理由 分布局限、個体数極少

生存に対する脅威 園芸採取、自然遷移

現在の保護対策 国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類

秋田県2002：絶滅危惧種IA類

環境省2012：該当なし

EN

絶滅危惧IB類

アブラナ科

キバナハタザオ

Sisymbrium luteum

国内の分布 本州、九州

県内の分布 大間越、岩館

生育環境 海岸近くの林縁

選定理由 分布局限、生育条件悪化

生存に対する脅威 道路工事、自然遷移

現在の保護対策 県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類

秋田県2002：絶滅危惧種IA類

環境省2012：該当なし

VU

絶滅危惧II類

NT

準絶滅危惧

ベンケイソウ科

イワベンケイ

Rhodiola rosea

国内の分布 北海道、本州（中部以北）

県内の分布 大神成

生育環境 高山の岩場

選定理由 分布局限

生存に対する脅威 園芸採取

現在の保護対策 国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類

秋田県2002：絶滅危惧種IA類

環境省2012：該当なし

DD

情報不足

EX
絶滅

CR
絶滅危惧ⅠA類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

ユキノシタ科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類
アラシグサ		秋田県2002：絶滅危惧ⅠA類
<i>Boykinia lycoctonifolia</i>		環境省2012：該当なし
国内の分布	北海道、本州（中部以北）	
県内の分布	鳥海山	
生育環境	高山の湿性草原	
選定理由	分布局限、個体数極少	
生存に対する脅威	踏みつけ、刈り払い	
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	

ユキノシタ科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類
ホクリクネコノメ		秋田県2002：—
<i>Chrysosplenium fauriei</i>		環境省2012：該当なし
国内の分布	本州（日本海沿岸）	
県内の分布	刈和野	
生育環境	沢沿いの陰湿地	
選定理由	分布局限	
生存に対する脅威	道路工事	
現在の保護対策		

ユキノシタ科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類
アカヒダボタン		秋田県2002：絶滅危惧ⅠA類
<i>Chrysosplenium nagasei</i> var. <i>porphyranthes</i>		環境省2012：該当なし
国内の分布	本州（秋田県、岐阜県、滋賀県、三重県）	
県内の分布	新波、大神成	
生育環境	山地の林縁、沢沿い	
選定理由	分布局限	
生存に対する脅威	河川開発・改修	
現在の保護対策		

ユキノシタ科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類
ヒメウメバチソウ		秋田県2002：絶滅危惧ⅠA類
<i>Parnassia alpicola</i>		環境省2012：該当なし
国内の分布	本州（中部以北）	
県内の分布	鳥海山	
生育環境	高山の雪田	
選定理由	分布局限	
生存に対する脅威	踏みつけ	
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	

EX
絶滅

ユキノシタ科

オオシラヒゲソウ

Parnassia foliosa var. *japonica*

国内の分布	本州（秋田県～兵庫県の日本海側）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	低地沢沿いのスギ林内
選定理由	分布局限、生育条件悪化
生存に対する脅威	森林開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

CR
絶滅危惧IA類

ユキノシタ科

バイカウツギ

Philadelphus satsumi

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	湯瀬
生育環境	丘陵地の林縁
選定理由	分布局限、個体数極少、生育条件悪化
生存に対する脅威	道路工事
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

EN
絶滅危惧IB類

バラ科

シロバナノヘビイチゴ

Fragaria nipponica

国内の分布	本州、九州
県内の分布	大神成
生育環境	山地の草地
選定理由	分布局限
生存に対する脅威	踏みつけ、林道開発
現在の保護対策	

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：—
環境省2012：該当なし

NT
準絶滅危惧

バラ科

カラフトダイコンソウ

Geum macrophyllum var. *sachalinense*

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	羽後玉川、田沢
生育環境	山地の林内
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採、道路工事
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

DD
情報不足

バラ科

オオウラジロノキ

Malus tschonoskii

秋田県2014：絶滅危惧IA類
 秋田県2002：絶滅危惧種IA類
 環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	サンケ森、抱返り溪谷
生育環境	山地の林内
選定理由	分布局限、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	

バラ科

キンロバイ

Potentilla fruticosa var. *rigida*

秋田県2014：絶滅危惧IA類
 秋田県2002：絶滅危惧種IA類
 環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の岩場
選定理由	分布局限、個体数極少、高採集圧
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

バラ科

シャリンバイ (マルバシャリンバイ)

Rhaphiolepis indica var. *umbellata*

秋田県2014：絶滅危惧IA類
 秋田県2002：絶滅危惧種IA類
 環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	象潟
生育環境	海岸の林内
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	海岸開発、園芸採取
現在の保護対策	

バラ科

タカネバラ

Rosa nipponensis

秋田県2014：絶滅危惧IA類
 秋田県2002：絶滅危惧種IA類
 環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（中部以北）、四国
県内の分布	上桧木内
生育環境	山地帯上部の林縁
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EX
絶滅CR
絶滅危惧IA類EN
絶滅危惧IB類VU
絶滅危惧II類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

EX
絶滅

バラ科

タカネナナカマド

Sorbus sambucifolia var. *sambucifolia*

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	八幡平
生育環境	亜高山帯の林内・林縁
選定理由	分布局限、個体数希少
生存に対する脅威	登山道開発、園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧IA類

ムクロジ科

モクゲンジ

Koelreuteria paniculata

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：情報不足種
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、九州
県内の分布	岩館、能代、森岳
生育環境	海岸部の崖地
選定理由	分布局限、個体数激減
生存に対する脅威	道路工事、森林伐採
現在の保護対策	
特記事項	県内各地に植栽木があるが、それらは対象としない。

EN
絶滅危惧IB類

アワブキ科

ミヤマハハソ

Meliosma tenuis

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	田子内
生育環境	山地の林内・林縁
選定理由	分布局限、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

スミレ科

エゾノタチツボスミレ

Viola acuminata

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の林内
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	自然遷移、管理放棄、園芸採取
現在の保護対策	

DD
情報不足

EX
絶滅

CR
絶滅危惧ⅠA類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

スミレ科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類 秋田県2002：絶滅危惧ⅠA類 環境省2012：準絶滅危惧
タカネスミレ		
<i>Viola crassa</i>		
国内の分布	北海道、本州（中部以北）	
県内の分布	秋田駒ヶ岳、国見温泉	
生育環境	高山帯～亜高山帯の砂礫地	
選定理由	分布局限、個体数減少	
生存に対する脅威	踏みつけ、園芸採取	
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	

スミレ科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類 秋田県2002：絶滅危惧ⅠB類 環境省2012：該当なし
サクラスミレ		
<i>Viola hirtipes</i>		
国内の分布	北海道、本州、四国、九州	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	丘陵地の林縁	
選定理由	分布局限、個体数極少	
生存に対する脅威	園芸採取、森林伐採	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	
特記事項	近年生育の確認が困難になってきている。	

スミレ科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類 秋田県2002：絶滅危惧ⅠA類 環境省2012：該当なし
ゲンジスミレ		
<i>Viola variegata</i> var. <i>nipponica</i>		
国内の分布	本州、四国	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	山地の林内	
選定理由	分布局限、個体数極少	
生存に対する脅威	園芸採取、自然遷移	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

アカバナ科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類 秋田県2002：絶滅危惧ⅠA類 環境省2012：該当なし
ヒメアカバナ		
<i>Epilobium fauriei</i>		
国内の分布	北海道、本州	
県内の分布	船川	
生育環境	山地の湿った砂礫地	
選定理由	分布局限、個体数極少	
生存に対する脅威	踏みつけ、自然遷移	
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	

EX
絶滅

セリ科

ヤマゼリ

Ostericum sieboldii

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	湯瀬
生育環境	山地の林縁
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採、道路工事
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧IA類

イチヤクソウ科

コバノイチヤクソウ

Pyrola alpina

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	曲崎山
生育環境	亜高山帯の林内
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧IB類

イチヤクソウ科

カラフトイチヤクソウ

Pyrola faurieana

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：—
環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	南千島、北海道、本州（東北地方）
県内の分布	秋田駒ヶ岳
生育環境	亜高山帯の草地
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

ツツジ科

ヤチツツジ

Chamaedaphne calyculata

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：絶滅危惧IB類

国内の分布	北海道、本州（秋田県）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	高山帯の湿原
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	踏みつけ、自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	南限、本州唯一の産地。

DD
情報不足

EX
絶滅

CR
絶滅危惧ⅠA類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

ツツジ科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類 秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類 環境省2012：該当なし
ヒメクロマメノキ		
<i>Vaccinium uliginosum</i> var. <i>alpinum</i>		
国内の分布	北海道、本州（中部以北）	
県内の分布	羽後朝日岳	
生育環境	亜高山帯の岩石地	
選定理由	分布局限、個体数極少	
生存に対する脅威	踏みつけ	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

サクラソウ科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類 秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類 環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類
ミチノクコザクラ		
<i>Primula cuneifolia</i> var. <i>heterodonta</i>		
国内の分布	本州（青森県、秋田県）	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	亜高山帯の湿った草地	
選定理由	分布局限、個体数極少	
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

サクラソウ科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類 秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類 環境省2012：該当なし
オオサクラソウ		
<i>Primula jesoana</i> var. <i>jesoana</i>		
国内の分布	北海道、本州（中部以北）	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	山地帯の林縁・林内	
選定理由	分布局限、個体数激減、高採集圧	
生存に対する脅威	森林伐採、園芸採取	
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物	

マチン科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類 秋田県2002：絶滅危惧種ⅠB類 環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類
ヒメナエ		
<i>Mitrasacme indica</i>		
国内の分布	本州、四国、九州	
県内の分布	船越、大久保、土崎、松原	
生育環境	低地の湿地、池畔	
選定理由	個体数極少、生育条件悪化	
生存に対する脅威	湿地開発、池沼開発、自然遷移	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	
特記事項	上記生育地の多くで確認できない。	

EX
絶滅

マチン科

アイナエ

Mitrasacme pygmaea

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	五城目、刈和野、六郷、金沢本町
生育環境	丘陵地の湿地
選定理由	分布極限、個体数希少
生存に対する脅威	池沼開発、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅種
環境省2012：該当なし

CR
絶滅危惧IA類

リンドウ科

ハナイカリ

Halenia corniculata

国内の分布	北海道、本州、四国
県内の分布	秋田駒ヶ岳
生育環境	亜高山帯～高山帯の草地
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	踏みつけ、園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

EN
絶滅危惧IB類

リンドウ科

ミヤマアケボノソウ

Swertia perennis subsp. *cuspidata*

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	松川温泉
生育環境	高山帯の湿性の岩礫地
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	踏みつけ、園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

NT
準絶滅危惧

リンドウ科

タカネセンブリ

Swertia tetrapetala subsp. *micrantha* var. *chrysantha*

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	羽後朝日岳、大神成、北川舟
生育環境	高山帯の草地
選定理由	分布局限
生存に対する脅威	踏みつけ、園芸採取
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

DD
情報不足

EX
絶滅CR
絶滅危惧ⅠA類EN
絶滅危惧ⅠB類VU
絶滅危惧Ⅱ類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

リンドウ科

イヌセンブリ

*Swertia tosaensis*秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類
秋田県2002：絶滅危惧種ⅠB類
環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	大館、鷹巣西部、鷹巣東部、桂瀬
生育環境	低地や丘陵地の湿地
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	草地開発、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	近年生育地の減少が著しい。

キョウテクトウ科

テイカカズラ

Trachelospermum asiaticum var. *asiaticum*秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類
秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	小砂川
生育環境	丘陵地の林内・林縁
選定理由	分布局限
生存に対する脅威	森林伐採、道路工事
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

ガガイモ科

フナバラソウ

*Vincetoxicum atratum*秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類
秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類
環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の草地
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	草地開発、自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	生育地・個体数とも危機的状況までに減少している。

ムラサキ科

エゾリムラサキ

Eritrichium nipponicum var. *albiflorum*秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類
秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類
環境省2012：絶滅危惧ⅠA類

国内の分布	北海道、本州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の岩壁
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物（母種のミヤマムラサキとして指定）

EX
絶滅

ムラサキ科

ムラサキ

Lithospermum erythrorhizon

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：絶滅危惧IB類

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の草地
選定理由	分布局限、個体数激減、高採集圧
生存に対する脅威	草地開発、自然遷移、染料採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	絶滅に近い状態と見られる。

CR
絶滅危惧IA類

クマツヅラ科

カリガネソウ

Tripora divaricata

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	花輪、土崎
生育環境	小河川の川辺り
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	河川改修、洪水
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧IB類

シソ科

カイジンドウ

Ajuga ciliata var. *villosior*

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：—
環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	北海道、本州、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	日当たりの良い草地
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	園芸採取、草地開発、踏みつけ
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

シソ科

ムシャリンドウ

Dracocephalum argunense

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	丘陵地・山地の林内や草地
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	草地開発、園芸採取
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

DD
情報不足

EX
絶滅CR
絶滅危惧ⅠA類EN
絶滅危惧ⅠB類VU
絶滅危惧Ⅱ類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

シソ科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類 秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類 環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類
キセワタ		
<i>Leonurus macranthus</i>		
国内の分布	北海道、本州、四国、九州	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	丘陵地・山地の草地や林縁	
選定理由	分布局限、個体数極少	
生存に対する脅威	草地開発、園芸採取	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

シソ科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類 秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類 環境省2012：該当なし
ミソガワソウ		
<i>Nepeta subsessilis</i>		
国内の分布	北海道、本州、四国	
県内の分布	鳥海山	
生育環境	亜高山帯の草地や沢筋	
選定理由	分布局限	
生存に対する脅威	踏みつけ	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

ナス科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類 秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類 環境省2012：該当なし
ハダカホオズキ		
<i>Tubocapsicum anomalum</i> var. <i>anomalum</i>		
国内の分布	本州、四国、九州、沖縄、小笠原	
県内の分布	象潟	
生育環境	低地の林縁	
選定理由	分布局限、個体数極少	
生存に対する脅威	森林伐採、土地造成	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	
特記事項	北限と見られる。	

ゴマノハグサ科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類 秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類 環境省2012：該当なし
アブノメ		
<i>Dopatrium junceum</i>		
国内の分布	本州、四国、九州、沖縄	
県内の分布	羽後水沢、鷹巣東部、扇田	
生育環境	丘陵地の水田や湿地	
選定理由	分布局限、生育条件悪化	
生存に対する脅威	湿地開発、農薬汚染	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

EX
絶滅

ゴマノハグサ科

ミチノクコゴメグサ

Euphrasia maximowiczii var. *arcuata*

国内の分布	本州（東北地方）
県内の分布	湯瀬
生育環境	山地の礫 ^{れき} の多い草地
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	草地開発、園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	絶滅に近い状態と見られる。

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

CR
絶滅危惧IA類

ゴマノハグサ科

ミヤマシオガマ

Pedicularis apodochila

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	国見温泉、羽後朝日岳
生育環境	高山帯の風衝草地
選定理由	分布局限、個体数希少
生存に対する脅威	踏みつけ、園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

EN
絶滅危惧IB類

ゴマノハグサ科

イワブクロ

Pennellianthus frutescens

国内の分布	北海道、本州（北部）
県内の分布	秋田駒ヶ岳
生育環境	高山帯砂礫地
選定理由	分布局限
生存に対する脅威	踏みつけ、園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

VU
絶滅危惧II類

ゴマノハグサ科

ゴマノハグサ

Scrophularia buergeriana

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	丘陵地・山地の草地
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	草地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

EX

絶滅

CR

絶滅危惧ⅠA類

EN

絶滅危惧ⅠB類

VU

絶滅危惧Ⅱ類

NT

準絶滅危惧

DD

情報不足

ゴマノハグサ科

ヒメクワガタ

Veronica nipponica var. *nipponica*

秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類

秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類

環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	鳥海山
生育環境	高山の草地
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物

ゴマ科

ヒシモドキ

Trapella sinensis

秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類

秋田県2002：絶滅種

環境省2012：絶滅危惧ⅠB類

国内の分布	本州、九州
県内の分布	土崎、刈和野東部
生育環境	低地の池沼
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	池沼開発、動物食害
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

スイカズラ科

リンネソウ

Linnaea borealis

秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類

秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類

環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	高山帯のハイマツ林内
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	踏みつけ、園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物

スイカズラ科

エゾヒョウタンボク

Lonicera alpigena subsp. *glehnii* var. *glehnii*

秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類

秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類

環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類

国内の分布	南千島、北海道、本州（中部以北）
県内の分布	北浦
生育環境	山地の岩石地
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EX
絶滅

キキョウ科

シデシャジン

Asyneuma japonicum

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅種
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、九州
県内の分布	毛馬内、鬼首峠
生育環境	山地の林縁
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	道路工事
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	調査により新しい生育地が発見された。

CR
絶滅危惧IA類

キキョウ科

イワギキョウ

Campanula lasiocarpa

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	鳥海山
生育環境	高山帯の砂礫地
選定理由	分布局限
生存に対する脅威	踏みつけ、園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧IB類

キク科

エゾノコギリソウ

Achillea ptarmica subsp. *macrocephala* var. *speciosa*

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	海岸の草地
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧II類

キク科

サマニヨモギ

Artemisia arctica subsp. *sachalinensis*

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（北部）
県内の分布	八幡平
生育環境	高山帯の岩場
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	自然遷移、岩壁崩落
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

キク科

オオガンクビソウ

Carpesium macrocephalum

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	湯瀬、田山、稲庭
生育環境	山地の林内
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
 秋田県2002：絶滅危惧種IA類
 環境省2012：該当なし

キク科

ウゴシオギク

Chrysanthemum shiwogiku var. *ugoense*

国内の分布	本州（秋田県、山形県）
県内の分布	小砂川
生育環境	海岸の崖地
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	海岸開発、園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物、にかほ市指定天然記念物
特記事項	ゴミ投棄の影響を受けている。

秋田県2014：絶滅危惧IA類
 秋田県2002：絶滅危惧種IA類
 環境省2012：該当なし

キク科

ハリオニアザミ

Cirsium borealinipponense var. *spinulosum*

国内の分布	本州（秋田県）
県内の分布	秋田駒ヶ岳、国見温泉
生育環境	亜高山帯の砂礫地
選定理由	分布局限、個体数希少
生存に対する脅威	踏みつけ、刈り払い
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物
特記事項	秋田駒ヶ岳特産と言われる。

秋田県2014：絶滅危惧IA類
 秋田県2002：絶滅危惧種IA類
 環境省2012：該当なし

キク科

ガンジュアザミ

Cirsium ganjuense

国内の分布	本州（秋田県、岩手県）
県内の分布	八幡平
生育環境	亜高山帯の草地
選定理由	分布局限、個体数希少
生存に対する脅威	刈り払い、踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
 秋田県2002：絶滅危惧種IA類
 環境省2012：絶滅危惧IB類

EX
絶滅

CR

絶滅危惧IA類

EN

絶滅危惧IB類

VU

絶滅危惧II類

NT

準絶滅危惧

DD

情報不足

EX
絶滅

キク科

ムカシヨモギ

Erigeron acer var. *kamtschaticus*

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	抱返り溪谷
生育環境	山地の岩場
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧IA類

キク科

ミヤマアズマギク

Erigeron thunbergii subsp. *glabratus* var. *glabratus*

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	南千島、北海道、本州（中部以北）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の岩石地
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	園芸採取、自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧IB類

キク科

タカサゴソウ

Ixeris chinensis subsp. *strigosa*

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	毛馬内、鷹巣東部、扇田、湯瀬
生育環境	丘陵地や山地の草地
選定理由	分布局限、個体数希少
生存に対する脅威	草地開発、管理放棄、自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	近年生育地の減少が見られる。

VU
絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

キク科

ミヤマイワニガナ

Ixeris stolonifera var. *capillaris*

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国
県内の分布	秋田駒ヶ岳
生育環境	亜高山帯の砂礫 ^{れき} 地
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	自然遷移、踏みつけ
現在の保護対策	

DD
情報不足

EX

絶滅

CR

絶滅危惧ⅠA類

EN

絶滅危惧ⅠB類

VU

絶滅危惧Ⅱ類

NT

準絶滅危惧

DD

情報不足

キク科

カワラニガナ

Ixeris tamagawaensis

秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類

秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類

環境省2012：準絶滅危惧

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	刈和野東部、大曲
生育環境	中流域の川原
選定理由	分布局限
生存に対する脅威	自然遷移、河川改修
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

キク科

ミヤマウスユキソウ

Leontopodium fauriei var. *fauriei*

秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類

秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類

環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（東北地方）
県内の分布	秋田駒ヶ岳
生育環境	高山帯の草地
選定理由	分布局限、個体数減少、高採集圧
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

キク科

マルバダケブキ

Ligularia dentata

秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類

秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類

環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国
県内の分布	秋ノ宮、神室山
生育環境	亜高山帯～山地帯の草地や林縁
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	刈り払い、園芸採取
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

キク科

オタカラコウ

Ligularia fischeri

秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類

秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類

環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	鬼首峠
生育環境	山地の溪流沿い
選定理由	分布局限
生存に対する脅威	森林伐採、林道造成
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

EX
絶滅

キク科

オヤリハグマ

Pertya triloba

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（関東以北）
県内の分布	上笹子
生育環境	山地の林内
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧I A類

キク科

ヒメヒゴタイ

Saussurea pulchella

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	鷹巣東部、下岩川、桂瀬、湯瀬、戸賀、寒風山、阿仁合、松原、国見温泉、本荘、川辺、矢島
生育環境	日当たりの良い草地
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	草地開発、管理放棄、園芸採取
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物
特記事項	記録は多いが上記の生育地のほとんどで確認できない。

EN
絶滅危惧I B類

キク科

エゾオグルマ

Senecio pseudoarnica

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（北部）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	海岸の草地
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	海岸開発・改修、園芸採取
現在の保護対策	

VU
絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

キク科

オナモミ

Xanthium strumarium

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種II類
環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	北海道、本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	大館、能代、森岳、船川、松原、刈和野、大曲、角間川
生育環境	低地の荒地
選定理由	分布局限
生存に対する脅威	帰化競合
現在の保護対策	
特記事項	記録は多いが上記の生育地のほとんどで確認できない。

DD
情報不足

オモダカ科

ウリカワ

Sagittaria pygmaea

国内の分布	北海道、本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	熊沢、象潟
生育環境	水田
選定理由	分布局限
生存に対する脅威	農薬汚染
現在の保護対策	

秋田県2014：絶滅危惧IA類
 秋田県2002：—
 環境省2012：該当なし

EX

絶滅

トチカガミ科

スブタ

Blyxa echinosperma

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	船越、大久保
生育環境	低地のため池
選定理由	分布局限、個体数希少、生育条件悪化
生存に対する脅威	池沼改修、水質汚濁、農薬汚染、道路工事
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
 秋田県2002：絶滅危惧種IA類
 環境省2012：絶滅危惧II類

CR

絶滅危惧I A類

トチカガミ科

セキシヨウモ

Vallisneria natans var. *natans*

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	能代、五城目、秋田東部、前郷
生育環境	池沼、水田水路
選定理由	分布局限
生存に対する脅威	池沼開発、農薬散布
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	大量に生育していた旧八郎潟では干拓後絶滅した。

秋田県2014：絶滅危惧IA類
 秋田県2002：準絶滅危惧種
 環境省2012：該当なし

EN

絶滅危惧I B類

VU

絶滅危惧II類

ホロムイソウ科

ホソバノシバナ

Triglochin palustris

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	鳥海山、栗駒山
生育環境	湿原や池沼の縁
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	湿地開発、踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
 秋田県2002：絶滅危惧種IA類
 環境省2012：絶滅危惧II類

NT

準絶滅危惧

DD

情報不足

EX
絶滅

ヒルムシロ科

ササエビモ

Potamogeton nitens

国内の分布	北海道、本州（関東以北）
県内の分布	十和田湖西部、十和田湖東部、小坂鉱山、中滝
生育環境	山地の湖沼
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	池沼開発、水質汚濁
現在の保護対策	
特記事項	分布地は十和田湖のみである。

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：—
環境省2012：絶滅危惧II類

CR
絶滅危惧I A類

ヒルムシロ科

ツツイトモ

Potamogeton pusillus

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	大湯、五城目、船越
生育環境	池沼、水路
選定理由	分布局限
生存に対する脅威	池沼開発、農薬散布
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	近年再発見されたが、その後分布地が減少しつつある。

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅種
環境省2012：絶滅危惧II類

EN
絶滅危惧I B類

ヒルムシロ科

イトクズモ

Zannichellia palustris var. *indica*

国内の分布	北海道、本州、九州、沖縄
県内の分布	大湯、寒風山、五城目
生育環境	沿岸部の小河川や池沼
選定理由	分布局限
生存に対する脅威	農薬汚染、池沼開発、水質汚濁
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	近年の研究で遺伝的特異性のあることが明らかになった。

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅種
環境省2012：絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

イバラモ科

トリゲモ

Najas minor

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	森岳、五城目
生育環境	低地の池沼
選定理由	分布局限、個体数極少、生育条件悪化
生存に対する脅威	池沼改修、土地造成、水質変化
現在の保護対策	

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：絶滅危惧II類

DD
情報不足

ユリ科

ミヤマラッキョウ

Allium splendens

国内の分布 北海道、本州（中部以北）

県内の分布 船川

生育環境 山地の草原

選定理由 分布局限、個体数極少

生存に対する脅威 自然遷移

現在の保護対策 県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類

秋田県2002：絶滅危惧種IA類

環境省2012：該当なし

ユリ科

アマナ

Amana edulis

国内の分布 本州、四国、九州、奄美大島

県内の分布 保護上の理由により非公開

生育環境 丘陵地の林縁

選定理由 分布局限、個体数極少

生存に対する脅威 土地造成、園芸採取

現在の保護対策

特記事項 北限と見られる。

秋田県2014：絶滅危惧IA類

秋田県2002：絶滅危惧種IA類

環境省2012：該当なし

ユリ科

マルバサンキライ

Smilax stans

国内の分布 本州、四国、九州

県内の分布 湯瀬

生育環境 山地の林内

選定理由 分布局限、個体数極少

生存に対する脅威 森林伐採

現在の保護対策 県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類

秋田県2002：絶滅危惧種IA類

環境省2012：該当なし

ユリ科

コジマエンレイソウ

Trillium smallii

国内の分布 北海道、本州（北部）

県内の分布 保護上の理由により非公開

生育環境 山地の林内・林縁

選定理由 分布局限、個体数極少

生存に対する脅威 森林伐採、園芸採取

現在の保護対策

秋田県2014：絶滅危惧IA類

秋田県2002：絶滅危惧種IA類

環境省2012：絶滅危惧II類

EX

絶滅

CR

絶滅危惧IA類

EN

絶滅危惧IB類

VU

絶滅危惧II類

NT

準絶滅危惧

DD

情報不足

EX
絶滅

イグサ科

ミクリゼキショウ

Juncus ensifolius

国内の分布 北海道、本州（中部以北）

県内の分布 鳥海山、中直根

生育環境 山地の水辺

選定理由 分布局限、個体数極少

生存に対する脅威 湿地開発、河川改修、自然遷移

現在の保護対策 県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類

秋田県2002：絶滅危惧種IA類

環境省2012：該当なし

CR

絶滅危惧IA類

イグサ科

ヤマスズメノヒエ

Luzula multiflora

国内の分布 北海道、本州、四国、九州

県内の分布 刈野東部、新沢

生育環境 丘陵地の草地

選定理由 分布局限、個体数極少

生存に対する脅威 踏みつけ、自然遷移

現在の保護対策 県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類

秋田県2002：絶滅危惧種IA類

環境省2012：該当なし

EN

絶滅危惧IB類

ツククサ科

ヤブミョウガ

Pollia japonica

国内の分布 本州、四国、九州

県内の分布 小砂川

生育環境 低地の林内

選定理由 分布局限、個体数極少

生存に対する脅威 森林伐採

現在の保護対策

特記事項 北限と見られる。

秋田県2014：絶滅危惧IA類

秋田県2002：絶滅危惧種IA類

環境省2012：該当なし

VU

絶滅危惧II類

NT

準絶滅危惧

イネ科

カニツリノガリヤス

Calamagrostis fauriei

国内の分布 本州（中部以北の日本海側）

県内の分布 八幡平

生育環境 高山帯の草地

選定理由 分布局限

生存に対する脅威 踏みつけ・刈り払い

現在の保護対策 県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類

秋田県2002：絶滅危惧種IA類

環境省2012：該当なし

DD

情報不足

EX

絶滅

CR

絶滅危惧ⅠA類

EN

絶滅危惧ⅠB類

VU

絶滅危惧Ⅱ類

NT

準絶滅危惧

DD

情報不足

イネ科

ヒナガリヤス

Calamagrostis nana subsp. *nana*

秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類

秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類

環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	羽後朝日岳
生育環境	高山帯の乾いた草原や岩場
選定理由	分布局限
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

イネ科

ミヤマノガリヤス

Calamagrostis sesquiflora subsp. *urelytra*

秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類

秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類

環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	秋田駒ヶ岳
生育環境	高山帯の荒原
選定理由	分布局限
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

イネ科

ツクシガヤ

Chikusichloa aquatica

秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類

秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類

環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類

国内の分布	本州、九州
県内の分布	刈和野、角間川、金沢本町
生育環境	低地の河畔
選定理由	分布限定、個体数極少
生存に対する脅威	河川開発・改修、踏みつけ
現在の保護対策	
特記事項	北限と見られる。

イネ科

オオトボシガラ

Festuca extremiorientalis

秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類

秋田県2002：絶滅危惧種ⅠB類

環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	毛馬内、湯瀬
生育環境	山地の林内・林縁
選定理由	分布局限、個体数減少、生育条件悪化
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EX
絶滅

イネ科

ヌマドジョウツナギ

Glyceria spiculosa

国内の分布	北海道、本州（秋田県）
県内の分布	刈和野
生育環境	低地の池沼
選定理由	分布極限
生存に対する脅威	池沼開発
現在の保護対策	
特記事項	本州で唯一の自生地である。

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：—
環境省2012：絶滅危惧II類

CR
絶滅危惧IA類

イネ科

キダチノネズミガヤ

Muhlenbergia ramosa

国内の分布	本州
県内の分布	岩野目沢、平沢
生育環境	山地の林縁
選定理由	分布局限
生存に対する脅威	森林伐採、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

EN
絶滅危惧IB類

イネ科

アオイチゴツナギ

Poa alta

国内の分布	南千島、北海道、本州（近畿以東）
県内の分布	湯瀬
生育環境	山地の草原、風穴地帯
選定理由	分布局限
生存に対する脅威	森林開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

NT
準絶滅危惧

イネ科

ヒゲシバ

Sporobolus japonicus

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	鷹巣東部、扇田、北浦、寒風山
生育環境	丘陵地の湿性の砂礫地
選定理由	個体数希少
生存に対する脅威	草地開発、自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

DD
情報不足

イネ科

チシマカニツリ

Trisetum sibiricum

国内の分布	北海道、本州、四国
県内の分布	羽後朝日岳、大神成
生育環境	亜高山帯～高山帯の草地
選定理由	分布局限、個体数希少
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

サトイモ科

マイヅルテンナンショウ

Arisaema heterophyllum

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	早口、鷹巣東部
生育環境	低地の河畔
選定理由	分布局限、個体数希少
生存に対する脅威	土地造成、河川開発・改修
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：絶滅危惧II類

サトイモ科

ヒメカイウ

Calla palustris

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の水湿地
選定理由	分布局限、生育条件悪化
生存に対する脅威	森林伐採、湿地開発、園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物、県指定天然記念物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：準絶滅危惧

ガマ科

モウコガマ

Typha laxmannii

国内の分布	本州
県内の分布	森岳、角間川
生育環境	低地の湿地
選定理由	分布局限、個体数希少
生存に対する脅威	土地造成・湿地開発
現在の保護対策	
特記事項	全国的に希少である。

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：—
環境省2012：該当なし

EX
絶滅

CR
絶滅危惧IA類

EN
絶滅危惧IB類

VU
絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

EX
絶滅

カヤツリグサ科

アワボスゲ

Carex brownii

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	戸賀、川辺
生育環境	山地の草地
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	草地開発、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

CR
絶滅危惧IA類

カヤツリグサ科

ヒメカワズスゲ

Carex brunnescens subsp. *pacifica*

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	八幡平
生育環境	亜高山帯の湿地
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	湿地開発、草地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

EN
絶滅危惧IB類

カヤツリグサ科

クイロスゲ

Carex diandra

国内の分布	北海道、本州（日本海側）
県内の分布	川辺
生育環境	山地帯の湿地
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	湿地開発
現在の保護対策	

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：絶滅危惧II類

VU
絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

カヤツリグサ科

アゼナルコ

Carex dimorpholepis

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	森岳
生育環境	低地の湿地
選定理由	分布局限、個体数希少
生存に対する脅威	湿地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：—
環境省2012：該当なし

DD
情報不足

EX
絶滅

CR
絶滅危惧ⅠA類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

カヤツリグサ科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類
ヤラメスゲ		秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類
<i>Carex lyngbyei</i> var. <i>lyngbyei</i>		環境省2012：該当なし
国内の分布	北海道、本州（中部以北）	
県内の分布	八幡平	
生育環境	山地の湿原	
選定理由	分布局限、個体数極少	
生存に対する脅威	湿地開発	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

カヤツリグサ科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類
オタルスゲ		秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類
<i>Carex otaruensis</i> var. <i>otaruensis</i>		環境省2012：該当なし
国内の分布	北海道、本州、四国、九州	
県内の分布	田沢湖	
生育環境	山地の溪流沿い	
選定理由	分布局限、個体数極少	
生存に対する脅威	森林伐採	
現在の保護対策		

カヤツリグサ科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類
ウスイロスゲ		秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類
<i>Carex pallida</i>		環境省2012：該当なし
国内の分布	北海道、本州	
県内の分布	大館	
生育環境	山地の風穴	
選定理由	分布局限、個体数希少	
生存に対する脅威	森林伐採、道路工事、踏みつけ	
現在の保護対策		

カヤツリグサ科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類
ダケスゲ		秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類
<i>Carex paupercula</i>		環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類
国内の分布	本州（中部以北）	
県内の分布	曲崎山、松川温泉	
生育環境	高層湿原	
選定理由	分布局限	
生存に対する脅威	踏みつけ、湿地開発	
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物	

EX
絶滅

カヤツリグサ科

タカネマスクサ

Carex planata

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	小砂川
生育環境	林内の陰湿地
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：—
環境省2012：該当なし

CR
絶滅危惧IA類

カヤツリグサ科

キンスゲ

Carex pyrenaica var. *altior*

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	八幡平、鳥海山
生育環境	高山帯の草原
選定理由	分布局限
生存に対する脅威	踏みつけ、登山道整備
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

EN
絶滅危惧IB類

カヤツリグサ科

ユキグニハリスゲ

Carex semihyalofructa

国内の分布	本州（福井県～秋田県の日本海側）
県内の分布	秋田駒ヶ岳、栗駒山
生育環境	山地帯上部の湿地
選定理由	分布局限、個体数希少
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：—
環境省2012：該当なし

NT
準絶滅危惧

カヤツリグサ科

イワスゲ

Carex stenantha var. *stenantha*

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	秋田駒ヶ岳
生育環境	高山帯の砂礫地
選定理由	分布局限
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

DD
情報不足

EX
絶滅CR
絶滅危惧ⅠA類EN
絶滅危惧ⅠB類VU
絶滅危惧Ⅱ類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類 秋田県2002：絶滅危惧ⅠA類 環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類
ナツエビネ		
<i>Calanthe puberula</i> var. <i>puberula</i>		
国内の分布	本州、四国、九州	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	丘陵地の林内	
選定理由	分布局限、個体数極少	
生存に対する脅威	森林伐採、園芸採取	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類 秋田県2002：絶滅危惧ⅠA類 環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類
ユウシュンラン		
<i>Cephalanthera erecta</i> var. <i>subaphylla</i>		
国内の分布	北海道、本州、四国、九州	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	山地の林内	
選定理由	分布局限、個体数希少	
生存に対する脅威	園芸採取	
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	
特記事項	和名は秋田県出身の植物分類学者である工藤祐舜に因むものである。	

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類 秋田県2002：絶滅危惧ⅠA類 環境省2012：絶滅危惧ⅠA類
チョウセンキバナアツモリソウ		
<i>Cypripedium guttatum</i>		
国内の分布	本州（秋田県）	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	山地の草地	
選定理由	分布局限、個体数希少、高採集圧	
生存に対する脅威	園芸採取	
現在の保護対策	国内希少種	
特記事項	この生育地は我が国で唯一の産地と見られる。	

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧ⅠA類 秋田県2002：絶滅危惧ⅠA類 環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類
ハマカキラン		
<i>Epipactis papillosa</i> var. <i>sayekiana</i>		
国内の分布	本州	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	海岸のクロマツ林内	
選定理由	分布局限、個体数極少	
生存に対する脅威	森林伐採、海岸開発、園芸採取	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

EX
絶滅

ラン科

ヒロハツリシュスラン

Goodyera pendula var. *brachyphylla*

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：絶滅危惧IB類

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	ブナ帯の樹上に着生
選定理由	高採集圧
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物

CR
絶滅危惧IA類

ラン科

ヤチラン

Hammarbya paludosa

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：絶滅危惧IB類

国内の分布	南千島、北海道、本州（中部以北）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	高層湿原
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物
特記事項	近年個体数の減少が著しい。

EN
絶滅危惧IB類

VU
絶滅危惧II類

ラン科

ホザキイチョウラン

Malaxis monophyllos

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（近畿以東）、四国
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地帯上部から亜高山帯の林縁
選定理由	分布局限、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採、園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物

NT
準絶滅危惧

ラン科

サカネラン

Neottia nidus-avis var. *mandshurica*

秋田県2014：絶滅危惧IA類
秋田県2002：—
環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	北海道、本州、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の林内
選定理由	分布極限、個体数極少
生存に対する脅威	森林開発、道路工事
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物
特記事項	希少な寄生植物である。

DD
情報不足

EX
絶滅

CR
絶滅危惧ⅠA類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧IA類 秋田県2002：絶滅危惧種IA類 環境省2012：絶滅危惧IB類
フジチドリ		
<i>Neottianthe fujisanensis</i>		
国内の分布	本州（中部以北）	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	山地の樹上に着生	
選定理由	分布局限、個体数極少	
生存に対する脅威	森林伐採、園芸採取	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物	

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧IA類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：絶滅危惧II類
ウチョウラン		
<i>Orchis graminifolia</i> var. <i>graminifolia</i>		
国内の分布	本州、四国、九州	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	山地の湿った岩壁	
選定理由	分布局限、高採集圧	
生存に対する脅威	園芸採取	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物	
特記事項	個体数の減少が顕著である。	

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧IA類 秋田県2002：絶滅危惧種IA類 環境省2012：準絶滅危惧
サギソウ		
<i>Pecteilis radiata</i>		
国内の分布	本州、四国、九州	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	低地の湿地	
選定理由	分布局限、高採集圧	
生存に対する脅威	湿地開発、園芸採取	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物、県指定野生動植物保護地区指定植物	

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧IA類 秋田県2002：絶滅危惧種IA類 環境省2012：該当なし
タカネサギソウ		
<i>Platanthera mandarinorum</i> subsp. <i>maximowicziana</i>		
国内の分布	南千島、北海道、本州（中部以北）	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	高山帯の湿原	
選定理由	分布局限	
生存に対する脅威	園芸採取	
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	

EX
絶滅

ヒカゲノカズラ科

コスギラン

Huperzia selago

国内の分布	北海道、本州（中部以北）、九州（屋久島）
県内の分布	秋田駒ヶ岳、羽後朝日岳、大神成、北川舟
生育環境	高山帯・亜高山帯の草原
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

CR
絶滅危惧ⅠA類

ヒカゲノカズラ科

スギラン

Lycopodium cryptomerinum

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	サンケ森、抱返り溪谷、大神成、真昼岳、小安温泉、真湯温泉、桂沢、鬼首峠
生育環境	山地の樹上に着生
選定理由	分布限定、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採、園芸採取
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

イワヒバ科

コケスギラン

Selaginella selaginoides

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	松川温泉、秋田駒ヶ岳、鳥海山
生育環境	高山帯・亜高山帯の湿原
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	踏みつけ、自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

NT
準絶滅危惧

ミスニラ科

ヒメミスニラ

Isoetes asiatica

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	八幡平、曲崎山、秋田駒ヶ岳
生育環境	亜高山帯の池沼
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	水質汚濁
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：準絶滅危惧

DD
情報不足

ハナヤスリ科

オオハナワラビ

Botrychium japonicum var. *japonicum*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IB類
 環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	北浦、寒風山、羽川、本荘、小砂川
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採、園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

ゼンマイ科

ヤシャゼンマイ

Osmunda lancea

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IA類
 環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	湯瀬、角館、抱返り溪谷
生育環境	河川の岩場
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	河川改修
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

コケシノブ科

アオホラゴケ

Crepidomanes latealatum var. *latealatum*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IB類
 環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄、小笠原
県内の分布	松原、岩野目沢、小砂川
生育環境	山地の岩場
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	道路工事・自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

イノモトソウ科

オオバノイノモトソウ

Pteris cretica

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IB類
 環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	象潟、小砂川
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布限定、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EX
絶滅CR
絶滅危惧IA類EN
絶滅危惧IB類VU
絶滅危惧II類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

EX
絶滅

イノモトソウ科

オオバノハチジョウシダ

Pteris excelsa var. *excelsa*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	象潟、小砂川
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布限定、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧I A類

チャセンシダ科

イワトラノオ

Asplenium tenuicaule

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	田沢湖、国見温泉、抱返り溪谷、八沢木
生育環境	山地の岩場
選定理由	分布限定、個体数極少
生存に対する脅威	土地造成、岩壁崩落
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧I B類

オシダ科

オニカナワラビ

Arachniodes caudata

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	象潟、小砂川
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布限定、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

オシダ科

ハカタシダ

Arachniodes simplicior

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	象潟、小砂川
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布限定、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

DD
情報不足

オシダ科

ヤブソテツ

Cyrtomium fortunei var. *fortunei*

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	寒風山、象潟、小砂川
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IB類
 環境省2012：該当なし

EX

絶滅

オシダ科

オクヤマシダ

Dryopteris amurensis

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	湯瀬、森吉山、戸島内、曲崎山
生育環境	山地帯、亜高山帯の林内
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IB類
 環境省2012：該当なし

CR

絶滅危惧I A類

オシダ科

オオイタチシダ

Dryopteris pacifica

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	内道川、本荘、象潟、小砂川
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布限定、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IB類
 環境省2012：該当なし

VU

絶滅危惧II類

オシダ科

ナンゴクナライシダ

Leptorumohra fargesii

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	桂瀬、象潟、小砂川
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IB類
 環境省2012：該当なし

NT

準絶滅危惧

DD

情報不足

EX
絶滅

オシダ科

ツヤナシイノデ

Polystichum ovatopaleaceum var. *ovatopaleaceum*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	米内沢、象潟、小砂川
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布限定、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

CR

絶滅危惧IA類

オシダ科

サイゴクイノデ

Polystichum pseudomakinoi

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	大久保、本荘、小砂川
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布限定、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EN

絶滅危惧IB類

オシダ科

イノデモドキ

Polystichum tagawanum

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	桂瀬、小砂川
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

VU

絶滅危惧II類

NT

準絶滅危惧

ヒメシダ科

ゲジゲジシダ

Thelypteris decursivepinnata

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	桂瀬、田沢湖、羽川、象潟、小砂川
生育環境	丘陵地の林内・林縁
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採、草地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

DD

情報不足

EX
絶滅CR
絶滅危惧ⅠA類EN
絶滅危惧ⅠB類VU
絶滅危惧Ⅱ類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

ヒメシダ科

ヒメワラビ

Thelypteris torresiana var. *calvata*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	五城目、湯ノ又、新波、象潟
生育環境	丘陵地の林縁
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	土地造成、道路工事
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

ヒメシダ科

ミドリヒメワラビ

*Thelypteris viridifrons*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	桂瀬、松原、本荘、象潟、小砂川
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

イワテング科

ウスヒメワラビ

*Acystopteris japonica*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	松原、象潟、丁岳
生育環境	丘陵地、山地の林内
選定理由	分布限定、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

イワテング科

コウライイヌワラビ

*Deparia coreana*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類

国内の分布	本州、九州
県内の分布	鷹巣東部、桂瀬、船川、象潟、小砂川
生育環境	山地の林内
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EX
絶滅

イワテンダ科

セイタカシケシダ

Deparia dimorphophylla

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	象潟、小砂川
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布限定、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

CR
絶滅危惧I A類

イワテンダ科

ヌリワラビ

Rhachidosorus mesosorus

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	湯沢、稲庭
生育環境	山地の林内
選定理由	分布限定、個体数極少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

EN
絶滅危惧I B類

ウラボシ科

ヒメノキシノブ

Lepisorus onoei

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	船川、象潟
生育環境	丘陵地、山地の岩場
選定理由	分布限定、個体数極少
生存に対する脅威	土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

VU
絶滅危惧II類

ヒノキ科

ネズミサシ (ネズ)

Juniperus rigida

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	湯瀬、湯ノ又、船川
生育環境	丘陵地、山地の林内
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

EX
絶滅

CR
絶滅危惧ⅠA類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

ヤナギ科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IA類 環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類
ユビソヤナギ		
<i>Salix hukaoana</i>		
国内の分布	本州	
県内の分布	玉川温泉、抱返り溪谷、羽後朝日岳	
生育環境	溪流の河畔	
選定理由	分布限定	
生存に対する脅威	河川開発	
現在の保護対策		

カバノキ科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：該当なし
ネコシデ		
<i>Betula corylifolia</i>		
国内の分布	本州（近畿以東）	
県内の分布	太平山、羽後朝日岳、真湯温泉	
生育環境	山地帯上部の低木林	
選定理由	分布限定、個体数希少	
生存に対する脅威	森林伐採	
現在の保護対策		

カバノキ科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類 環境省2012：該当なし
ミズメ		
<i>Betula grossa</i>		
国内の分布	本州、四国、九州	
県内の分布	桂沢、鬼首峠	
生育環境	山地の林内	
選定理由	分布限定、個体数希少	
生存に対する脅威	森林伐採	
現在の保護対策		

イラクサ科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：該当なし
ヤマミズ		
<i>Pilea japonica</i>		
国内の分布	本州、四国、九州	
県内の分布	阿仁前田、下桧木内、抱返り溪谷	
生育環境	山地の林内・林縁	
選定理由	分布限定、個体数希少	
生存に対する脅威	森林伐採、道路工事	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

EX
絶滅

タデ科

オヤマソバ

Aconogonon nakaii

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	秋田駒ヶ岳、国見温泉、大神成
生育環境	亜高山帯・高山帯の砂礫地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧IA類

タデ科

オンタデ

Aconogonon weyrichii var. *alpinum*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	鳥海山、鬼首峠
生育環境	亜高山帯・高山帯の草地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧IB類

タデ科

イブキトラノオ

Bistorta officinalis subsp. *japonica*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	太平山、大神成、北川舟
生育環境	山地帯・亜高山帯の草原
選定理由	分布限定、高採集圧
生存に対する脅威	踏みつけ・園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

タデ科

ナガバノウナギツカミ

Persicaria hastatosagittata

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：準絶滅危惧

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	大曲、川辺、羽後田代
生育環境	池沼の周辺や湿地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	池沼開発、湿地開発
現在の保護対策	

DD
情報不足

タデ科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：該当なし
サデクサ		
<i>Persicaria maackiana</i>		
国内の分布	本州、四国、九州	
県内の分布	大瀧、寒風山、松原、刈和野東部、大曲	
生育環境	低地の池沼	
選定理由	分布限定、個体数希少	
生存に対する脅威	池沼開発・改修	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

ナデシコ科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：絶滅危惧II類
アオモリマンテマ		
<i>Silene aomorenensis</i>		
国内の分布	本州（青森県、秋田県）	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	山地の岩場	
選定理由	分布限定、個体数激減	
生存に対する脅威	園芸採取	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物	

マツブサ科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：該当なし
チョウセンゴミシ		
<i>Schisandra chinensis</i>		
国内の分布	北海道、本州（中部以北）	
県内の分布	陸中濁川、湯瀬、大神成	
生育環境	山地の林内	
選定理由	分布限定、生育条件悪化	
生存に対する脅威	森林伐採、土地造成	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

キンポウゲ科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：該当なし
ハクサンイチゲ		
<i>Anemone narcissiflora</i> subsp. <i>nipponica</i>		
国内の分布	本州（中部以北）	
県内の分布	羽後朝日岳、鳥海山	
生育環境	高山帯の湿性草原	
選定理由	分布限定、高採集圧	
生存に対する脅威	園芸採取	
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	

EX
絶滅

CR
絶滅危惧IA類

EN
絶滅危惧IB類

VU
絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

EX
絶滅

キンポウゲ科

コミヤマハンショウヅル(ミヤマハンショウヅルを含む)

Clematis alpina subsp. *ochotensis* var. *fauriei*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	森吉山、秋田駒ヶ岳、羽後朝日岳、鳥海山、栗駒山
生育環境	高山帯～亜高山帯の林縁
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物

CR
絶滅危惧IA類

キンポウゲ科

ミスミソウ(スハマソウを含む)

Hepatica nobilis var. *japonica*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：準絶滅危惧

国内の分布	本州、四国
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	丘陵地、山地の林内
選定理由	分布限定、個体数激減、高採集圧
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物、県指定野生動植物保護地区指定植物

EN
絶滅危惧IB類

キンポウゲ科

オキナグサ

Pulsatilla cernua

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	丘陵地の草地
選定理由	分布地・個体数の激減、高採集圧
生存に対する脅威	園芸採取、草地開発、土地造成
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物
特記事項	生育地の減少が著しい。

VU
絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

キンポウゲ科

チトセバイカモ

Ranunculus yesoensis

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：絶滅危惧IB類

国内の分布	北海道、本州（青森県、秋田県）
県内の分布	白沢、大館、鷹巣西部、能代、二ツ井
生育環境	低地の河川や水路の流水中
選定理由	分布限定、生育条件悪化
生存に対する脅威	水質汚濁、河川開発・改修、農薬汚染
現在の保護対策	
特記事項	水路の管理状況により生育や分布の消長が激しい。

DD
情報不足

メギ科

ナンブソウ

Achlys japonica

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IB類
 環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（北部）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の風穴地帯
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	自然遷移、園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

メギ科

メギ

Berberis thunbergii

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IB類
 環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	白沢、横手
生育環境	山地の林内・林縁
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採、道路工事
現在の保護対策	

メギ科

トガクシソウ (トガクシショウマ)

Ranzania japonica

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IB類
 環境省2012：準絶滅危惧

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地沢沿いの急傾斜地
選定理由	分布限定、個体数減少、高採集圧
生存に対する脅威	林道開発、園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物、国指定野生動物植物保護地区指定植物

スイレン科

オゼコウホネ

Nuphar pumila var. *ozeensis*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IA類
 環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の池沼
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	池沼の改変
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

EX
絶滅CR
絶滅危惧IA類EN
絶滅危惧IB類VU
絶滅危惧II類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

EX
絶滅

ウマノスズクサ科

コシノカンアオイ

Asarum megacalyx

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：準絶滅危惧

国内の分布	本州（秋田県～福井県の日本海側）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布局限、個体数希少、高採集圧
生存に対する脅威	園芸採取、草地開発、土地造成
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物
特記事項	道路工事により最大の分布地が消滅した。

CR
絶滅危惧IA類

ツバキ科

ヒサカキ

Eurya japonica var. *japonica*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄、小笠原
県内の分布	小砂川
生育環境	低地の林内
選定理由	分布局限
生存に対する脅威	土地造成、道路工事
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧IB類

オトギリソウ科

エゾオトギリ

Hypericum yezoense

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	南千島、北海道、本州（北部）
県内の分布	田代岳、戸賀、八木沢、船川
生育環境	海岸・山地の岩上
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	道路工事、森林伐採
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

ケシ科

ヤマエンゴサク

Corydalis lineariloba var. *lineariloba*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	象潟
生育環境	丘陵地の林内・林縁
選定理由	分布局限、個体数希少
生存に対する脅威	土地造成、踏みつけ
現在の保護対策	

DD
情報不足

EX

絶滅

CR

絶滅危惧ⅠA類

EN

絶滅危惧ⅠB類

VU

絶滅危惧Ⅱ類

NT

準絶滅危惧

DD

情報不足

ケシ科

オサバグサ

Pteridophyllum racemosum

秋田県2014：絶滅危惧IB類

秋田県2002：絶滅危惧種IB類

環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の林内
選定理由	分布限定、生育条件悪化
生存に対する脅威	道路工事、森林伐採、園芸採取
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

アブラナ科

オクヤマガラシ

Cardamine torrentis

秋田県2014：絶滅危惧IB類

秋田県2002：絶滅危惧種IB類

環境省2012：該当なし

国内の分布	本州
県内の分布	八幡平、秋田駒ヶ岳、国見温泉
生育環境	山地の水辺
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	道路工事、森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

アブラナ科

ミギワガラシ

Rorippa globosa

秋田県2014：絶滅危惧IB類

秋田県2002：絶滅危惧種IB類

環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類

国内の分布	本州
県内の分布	五城目、戸島内、椿台、菅生
生育環境	山地の湿地
選定理由	分布限定、生育条件悪化
生存に対する脅威	湿地開発
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

ベンケイソウ科

アオノイワレンゲ

Orostachys malacophylla var. *aggregata*

秋田県2014：絶滅危惧IB類

秋田県2002：絶滅危惧種IB類

環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（北部）
県内の分布	花輪、湯瀬、阿仁前田、八木沢、阿仁合
生育環境	内陸部山地の岩場
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

EX
絶滅

ユキノシタ科

チダケサシ

Astilbe microphylla var. *microphylla*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	毛馬内、湯瀬、熊沢、田沢湖
生育環境	丘陵地山麓の明るい湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧IA類

ユキノシタ科

エゾノチャルメルソウ

Mitella integripetala

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（北部）
県内の分布	小坂鉱山、花輪、湯瀬、太平湖、森吉山、小安温泉
生育環境	山地の溪流沿い
選定理由	分布限定、生育条件悪化
生存に対する脅威	森林伐採、ダム建設
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧IB類

ユキノシタ科

ザリコミ

Ribes maximowiczianum

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	船川、小安温泉、真湯温泉
生育環境	山地の林内や岩礫地
選定理由	分布限定、生育条件悪化
生存に対する脅威	森林伐採、道路工事、ダム建設
現在の保護対策	

VU
絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

ユキノシタ科

シコタンソウ

Saxifraga bronchialis subsp. *funstonii* var. *rebunshirensis*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	冷水岳、真名子、根城岱、丁岳
生育環境	山地の急傾斜の岩場
選定理由	分布限定、高採集圧
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物

DD
情報不足

EX

絶滅

CR

絶滅危惧ⅠA類

EN

絶滅危惧ⅠB類

VU

絶滅危惧Ⅱ類

NT

準絶滅危惧

DD

情報不足

バラ科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：該当なし
クサボケ		
<i>Chaenomeles japonica</i>		
国内の分布	本州、九州	
県内の分布	花輪、羽川、角館	
生育環境	低地の林縁や草地	
選定理由	分布局限、生育条件悪化	
生存に対する脅威	土地造成、自然遷移、草地開発	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

バラ科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IA類 環境省2012：該当なし
エゾツルキンバイ		
<i>Potentilla anserina</i> subsp. <i>pacifica</i>		
国内の分布	北海道、本州（北部）	
県内の分布	戸賀	
生育環境	海岸の草地、岩石地	
選定理由	分布限定、個体数希少	
生存に対する脅威	海岸開発	
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	

バラ科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：該当なし
カワラサイコ		
<i>Potentilla chinensis</i>		
国内の分布	本州、四国、九州	
県内の分布	森岳、湯瀬、大湊、土崎、大琴	
生育環境	川原や草地	
選定理由	分布限定、個体数極少	
生存に対する脅威	草地開発、河川改修	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

バラ科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：該当なし
オオタカネバラ		
<i>Rosa acicularis</i>		
国内の分布	北海道、本州（中部以北）	
県内の分布	白沢、大館、鷹巣東部	
生育環境	山地や丘陵地の風穴地帯	
選定理由	分布限定、生育条件悪化	
生存に対する脅威	自然遷移	
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物、県指定野生動植物保護地区指定植物	

EX
絶滅

バラ科

クサイチゴ

Rubus hirsutus

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	岩谷、象潟、湯沢
生育環境	低地や丘陵地の林縁
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	土地造成、道路工事
現在の保護対策	

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

CR
絶滅危惧IA類

バラ科

コガネイチゴ

Rubus pedatus

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	八幡平、曲崎山、松川温泉
生育環境	亜高山帯の針葉樹林内
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	踏みつけ、園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

EN
絶滅危惧IB類

バラ科

ミヤマワレモコウ

Sanguisorba longifolia

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	羽後玉川、秋田駒ヶ岳
生育環境	亜高山帯の湿原
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：—
環境省2012：該当なし

VU
絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

バラ科

ウラジロナナカマド

Sorbus matsumurana

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	森吉山、八幡平、鳥海山
生育環境	亜高山帯の林内・林縁
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

DD
情報不足

EX
絶滅CR
絶滅危惧ⅠA類EN
絶滅危惧ⅠB類VU
絶滅危惧Ⅱ類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

マメ科

モメンヅル

*Astragalus reflexistipulus*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州
県内の分布	根城岱、鷹巣西部、鷹巣東部、扇田、岩野目沢、左草
生育環境	低地～丘陵地の林縁
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	土地造成、道路工事
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

マメ科

レンリソウ

*Lathyrus quinquevius*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、九州
県内の分布	鷹巣西部、船越、象潟、湯沢
生育環境	低地の草地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	河川開発・改修、草地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

マメ科

スズメノエンドウ

*Vicia hirsuta*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：情報不足種
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	象潟
生育環境	低地の畑地や路傍
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	土地造成・開発
現在の保護対策	

トウダイグサ科

シナノタイゲキ

*Euphorbia sinanensis*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	大館、毛馬内
生育環境	丘陵地の林縁
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EX
絶滅

カエデ科

クロビイタヤ

Acer miyabei var. *miyabei*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	鷹巣西部、鷹巣東部、扇田
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採、土地造成
現在の保護対策	

CR
絶滅危惧IA類

クロウメモドキ科

クロカンバ

Rhamnus costata

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	中滝、田沢、抱返り溪谷、小安温泉、真湯温泉
生育環境	山地の林内
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採、道路工事
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧IB類

スミレ科

ヒゴスミレ

Viola chaerophylloides var. *sieboldiana*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種II類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	丘陵地の林内や草原
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	園芸採取、草地開発
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧II類

スミレ科

エゾアオイスミレ

Viola collina

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	南千島、北海道、本州（中部以北）
県内の分布	白沢、大館、鷹巣東部、扇田、大葛、川辺、羽後田代
生育環境	山地の林内
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	草地開発、自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

スミレ科

イソスミレ (セナミスミレ)

Viola grayi

国内の分布	北海道、本州（日本海側）
県内の分布	羽後水沢、能代、船越、土崎、秋田西部、本荘、小砂川
生育環境	海岸の砂丘
選定理由	分布限定、個体数激減、生育条件悪化
生存に対する脅威	海岸開発・改修
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IB類
 環境省2012：絶滅危惧II類

EX
絶滅

スミレ科

ツルタチツボスミレ

Viola grypoceras var. *rhizomata*

国内の分布	本州（日本海側）
県内の分布	小砂川、鳥海山
生育環境	山地の林内
選定理由	分布局限、個体数希少
生存に対する脅威	踏みつけ、園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IB類
 環境省2012：該当なし

CR
絶滅危惧IA類

スミレ科

コスミレ

Viola japonica

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	角館、大琴、小安温泉
生育環境	丘陵地の林縁
選定理由	分布限定、生育条件悪化
生存に対する脅威	踏みつけ、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IB類
 環境省2012：該当なし

VU
絶滅危惧II類

スミレ科

アケボノスミレ

Viola rossii

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	園芸採取、森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IB類
 環境省2012：該当なし

NT
準絶滅危惧DD
情報不足

EX
絶滅

ミソハギ科

ミズマツバ

Rotala mexicana

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	鷹巣西部、鷹巣東部、扇田、米内沢、桂瀬、本荘、大琴、横堀
生育環境	低地の水田やため池の湿地
選定理由	分布限定、個体数希少、生育条件悪化
生存に対する脅威	農薬汚染、湿地開発、管理放棄
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	現在は上記の多くで確認できない。

CR
絶滅危惧IA類

ミソハギ科

ミズキカシグサ

Rotala rosea

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	鷹巣東部、桂瀬、六郷、横手
生育環境	低地の水田や湿地
選定理由	分布限定、生育条件悪化
生存に対する脅威	湿地開発、土地造成、農薬汚染
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧IB類

ヒシ科

ヒメビシ

Trapa incisa

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種II類
環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	土崎、秋田東部、横手、稲庭
生育環境	低地の池沼
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	池沼開発、水質悪化、農薬汚染
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	生育地の減少が顕著である。

VU
絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

アカバナ科

ホソバアカバナ

Epilobium palustre

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	田代岳、桂瀬、八幡平、天上倉山、比立内
生育環境	山地～亜高山帯の湿原
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	踏みつけ、湿地開発
現在の保護対策	

DD
情報不足

ヤマトグサ科

ヤマトグサ

Theligonum japonicum

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	矢島、中直根
生育環境	山地の林内
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採、道路工事
現在の保護対策	
特記事項	北限と見られる。

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IA類
 環境省2012：該当なし

EX

絶滅

セリ科

オオカサモチ

Pleurospermum uralense

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	国見温泉、大神成、北川舟
生育環境	山地帯上部の草原
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IB類
 環境省2012：該当なし

CR

絶滅危惧I A類

イワウメ科

ヒメイワカガミ

Schizocodon ilicifolius var. *ilicifolius*

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	八幡平、秋田駒ヶ岳
生育環境	亜高山帯の岩石地
選定理由	分布限定、高採集圧
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IB類
 環境省2012：該当なし

EN

絶滅危惧I B類

イチヤクソウ科

ジンヨウイチヤクソウ

Pyrola renifolia

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	丘陵地や低地の林内
選定理由	個体数希少、高採集圧
生存に対する脅威	森林伐採、園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IB類
 環境省2012：該当なし

VU

絶滅危惧II類

NT

準絶滅危惧

DD

情報不足

EX
絶滅

ツツジ科

ヒメシャクナゲ

Andromeda polifolia

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	八幡平、曲崎山、秋田駒ヶ岳
生育環境	高山の湿原
選定理由	分布限定、高採集圧
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧IA類

ツツジ科

イワヒゲ

Cassiope lycopodioides

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	八幡平、上桧木内、秋田駒ヶ岳、栗駒山
生育環境	高山の岩隙
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧IB類

ツツジ科

ウラジロハナヒリノキ

Eubotryoides grayana var. *hypoleuca*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州
県内の分布	栗駒山、神室山
生育環境	亜高山帯の岩石地や風衝地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	踏みつけ、登山道整備
現在の保護対策	

VU
絶滅危惧II類

ツツジ科

ツガザクラ (ナガバツガザクラを含む)

Phyllodoce nipponica subsp. *nipponica*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国
県内の分布	秋田駒ヶ岳、羽後朝日岳、鳥海山、秋ノ宮、栗駒山
生育環境	高山帯の岩隙
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

DD
情報不足

EX
絶滅CR
絶滅危惧ⅠA類EN
絶滅危惧ⅠB類VU
絶滅危惧Ⅱ類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

ツツジ科

ユキグニミツバツツジ

Rhododendron lagopus var. *niphophilum*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の林内
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採、園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	北限

ツツジ科

バイカツツジ

*Rhododendron semibarbatum*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	藤琴、鷹巣西部、羽後庄内、羽後境
生育環境	山地の林内・林縁
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

ツツジ科

オオコメツツジ

Rhododendron tschonoskii subsp. *trinerve*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（日本海側）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の林縁や湿原の周辺
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採、園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	北限

ツツジ科

エゾツツジ

*Therorhodion camtschaticum*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（北部）
県内の分布	八幡平、秋田駒ヶ岳、大神成、北川舟
生育環境	高山帯の岩場や岩礫地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物

EX
絶滅

ツツジ科

イワツツジ

Vaccinium praestans

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	二ツ森、田代岳、森吉山、八幡平
生育環境	亜高山帯の林内
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物

CR
絶滅危惧IA類

ツツジ科

マルバウスゴ

Vaccinium shikokianum

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	鳥海山、桂沢、栗駒山
生育環境	高山帯の湿原の周辺
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	踏みつけ、登山道整備
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧IB類

リンドウ科

リンドウ

Gentiana scabra var. *buergeri*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州、奄美
県内の分布	碓ヶ関、小坂鉱山、毛馬内、田山
生育環境	山地の草地や林縁
選定理由	分布限定、高採集圧
生存に対する脅威	草地開発、土地造成、園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧II類

リンドウ科

ホソバツルリンドウ

Pterygocalyx volubilis

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	北海道、本州、四国
県内の分布	阿闍羅山、大葛、湯瀬、熊沢、湯ノ又、八木沢、国見温泉、小安温泉
生育環境	山地の林縁
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	土地造成、園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

EX
絶滅CR
絶滅危惧ⅠA類EN
絶滅危惧ⅠB類VU
絶滅危惧Ⅱ類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

アカネ科

オオキヌタソウ

Rubia chinensis form. *mitis*

秋田県2014：絶滅危惧IB類

秋田県2002：絶滅危惧種IB類

環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	鷹巣東部、桂瀬、小又口、秋田駒ヶ岳、田沢湖、国見温泉、岩野目沢
生育環境	山地の林内
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

アカネ科

アカネムグラ

Rubia jesoensis

秋田県2014：絶滅危惧IB類

秋田県2002：絶滅危惧種IB類

環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	岩館、戸賀
生育環境	海岸の草地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	海岸開発・改修、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

アワゴケ科

アワゴケ

Callitriche japonica

秋田県2014：絶滅危惧IB類

秋田県2002：情報不足種

環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	能代、秋田西部、真昼岳、湯沢、稲庭
生育環境	住宅地の湿った草地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	踏みつけ、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

シソ科

ヤマジソ

Mosla japonica var. *japonica*

秋田県2014：絶滅危惧IB類

秋田県2002：絶滅危惧種IB類

環境省2012：準絶滅危惧

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	大館、鷹巣東部、扇田、北浦、寒風山
生育環境	丘陵地、山地の草地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	草地開発、踏みつけ
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EX
絶滅

シソ科

ヤマジノタツナミソウ

Scutellaria amabilis

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州
県内の分布	羽後境、刈和野、刈和野東部
生育環境	山地の湿った草地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	園芸採取、森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	北限と見られる。

CR
絶滅危惧IA類

シソ科

イヌニガクサ

Teucrium veronicoides var. *brachytrichum*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：絶滅危惧IA類

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	松原、川辺、小砂川
生育環境	山地の林内
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧IB類

ゴマノハグサ科

マルバノサワトウガラシ

Deinostema adenocaulum

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	藤琴、鷹巣東部、米内沢、桂瀬、阿仁前田、船越、土崎、秋田東部、田沢湖、羽後和田、刈和野東部、象潟
生育環境	低地の水田や湿地
選定理由	分布減少、個体数希少、生育条件悪化
生存に対する脅威	湿地開発、農薬汚染
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	上記生育地の多くで現在確認できない。

VU
絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

ゴマノハグサ科

ホソバコゴメグサ

Euphrasia insignis subsp. *insignis* var. *japonica*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	羽後朝日岳、大神成、北川舟、丁岳
生育環境	高山帯の草地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	踏みつけ、園芸採取
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

DD
情報不足

EX

絶滅

CR

絶滅危惧ⅠA類

EN

絶滅危惧ⅠB類

VU

絶滅危惧Ⅱ類

NT

準絶滅危惧

DD

情報不足

ゴマノハグサ科

ママコナ

Melampyrum roseum var. *japonicum*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布 北海道、本州、四国、九州

県内の分布 横手、十文字、稲庭

生育環境 山地の林縁

選定理由 分布限定、個体数極少

生存に対する脅威 森林伐採、土地造成

現在の保護対策 県立自然公園指定植物

ゴマノハグサ科

トモエシオガマ

Pedicularis resupinata subsp. *teucrifolia* var. *caespitosa*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布 本州（中部以北）

県内の分布 羽後朝日岳、大神成、北川舟

生育環境 高山帯の草地

選定理由 分布限定

生存に対する脅威 踏みつけ、園芸採取

現在の保護対策 国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

ゴマノハグサ科

ミチノククワガタ

Veronica schmidtiana subsp. *senanensis* var. *bandaiana* form. *tomentosa*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布 本州（北部）

県内の分布 保護上の理由により非公開

生育環境 山地帯の岩礫地

選定理由 分布限定、高採集圧

生存に対する脅威 踏みつけ、園芸採取

現在の保護対策 県立自然公園指定植物

ゴマノハグサ科

シラガミクワガタ

Veronica schmidtiana subsp. *senanensis* var. *shiragamiensis*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布 本州（青森県、秋田県）

県内の分布 保護上の理由により非公開

生育環境 山地帯の岩礫地

選定理由 分布限定

生存に対する脅威 踏みつけ、園芸採取

現在の保護対策

EX
絶滅

イワタバコ科

イワタバコ

Conandron ramondioides var. *ramondioides*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の陰湿な岩壁
選定理由	分布限定、高採集圧
生存に対する脅威	森林伐採、園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧IA類

ハマウツボ科

ハマウツボ (オカウツボを含む)

Orobanche coerulea

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	北海道、本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	桂瀬、大湯、船越、羽後田代
生育環境	海岸、丘陵地のヨモギ属に寄生
選定理由	分布局限、個体数希少
生存に対する脅威	道路開発、土地改変
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧IB類

ハマウツボ科

キヨスミウツボ

Phacellanthus tubiflorus

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の林内
選定理由	個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

タヌキモ科

ムシトリスミレ

Pinguicula vulgaris

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）、四国
県内の分布	八幡平、天上倉山、曲崎山、松川温泉、秋田駒ヶ岳、抱返り溪谷、羽後朝日岳、椿台、栗駒山
生育環境	山地帯・高山帯の湿った岩上
選定理由	分布限定、生育条件悪化、高採集圧
生存に対する脅威	園芸採取、岩壁崩落
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

DD
情報不足

EX
絶滅CR
絶滅危惧ⅠA類EN
絶滅危惧ⅠB類VU
絶滅危惧Ⅱ類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

タヌキモ科

フサタヌキモ

*Utricularia dimorphantha*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：絶滅危惧IB類

国内の分布	本州（東北～近畿）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	丘陵地の池沼
選定理由	分布限定、生育条件悪化
生存に対する脅威	池沼開発・改修、水質汚濁
現在の保護対策	

オオバコ科

ハクサンオオバコ

*Plantago hakusanensis*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（中部以北の日本海側）
県内の分布	森吉山、八幡平、松川温泉、鳥海山
生育環境	高山帯の湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

オミナエシ科

カノコソウ

*Valeriana fauriei*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	船川、国見温泉、大神成
生育環境	山地の草地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

キキョウ科

キキョウ

*Platycodon grandiflorus*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類

国内の分布	北海道、本州、四国、九州、奄美
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	丘陵地や山地の草地
選定理由	分布減少、個体数激減、高採集圧
生存に対する脅威	土地造成、園芸採取
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物
特記事項	記録された多くの生育地で現在確認出来ない。

EX
絶滅

キク科

シロヨメナ

Aster ageratoides var. *ageratoides*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	横堀、真湯温泉、鬼首峠
生育環境	山地の森林内や林縁
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	土地造成、道路工事
現在の保護対策	

CR
絶滅危惧IA類

キク科

ミネアザミ

Cirsium alpicola

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：情報不足種
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（北部）
県内の分布	二ツ森、十和田湖東部、森吉山、八幡平、秋田駒ヶ岳
生育環境	亜高山帯の草地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	草地開発、道路工事、踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物

EN
絶滅危惧IB類

キク科

チョウカイアザミ

Cirsium chokaiense

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：準絶滅危惧

国内の分布	本州（秋田県、山形県）
県内の分布	鳥海山
生育環境	亜高山帯、高山帯の岩石地
選定理由	分布局限
生存に対する脅威	踏みつけ、登山道整備
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物
特記事項	鳥海山特産

VU
絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

キク科

エゾノキツネアザミ

Cirsium setosum

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（関東以北）
県内の分布	米内沢、船川、秋田西部
生育環境	低地の荒地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	自然遷移、道路工事
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

DD
情報不足

EX
絶滅

CR
絶滅危惧ⅠA類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

キク科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：該当なし
ノニガナ		
<i>Ixeris polycephala</i>		
国内の分布	本州、四国、九州、沖縄	
県内の分布	大葛、刈和野、岩谷、浅舞、西馬音内、稲庭	
生育環境	水田のあぜや川辺の周辺草地	
選定理由	分布限定、個体数希少	
生存に対する脅威	草地開発、踏みつけ、道路工事	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

キク科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IA類 環境省2012：該当なし
コオニタビラコ		
<i>Lapsanastrum apogonoides</i>		
国内の分布	本州、四国、九州	
県内の分布	象潟	
生育環境	水田および周辺	
選定理由	分布限定	
生存に対する脅威	農薬散布、踏みつけ、道路工事	
現在の保護対策		

キク科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：該当なし
イワテヒゴタイ		
<i>Saussurea brachycephala</i>		
国内の分布	本州（東北地方）	
県内の分布	羽後朝日岳、大神成、丁岳	
生育環境	亜高山帯の崖地や礫地	
選定理由	分布限定、個体数希少	
生存に対する脅威	自然遷移、園芸採取	
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	

キク科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類
ミヤマキタアザミ		
<i>Saussurea franchetii</i>		
国内の分布	本州（東北地方）	
県内の分布	秋田駒ヶ岳、国見温泉、羽後朝日岳、大神成	
生育環境	高山帯の草原	
選定理由	分布限定、個体数希少	
生存に対する脅威	踏みつけ、登山道整備	
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	

EX
絶滅

キク科

オクキタアザミ

Saussurea riederi subsp. *yezoensis* var. *japonica*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（北部）
県内の分布	羽後朝日岳、大神成、鳥海山
生育環境	高山帯の草原
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	踏みつけ、登山道整備
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

CR

絶滅危惧I A類

キク科

ヤハズトウヒレン

Saussurea sagitta var. *sagitta*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	八幡平、秋田駒ヶ岳、大神成
生育環境	高山帯の草地、岩場
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ、自然遷移
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

EN

絶滅危惧I B類

キク科

オクウスギタンポポ

*Taraxacum denudatum*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	秋田西部、上笹子、湯沢
生育環境	低地の路傍
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	園芸採取、道路工事、踏みつけ
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	2002年版ではウスギタンポポとして掲載されている。

VU

絶滅危惧II類

NT

準絶滅危惧

トチカガミ科

トチカガミ

*Hydrocharis dubia*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：準絶滅危惧

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	五城目、秋田東部、刈和野東部、大曲
生育環境	低地の池沼
選定理由	分布限定、生育条件悪化
生存に対する脅威	池沼開発、農薬汚染、水質汚濁、帰化競合
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

DD

情報不足

ホロムイソウ科

オオシバナ

Triglochin maritima

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	岩館、戸賀
生育環境	塩性湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	海岸改修、土地造成
現在の保護対策	

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IA類
 環境省2012：準絶滅危惧

EX
絶滅

アマモ科

アマモ

Zostera marina

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	戸賀、北浦
生育環境	砂泥性の浅い海底
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	海岸開発・改修
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IB類
 環境省2012：該当なし

CR
絶滅危惧IA類

イバラモ科

イトトリゲモ

Najas gracillima

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	鷹巣東部、大湊、鹿渡、阿仁前田、太平湖、寒風山、五城目、刈和野、金沢本町、西馬音内
生育環境	低地の池沼
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	水質汚濁、池沼開発、農薬汚染
現在の保護対策	

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IA類
 環境省2012：準絶滅危惧

EN
絶滅危惧IB類

イバラモ科

イバラモ

Najas marina

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	森岳、戸賀、寒風山、五城目、船越、大久保、土崎
生育環境	低地の池沼
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	水質汚濁、池沼開発、農薬汚染
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IA類
 環境省2012：該当なし

VU
絶滅危惧II類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

EX
絶滅

イバラモ科

オオトリゲモ

Najas oguraensis

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	能代、土崎、秋田東部、角館
生育環境	低地の浅い池沼
選定理由	分布限定、個体数減少
生存に対する脅威	池沼開発・改修、水質汚濁、園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

CR
絶滅危惧IA類

イバラモ科

イトイバラモ

Najas yezoensis

国内の分布	北海道、本州（北部）
県内の分布	鹿渡、寒風山、五城目、大久保、本荘、金沢本町
生育環境	低地の池沼
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	水質汚濁、池沼開発、農業汚染
現在の保護対策	

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：絶滅危惧II類

EN
絶滅危惧IB類

ユリ科

シロウマアサツキ

Allium schoenoprasum var. *orientale*

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	八木沢、大神成、中直根、丁岳
生育環境	内陸部の岩壁
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	園芸採取、岩壁崩落
現在の保護対策	県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

NT
準絶滅危惧

ユリ科

ヤマラッキョウ

Allium thunbergii

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	刈田野東部、大曲、老方、西馬音内
生育環境	丘陵地の湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	湿地開発、草地開発、園芸採取、自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

DD
情報不足

EX
絶滅

CR

絶滅危惧ⅠA類

EN

絶滅危惧ⅠB類

VU

絶滅危惧Ⅱ類

NT

準絶滅危惧

DD

情報不足

ユリ科

クロヒメシライトソウ

Chionographis hisauchiana subsp. *kurohimensis*

秋田県2014：絶滅危惧IB類

秋田県2002：絶滅危惧種IB類

環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類

国内の分布	本州（秋田県、山形県、新潟県）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の林内
選定理由	分布限定、個体数減少
生存に対する脅威	園芸採取、森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物、県指定野生動植物保護地区指定植物

ユリ科

スズラン

Convallaria majalis var. *manshurica*

秋田県2014：絶滅危惧IB類

秋田県2002：絶滅危惧種IB類

環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	日当たりの良い草地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	園芸採取、草地開発、自然遷移
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物
特記事項	個体数・生育地とも減少している。

ユリ科

キノガサソウ

Kinugasa japonica var. *japonica*

秋田県2014：絶滅危惧IB類

秋田県2002：絶滅危惧種IB類

環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	八幡平、曲崎山、上桧木内、神室山
生育環境	亜高山帯、高山帯の林床や湿った草地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

ユリ科

ホソバナアマナ

Lloydia triflora

秋田県2014：絶滅危惧IB類

秋田県2002：絶滅危惧種IB類

環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	戸賀、船川、大琴
生育環境	草地や林縁
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	草地開発、道路工事、踏みつけ
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EX
絶滅

ユリ科

チシマゼキショウ

Tofieldia coccinea var. *coccinea*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国
県内の分布	森吉山、八幡平、松川温泉、秋田駒ヶ岳
生育環境	高山帯の草地または岩上
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ、登山道整備
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧I A類

ユリ科

ヒメイワショウブ

Tofieldia okuboii

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	八幡平、曲崎山、秋田駒ヶ岳、北川舟
生育環境	高山帯のやや湿った草地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	自然遷移、踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧I B類

ユリ科

オオバナノエンレイソウ

Trillium camschatcense var. *camschatcense*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（北部）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地、低地の湿地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	湿地開発、森林伐採、園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧II類

アヤメ科

ヒオウギアヤメ

Iris setosa var. *setosa*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	鳥海山、菅生、小安温泉
生育環境	山地の湿原
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	湿地開発、園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

EX
絶滅CR
絶滅危惧ⅠA類EN
絶滅危惧ⅠB類VU
絶滅危惧Ⅱ類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

イグサ科

ヒメコウガイゼキショウ

Juncus bufonius

秋田県2014：絶滅危惧IB類

秋田県2002：絶滅種

環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	大瀧、鹿渡、船越、秋田西部
生育環境	低地の路傍、畑地、湿地、砂地、河川敷
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	湿地開発、河川開発、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	複数の生育地が再発見された。

イグサ科

ホソコウガイゼキショウ

Juncus fauriensis var. *fauriensis*

秋田県2014：絶滅危惧IB類

秋田県2002：絶滅危惧種IB類

環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	八幡平、秋田駒ヶ岳
生育環境	山地帯、亜高山帯の湿原
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	湿地開発、自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

イグサ科

タカネスズメノヒエ

Luzula oligantha

秋田県2014：絶滅危惧IB類

秋田県2002：絶滅危惧種IB類

環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）、四国
県内の分布	秋田駒ヶ岳、羽後朝日岳、大神成、鳥海山
生育環境	亜高山帯の岩石地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	踏みつけ、自然遷移
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

ホシクサ科

ミヤマヒナホシクサ

Eriocaulon nanellum

秋田県2014：絶滅危惧IB類

秋田県2002：絶滅危惧種IB類

環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（東北地方）
県内の分布	八幡平、曲崎山、秋田駒ヶ岳
生育環境	亜高山帯の湿原
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	湿地開発、踏みつけ、自然遷移
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

EX

絶滅

イネ科

タカネコウボウ

Anthoxanthum horsfieldii var. *japonicum*

国内の分布	本州
県内の分布	大神成、北川舟、神室山
生育環境	山地帯、亜高山帯の草地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

CR

絶滅危惧I A類

イネ科

ヒナザサ

Coelachne japonica

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	土崎、秋田東部、西馬音内
生育環境	低地の湿地やため池の周辺
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	池沼開発、湿地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：準絶滅危惧

EN

絶滅危惧I B類

イネ科

ヒロハノコメススキ

Deschampsia cespitosa subsp. *orientalis* var. *festucifolia*

国内の分布	北海道、本州(中部以北)、四国、九州
県内の分布	八幡平、鳥海山
生育環境	高山帯の草地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

NT

準絶滅危惧

イネ科

ハمامギ

Elymus dahuricus var. *dahuricus*

国内の分布	北海道、本州、九州
県内の分布	大間越、岩館、戸賀、北浦、船川
生育環境	海岸の草地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	海岸開発・改修
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

DD

情報不足

EX
絶滅CR
絶滅危惧ⅠA類EN
絶滅危惧ⅠB類VU
絶滅危惧Ⅱ類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

イネ科

アオウシノケグサ

Festuca ovina subsp. *coreana*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	船川、丁岳、真湯温泉
生育環境	山地の岩場
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採、踏みつけ
現在の保護対策	

イネ科

ウキガヤ

Glyceria depauperata var. *infirma*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州
県内の分布	碓ヶ関、陸中濁川、船越、土崎、大曲
生育環境	低地の水湿地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	湿地開発、土地造成
現在の保護対策	

イネ科

ミノボロ

*Koeleria macrantha*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	大神成、真昼岳
生育環境	山地帯、亜高山帯の草地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	草地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

イネ科

アイアシ

*Phacelurus latifolius*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	岩館、戸賀、平沢
生育環境	海岸の湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	海岸開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EX
絶滅

イネ科

イトイチゴツナギ

Poa matsumurae

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	湯瀬、船川
生育環境	山地の林内、林縁、草地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	草地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

CR
絶滅危惧IA類

イネ科

オガタチイチゴツナギ

Poa ogamontana

国内の分布	本州（北部）
県内の分布	冷水岳、船川
生育環境	山地帯～亜高山帯の岩場
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	踏みつけ、岩壁崩落
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物
特記事項	2002年版ではオガイチゴツナギとして掲載されている。

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

EN
絶滅危惧IB類

イネ科

イブキシソモソモ

Poa radula

国内の分布	北海道、本州（近畿以東）
県内の分布	戸賀、船川、岩見三内
生育環境	山地の林内、林縁
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

NT
準絶滅危惧

イネ科

イチゴツナギ

Poa sphondylodes var. *sphondylodes*

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	花輪、湯瀬、船川、小砂川
生育環境	低地の林縁、路傍
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	草地開発、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

DD
情報不足

イネ科

ハマヒエガエリ

Polypogon monspeliensis

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	能代、森岳
生育環境	沿岸の湿地、砂地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	湿地開発
現在の保護対策	

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：—
 環境省2012：該当なし

EX
絶滅

イネ科

イヌアワ

Setaria chondrachne

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	松原、刈和野東部、横堀
生育環境	山地の林縁
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IB類
 環境省2012：該当なし

CR
絶滅危惧I A類

イネ科

ヒロハノハネガヤ

Stipa coreana var. japonica

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	平沢、象潟、小砂川
生育環境	丘陵地の林内、林縁
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採、草地開発、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IB類
 環境省2012：該当なし

EN
絶滅危惧I B類

イネ科

メガルガヤ

Themeda triandra var. japonica

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	大瀧、北浦、寒風山、大久保、土崎
生育環境	丘陵地の草原
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	踏みつけ、自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
 秋田県2002：絶滅危惧種IB類
 環境省2012：該当なし

VU
絶滅危惧II類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

EX
絶滅

サトイモ科

オオマムシグサ

Arisaema takedae

国内の分布	北海道、本州（近畿以東）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の林内
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採、園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

CR
絶滅危惧I A類

サトイモ科

ナベクラザゼンソウ

Symplocarpus nabekuraensis

国内の分布	本州（長野県以北の日本海側）
県内の分布	太平山、上桧木内、下桧木内、羽後川井
生育環境	山地の林内、林縁
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林開発
現在の保護対策	

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：—
環境省2012：絶滅危惧II類

EN
絶滅危惧I B類

カヤツリグサ科

タテヤマスゲ

Carex aphyllopus subsp. *aphyllopus*

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	羽後朝日岳、鳥海山
生育環境	高山帯の草地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	踏みつけ、登山道整備
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

NT
準絶滅危惧

カヤツリグサ科

ヒラギシスゲ

Carex augustiniowiczii var. *augustiniowiczii*

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	松川温泉、秋田駒ヶ岳
生育環境	山地の溪流沿い
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

DD
情報不足

EX
絶滅CR
絶滅危惧ⅠA類EN
絶滅危惧ⅠB類VU
絶滅危惧Ⅱ類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

カヤツリグサ科

マツバスゲ

*Carex biwensis*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種II類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	二ツ井、北浦、船越、土崎、秋田東部、下桧木内、角館、川辺
生育環境	丘陵地の湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	湿地開発、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

カヤツリグサ科

ニッコウハリスゲ

*Carex fulva*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	八幡平、羽後玉川、秋田駒ヶ岳、羽後朝日岳、栗駒山、鬼首峠
生育環境	山地、亜高山帯の湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	踏みつけ、湿地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

カヤツリグサ科

コハリスゲ

*Carex hakonensis*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	八幡平、秋田駒ヶ岳、抱返り溪谷、大神成、鳥海山
生育環境	山地帯上部の水湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採、踏みつけ
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

カヤツリグサ科

ヤマアゼスゲ

*Carex heterolepis*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、九州
県内の分布	松原、秋田駒ヶ岳、角館、羽後長野、焼石岳、小安温泉
生育環境	山地の溪流沿い
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	河川開発・改修、湿地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EX
絶滅

カヤツリグサ科

ヒエスゲ

Carex longirostrata var. *longirostrata*

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	湯瀬、阿仁前田、船川
生育環境	山地の林縁、草地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採、草地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

CR
絶滅危惧IA類

カヤツリグサ科

ヤガミスゲ

Carex maackii

国内の分布	北海道、本州、九州
県内の分布	秋田西部、刈和野、刈和野東部
生育環境	低地の川辺や湿った草地、原野
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	河川開発・改修、湿地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

EN
絶滅危惧IB類

カヤツリグサ科

キンチャクスゲ

Carex mertensii var. *urostachys*

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	八幡平、羽後朝日岳、鳥海山
生育環境	高山帯の草地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

NT
準絶滅危惧

カヤツリグサ科

エゾツリスゲ

Carex papulosa

国内の分布	北海道、本州（中部以北）、九州
県内の分布	鷹巣東部、北浦、大曲、川辺
生育環境	丘陵地、山地の湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	湿地開発、土地造成、自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

DD
情報不足

EX
絶滅CR
絶滅危惧ⅠA類EN
絶滅危惧ⅠB類VU
絶滅危惧Ⅱ類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

カヤツリグサ科

ツルスゲ

*Carex pseudocuraica*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	羽後水沢、土崎、刈和野東部、大曲
生育環境	低地の池沼、湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	湿地開発、池沼開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

カヤツリグサ科

クサスゲ

*Carex rugata*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	森岳、大久保、秋田東部、刈和野東部
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

カヤツリグサ科

ヤワラスゲ

*Carex transversa*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	鷹巣東部、米内沢、船川
生育環境	低地または丘陵地の林縁
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

カヤツリグサ科

カンエンガヤツリ

Cyperus exaltatus var. *iwasakii*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類

国内の分布	本州（関東以北）
県内の分布	刈和野、岩谷、大曲、本荘
生育環境	低地の川辺
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	河川開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EX
絶滅

カヤツリグサ科

アゼガヤツリ

Cyperus flavidus

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	越山、船川、松原、田沢湖、田子内
生育環境	低地の湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	湿地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

CR
絶滅危惧I A類

カヤツリグサ科

イガガヤツリ

Cyperus polystachyos

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	大湯、船越、象湯
生育環境	低地の湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	海岸開発、湿地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

EN
絶滅危惧I B類

カヤツリグサ科

セイタカハリイ

Eleocharis attenuata

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	能代、船越、秋田東部、羽後和田、金沢本町
生育環境	丘陵地の湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	湿地開発、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

VU
絶滅危惧II類

カヤツリグサ科

スジヌマハリイ

Eleocharis equisetiformis

国内の分布	本州、九州
県内の分布	能代、森岳、大湯、寒風山、船越、椿台
生育環境	丘陵地の砂湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	湿地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

EX
絶滅CR
絶滅危惧ⅠA類EN
絶滅危惧ⅠB類VU
絶滅危惧Ⅱ類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

カヤツリグサ科

マルホハリイ

*Eleocharis ovata*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	能代、大久保、六郷、川辺、小安温泉
生育環境	山地の湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	池沼開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

カヤツリグサ科

クロテンツキ

*Fimbristylis diphyloides*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	能代、船越、土崎、羽後和田、刈和野、本荘
生育環境	低地の湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	湿地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

カヤツリグサ科

アオテンツキ

*Fimbristylis dipsacea*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	能代、桂瀬、羽川、金沢本町、横手
生育環境	低地の湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	湿地開発、池沼開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

カヤツリグサ科

タカネクロスゲ

*Scirpus maximowiczii*秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	八幡平、松川温泉、秋田駒ヶ岳、国見温泉
生育環境	高山帯の湿った草地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

EX
絶滅

カヤツリグサ科

マツカサススキ

Scirpus mitsukurianus

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	秋田西部、秋田東部、刈和野東部
生育環境	低地の湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	湿地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧IA類

カヤツリグサ科

ツルアブラガヤ

Scirpus radicans

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（北部）
県内の分布	能代、二ツ井、森岳、刈和野、刈和野東部
生育環境	低地の川辺、池畔
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	河川開発、湿地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧IB類

カヤツリグサ科

クロアブラガヤ

Scirpus sylvaticus var. *maximowiczii*

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種II類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	早口、能代、鷹巣西部、十二所、四角岳、湯瀬
生育環境	川岸、池畔の湿地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	河川改修、池沼開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

カヤツリグサ科

コシンジュガヤ

Scleria parvula

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	能代、鷹巣西部、鷹巣東部、寒風山、大曲、本荘
生育環境	丘陵地の湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	湿地開発、自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

DD
情報不足

EX
絶滅

CR
絶滅危惧ⅠA類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類
キンセイラン		
<i>Calanthe nipponica</i>		
国内の分布	北海道、本州、四国、九州	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	山地の林内	
選定理由	個体数希少、高採集圧	
生存に対する脅威	園芸採取	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類
サルメンエビネ		
<i>Calanthe tricarinata</i>		
国内の分布	北海道、本州、四国、九州	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	山地の林内	
選定理由	個体数希少、高採集圧	
生存に対する脅威	園芸採取	
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物	

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類
キンラン		
<i>Cephalanthera falcata</i>		
国内の分布	本州、四国、九州	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	山地や丘陵地の林内	
選定理由	個体数希少、高採集圧	
生存に対する脅威	森林伐採、園芸採取	
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：該当なし
オノエラン		
<i>Chondradenia fauriei</i>		
国内の分布	本州（中部以北）	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	高山帯の岩場、草地	
選定理由	分布限定、個体数希少、高採集圧	
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ	
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	

EX
絶滅

ラン科

トケンラン

Cremastra unguiculata

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	北海道、本州、四国
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	低地の林内
選定理由	分布限定、個体数希少、高採集圧
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧IA類

ラン科

コアツモリソウ

Cypripedium debile

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：準絶滅危惧

国内の分布	北海道、本州（中部以北）、四国、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の林内
選定理由	分布限定、個体数希少、高採集圧
生存に対する脅威	森林伐採、園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧IB類

ラン科

クマガイソウ

Cypripedium japonicum

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	丘陵地、山地の林内
選定理由	分布限定、高採集圧
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物
特記事項	生育地・個体数とも減少が著しい。

VU
絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

ラン科

ツチアケビ

Cyrtosia septentrionalis

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の林内
選定理由	個体数希少、高採集圧
生存に対する脅威	園芸採取、薬用採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	薬用・園芸用として採集圧が高く、特に注意を要する。

DD
情報不足

EX
絶滅

CR
絶滅危惧ⅠA類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：該当なし
アオチドリ		
<i>Dactylorhiza viridis</i>		
国内の分布	北海道、本州（中部以北）、四国	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	山地の林内	
選定理由	分布限定、個体数希少	
生存に対する脅威	園芸採取	
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物	

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：該当なし
サワラン		
<i>Eleorchis japonica</i> var. <i>japonica</i>		
国内の分布	南千島、北海道、本州（中部以北）	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	低地、山地の湿地	
選定理由	個体数希少、高採集圧	
生存に対する脅威	湿地開発、園芸採取	
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物、県指定野生動植物保護地区指定植物	

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：該当なし
ハクウンラン		
<i>Kuhlhasseltia nakaiana</i>		
国内の分布	本州、九州	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	山地の林内	
選定理由	分布限定、個体数希少	
生存に対する脅威	森林伐採、園芸採取	
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：絶滅危惧IB類
ギボウシラン		
<i>Liparis auriculata</i>		
国内の分布	北海道、本州、四国、九州	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	山地の林内や林縁	
選定理由	分布限定、個体数希少、高採集圧	
生存に対する脅威	園芸採取	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

EX
絶滅

ラン科

フガクスズムシソウ

Liparis fujisanensis

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：絶滅危惧II類

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の樹上に着生
選定理由	分布限定、個体数希少、高採集圧
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物

CR
絶滅危惧IA類

ラン科

セイタカスズムシソウ

Liparis japonica

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の林内や林縁
選定理由	個体数希少、高採集圧
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧IB類

ラン科

スズムシソウ

Liparis makinoana

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の林内、林縁
選定理由	個体数希少、高採集圧
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

ラン科

コフタバラン(フタバラン)

Neottia cordata

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	亜高山帯の針葉樹林内
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

DD
情報不足

EX
絶滅CR
絶滅危惧ⅠA類EN
絶滅危惧ⅠB類VU
絶滅危惧Ⅱ類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：該当なし
ヒメフタバラン		
<i>Neottia japonica</i>		
国内の分布	本州、四国、九州、沖縄	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	丘陵地、山地の林内	
選定理由	分布限定、個体数希少	
生存に対する脅威	園芸採取	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：該当なし
ミヤマフタバラン		
<i>Neottia nipponica</i>		
国内の分布	北海道、本州（中部以北）、四国、九州	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	亜高山帯の林内、林縁	
選定理由	分布限定、個体数希少	
生存に対する脅威	園芸採取	
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類
ヒナチドリ		
<i>Orchis chidori</i>		
国内の分布	本州、四国	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	山地の樹上に着生	
選定理由	分布限定、個体数希少、高採集圧	
生存に対する脅威	森林伐採、園芸採取	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧IB類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類
タカネトンボ		
<i>Platanthera chorisiana</i>		
国内の分布	北海道、本州（中部以北）	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	高山帯の草地、岩石地	
選定理由	分布限定、個体数希少	
生存に対する脅威	踏みつけ	
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	

EX
絶滅

ラン科

ツレサギソウ

Platanthera japonica

国内の分布	北海道、本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	草原や湿った林内
選定理由	分布限定、個体数希少、高採集圧
生存に対する脅威	園芸採取、自然遷移
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧IB類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

CR
絶滅危惧IA類

ヒカゲノカズラ科

ヒメスギラン

Huperzia miyoshiana

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	阿闍羅山、白沢、戸島内、田沢、秋田駒ヶ岳、国見温泉、羽後朝日岳、大神成、栗駒山
生育環境	山地、亜高山帯の林内、林縁
選定理由	個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採、踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧II類
秋田県2002：絶滅危惧種II類
環境省2012：該当なし

EN
絶滅危惧IB類

ヒカゲノカズラ科

スギカズラ

Lycopodium annotinum

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	森吉山、八幡平、曲崎山、太平山、秋田駒ヶ岳、秋ノ宮、栗駒山、鬼首峠
生育環境	亜高山帯、高山帯の林内、林縁
選定理由	個体数希少
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧II類
秋田県2002：絶滅危惧種II類
環境省2012：該当なし

NT
準絶滅危惧

ヒカゲノカズラ科

タカネヒカゲノカズラ

Lycopodium sitchense var. *nikoense*

国内の分布	北海道、本州（中部以北）、九州（屋久島）
県内の分布	森吉山、八幡平、秋田駒ヶ岳、北川舟、鳥海山、栗駒山、神室山
生育環境	亜高山帯、高山帯の林内、林縁
選定理由	個体数希少
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：絶滅危惧II類
秋田県2002：絶滅危惧種II類
環境省2012：該当なし

DD
情報不足

EX
絶滅

CR
絶滅危惧ⅠA類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

コバノイシカグマ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：該当なし
コバノイシカグマ		
<i>Dennstaedtia scabra</i>		
国内の分布	本州、四国、九州	
県内の分布	蓬内台、抱返り溪谷、新沢、象潟、小砂川	
生育環境	丘陵地の林内	
選定理由	分布限定、個体数希少	
生存に対する脅威	森林開発	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

シノブ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類 環境省2012：該当なし
シノブ		
<i>Davallia mariesii</i>		
国内の分布	北海道、本州、四国、九州、沖縄	
県内の分布	十和田湖西部、真名子、根城岱、阿仁合、天上倉山、太平山、国見温泉、抱返り溪谷、北川舟、稲庭	
生育環境	山地の樹上および岩上に着生	
選定理由	個体数希少	
生存に対する脅威	園芸採取	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

ホウライシダ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類 環境省2012：準絶滅危惧
リシリシノブ		
<i>Cryptogramma crispa</i>		
国内の分布	北海道、本州（東北地方）	
県内の分布	八幡平、太平山、秋田駒ヶ岳、抱返り溪谷、羽後朝日岳、大神成、鬼首峠	
生育環境	山地の林内あるいは岩上	
選定理由	個体数希少	
生存に対する脅威	自然遷移	
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物	

オシダ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧種IB類 環境省2012：該当なし
キヨスミヒメワラビ		
<i>Dryopsis maximowicziana</i>		
国内の分布	本州、四国、九州	
県内の分布	早口、桂瀬、羽川、本荘、象潟、小砂川	
生育環境	丘陵地の林内	
選定理由	分布限定、個体数希少	
生存に対する脅威	森林開発	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

EX
絶滅

オシダ科

ミサキカグマ

Dryopteris chinensis

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	白沢、大館、鷹巣西部、阿仁合、田沢、田沢湖、真昼岳、岩野目沢、小砂川、稲庭
生育環境	山地の林内、林縁
選定理由	個体数希少
生存に対する脅威	道路工事、森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

CR

絶滅危惧ⅠA類

オシダ科

オオベニシダ

Dryopteris hondoensis

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	桂瀬、寒風山、羽後和田、本荘、象潟、小砂川
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EN

絶滅危惧ⅠB類

オシダ科

カラクサイノデ

Polystichum microchlamys

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北、鳥取県）
県内の分布	八幡平、秋田駒ヶ岳、羽後朝日岳、鳥海山、栗駒山
生育環境	亜高山帯の林内、草地
選定理由	個体数希少
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

VU

絶滅危惧Ⅱ類

NT

準絶滅危惧

イワテンダ科

ヒロハイヌワラビ

Athyrium wardii var. *wardii*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	二ツ井、寒風山、秋田東部、羽川、象潟、小砂川
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

DD

情報不足

EX
絶滅CR
絶滅危惧ⅠA類EN
絶滅危惧ⅠB類VU
絶滅危惧Ⅱ類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

イワデング科

ハコネシケチシダ

*Cornopteris christenseniana*秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	桂瀬、沖田面、五城目、蓬内台、太平山、岩見三内、田沢湖、岩野目沢、小砂川
生育環境	丘陵地、山地の林内
選定理由	個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

イワデング科

イワヤシダ

*Diplaziopsis cavaleriana*秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	鷹巣西部、鷹巣東部、桂瀬、小又口、八木沢、蓬内台、松原、田沢湖、岩野目沢、稲庭、横堀
生育環境	山地の林内
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

イワデング科

ウサギシダ

Gymnocarpium dryopteris var. *dryopteris*秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	白沢、桂瀬、北浦、阿仁合、抱返り溪谷、稲庭
生育環境	山地の林内、風穴の岩石地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	土地造成、道路工事
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

ウラボシ科

ヒメサジラン

*Loxogramme grammittoides*秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	藤琴、桂瀬、明利又、蓬内台、抱返り溪谷、大神成、椿台
生育環境	山地の岩上に着生
選定理由	個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EX
絶滅

ウラボシ科

イワオモダカ

Pyrrosia hastata

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	真名子、根城岱、藤琴、八木沢、天上倉山、秋田駒ヶ岳、抱返り溪谷
生育環境	山地の樹上に着生
選定理由	個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採、園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧ⅠA類

ウラボシ科

ビロードシダ

Pyrrosia linearifolia

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：準絶滅危惧種
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	真名子、二ツ井、船川、蓬内台、田沢湖、抱返り溪谷、羽後朝日岳、大神成、岩野目沢
生育環境	山地の岩上や樹上に着生
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧ⅠB類

サンショウモ科

サンショウモ

Salvinia natans

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	米内沢、五城目、船越、大久保、土崎、刈和野、大曲、羽後黒沢
生育環境	低地の池沼、水田
選定理由	分布限定、個体数減少
生存に対する脅威	池沼開発・改修、水質汚濁、農薬汚染
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

ヒノキ科

ミヤマビャクシン

Juniperus chinensis var. *sargentii*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	南千島、北海道、本州、四国、九州
県内の分布	船川、上桧木内、秋田駒ヶ岳、国見温泉、羽後朝日岳、大神成
生育環境	山地帯～高山帯の風衝地
選定理由	個体数希少
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

DD
情報不足

EX

絶滅

CR

絶滅危惧ⅠA類

EN

絶滅危惧ⅠB類

VU

絶滅危惧Ⅱ類

NT

準絶滅危惧

DD

情報不足

イラクサ科

オニヤブマオ

*Boehmeria arenicola*秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	中浜、船川、新波、平沢、象潟
生育環境	沿岸部の草地
選定理由	個体数希少
生存に対する脅威	海岸開発・改修
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

イラクサ科

クサコアカソ

*Boehmeria gracilis*秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	明利又、田沢、秋田駒ヶ岳、田沢湖、国見温泉、抱返り溪谷、羽後朝日岳、真湯温泉
生育環境	山地の林縁
選定理由	個体数希少
生存に対する脅威	道路工事
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

ヤドリギ科

ホザキヤドリギ

*Loranthus tanakae*秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	熊沢、羽後玉川、田沢、田沢湖、菅生
生育環境	山地の樹上に着生
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

タデ科

サクラタデ

Persicaria odorata subsp. *conspicua*秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：準絶滅危惧種
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	能代、小又口、大久保、秋田西部、秋田東部、羽川、羽後和田、刈和野東部、本荘、角間川、平沢
生育環境	低地の湿地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	湿地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	記録は多いが上記の生育地のほとんどで確認できない。

EX
絶滅

タデ科

ボントクタデ

Persicaria pubescens

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	下岩川、小又口、羽川、内道川、新波、岩野目沢、大琴
生育環境	丘陵地の林縁、湿地
選定理由	個体数希少
生存に対する脅威	土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧ⅠA類

ナデシコ科

オオバナノミミナグサ

Cerastium fischerianum var. *fischerianum*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（北部）、九州（北部）
県内の分布	大間越、岩館、羽後水沢、大湯、戸賀、船川、小砂川
生育環境	沿岸部の林内、林縁
選定理由	個体数希少、採集圧
生存に対する脅威	土地造成、道路工事
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧ⅠB類

ナデシコ科

ハマハコベ

Honckenya peploides var. *major*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（主に日本海側）
県内の分布	大間越、岩館、戸賀、船川、内道川
生育環境	海岸の礫地
選定理由	個体数希少
生存に対する脅威	海岸開発・改修、踏みつけ
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

アカザ科

ホソバハマアカザ

Atriplex patens

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：—
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	戸賀、寒風山、船川
生育環境	やや湿った海岸砂地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	港湾工事、道路工事
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

DD
情報不足

EX

絶滅

CR

絶滅危惧ⅠA類

EN

絶滅危惧ⅠB類

VU

絶滅危惧Ⅱ類

NT

準絶滅危惧

DD

情報不足

キンポウゲ科

ウゼントリカブト

*Aconitum okuyamae*秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（関東以北）
県内の分布	犬吠森、湯瀬、北浦、船川、羽後朝日岳、稲庭
生育環境	山地のやや湿った林内や林縁
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採、道路工事、園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

キンポウゲ科

サンリンソウ

*Anemone stolonifera*秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	二ツ森、冷水岳、羽後焼山、真名子、玉川温泉、三界山
生育環境	山地の林内や溪流沿い
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採、ダム建設
現在の保護対策	県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物

キンポウゲ科

エンコウソウ

Caltha palustris var. *enkoso*秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：—
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州
県内の分布	羽後水沢、能代、下桧木内、田沢湖、羽川、角館、抱返り溪谷、大神成、六郷、横手
生育環境	池の縁や湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	湿地開発、園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物
特記事項	一部の産地はこれまでリュウキンカと誤認されてきた。

キンポウゲ科

オオバショウマ

*Cimicifuga japonica*秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	毛馬内、犬吠森、湯瀬、田山
生育環境	山地の林内
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EX
絶滅

キンポウゲ科

ミツバノバイカオウレン

Coptis trifoliolata

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（中部以北の日本海側）
県内の分布	森吉山、曲崎山、太平山、羽後朝日岳、小砂川、鳥海山、栗駒山、神室山、鬼首峠
生育環境	高山帯、亜高山帯の草地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	踏みつけ、歩道建設
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧ⅠA類

キンポウゲ科

ミヤマキンポウゲ

Ranunculus acris subsp. *nipponicus*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	森吉山、八幡平、秋田駒ヶ岳、羽後朝日岳、大神成、鳥海山
生育環境	高山帯の草地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	園芸採取、林道建設
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物

EN
絶滅危惧ⅠB類

ドクダミ科

ハンゲショウ

Saururus chinensis

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	能代、戸賀、船越、大久保、秋田東部、刈和野東部、大曲、前郷
生育環境	低地の河川沿いや池沼周辺
選定理由	分布限定、生育条件悪化
生存に対する脅威	河川開発・改修、湿地開発、園芸採取
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

アブラナ科

ミヤマハタザオ

Arabidopsis kamchatica subsp. *kamchatica*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国
県内の分布	毛馬内、湯瀬、田山、稲沢、新沢、象湯、小安温泉、真湯温泉
生育環境	山地の岩場や砂礫地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	土地造成、道路工事
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物

DD
情報不足

アブラナ科

ヤマハタザオ

Arabis hirsuta

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：準絶滅危惧種
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	早口、小坂、毛馬内、鷹巣西部、鷹巣東部、扇田、湯瀬、稲庭
生育環境	山野の日当たりのよい草地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

アブラナ科

エゾワサビ

Cardamine yezoensis

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（北部）
県内の分布	二ツ森、尾太岳、岩館、中浜、羽後焼山、真名子、羽後水沢
生育環境	山地の溪流沿い
選定理由	分布限定、生育条件悪化
生存に対する脅威	森林伐採、ダム建設、道路工事
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

アブラナ科

オオユリワサビ

Eutrema okinosimense

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（主に日本海側）、九州
県内の分布	越山、桂瀬、明利又、湯瀬、羽後玉川、田沢湖、稲沢、抱返り溪谷、湯沢
生育環境	山地の溪流沿い
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採、道路工事
現在の保護対策	
特記事項	本県のは従来オクノユリワサビとされていたが、その後、九州で命名されたオオユリワサビと同じものとされた。

アブラナ科

ハタザオ

Turritis glabra

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	能代、寒風山、五城目、船越、大久保、土崎、本荘
生育環境	沿岸部の砂地
選定理由	分布限定、分布減少
生存に対する脅威	土地造成、道路工事
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EX
絶滅

CR
絶滅危惧ⅠA類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

EX
絶滅

ベンケイソウ科

ツガルミセバヤ

Hylotelephium ussuriense var. *tsugaruense*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類

国内の分布	本州（青森県、秋田県）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の岩場
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	園芸採取、道路工事
現在の保護対策	県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物

CR
絶滅危惧ⅠA類

ベンケイソウ科

ミツバベンケイソウ

Hylotelephium verticillatum var. *verticillatum*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：準絶滅危惧種
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	中浜、羽後焼山、羽後水沢、毛馬内、鷹巣西部、湯瀬、田山、船川、抱返り溪谷
生育環境	岩の露出した林縁、溪流沿いの岩上
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林開発、道路工事
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

ベンケイソウ科

コモチレンゲ

Orostachys malacophylla var. *boehmeri*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類

国内の分布	北海道、本州（北部）
県内の分布	大間越、岩館、中浜、真名子、根城岱、戸賀、船川
生育環境	海岸の岩場
選定理由	分布限定、生育条件悪化
生存に対する脅威	海岸開発・改修
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

ベンケイソウ科

ホソバイワベンケイ

Rhodiola ishidae

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	八幡平、秋田駒ヶ岳、羽後朝日岳、大神成、北川舟、鳥海山、神室山
生育環境	高山帯、亜高山帯の岩場
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

ユキノシタ科

タコノアシ

Penthorum chinense

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：準絶滅危惧

国内の分布	本州、四国、九州、奄美大島
県内の分布	秋田西部、羽川、羽後和田、新波、刈和野、刈和野東部、本荘、金沢本町
生育環境	川岸の湿地、河川中州
選定理由	分布限定、生育条件悪化
生存に対する脅威	河川改修
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

バラ科

ミヤマダイコンソウ

Geum calthifolium var. *nipponicum*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（近畿以北）、四国
県内の分布	八幡平、松川温泉、上桧木内、秋田駒ヶ岳、羽後朝日岳、大神成、北川舟、神室山
生育環境	高山帯の岩石地
選定理由	分布限定、高採集圧
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

バラ科

コゴメウツギ

Neillia incisa var. *incisa*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	花輪、湯瀬、船川、田沢湖、羽川、小砂川
生育環境	低地の林縁
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

バラ科

ミヤマキンバイ

Potentilla matsumurae var. *matsumurae*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	八幡平、上桧木内、秋田駒ヶ岳、国見温泉、羽後朝日岳、北川舟、真昼岳、鳥海山
生育環境	高山帯、亜高山帯の草原や岩石地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物

EX
絶滅

CR
絶滅危惧ⅠA類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

EX
絶滅

バラ科

ヒロハノカワラサイコ

Potentilla niponica

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類

国内の分布	北海道、本州、九州
県内の分布	毛馬内、鷹巣東部、湯瀬、大湯、寒風山、船川、羽後玉川、平沢
生育環境	低地～丘陵地の草地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	土地造成、道路工事
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧ⅠA類

バラ科

ミヤマウラジロイチゴ

Rubus idaeus subsp. *nipponicus* var. *hondoensis*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種ⅡB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	十和田湖西部、湯瀬、阿仁合、八幡平、真昼岳、小砂川
生育環境	山地の林縁
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採、道路工事
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧ⅠB類

バラ科

サナギイチゴ

Rubus pungens var. *oldhamii*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	扇田、花輪、湯瀬、田山、十文字、菅生
生育環境	低地、丘陵地の林縁
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	土地造成、道路工事、森林伐採
現在の保護対策	

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

マメ科

イワオウギ

Hedysarum vicioides subsp. *japonicum*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	国見温泉、羽後朝日岳、大神成、北川舟、真昼岳、小安温泉、真湯温泉
生育環境	高山帯の岩場や砂礫地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	園芸採取、林道工事
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物

DD
情報不足

EX
絶滅

CR
絶滅危惧ⅠA類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

マメ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類 環境省2012：該当なし
エゾノレンリソウ		
<i>Lathyrus palustris</i> var. <i>pilosus</i>		
国内の分布	北海道、本州、九州（対馬）	
県内の分布	岩館、羽後水沢、能代、戸賀、船越、土崎、内道川、平沢、象潟、小砂川	
生育環境	沿岸部の草地	
選定理由	分布限定、生育条件悪化	
生存に対する脅威	海岸開発・改修、草地開発	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

マメ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類 環境省2012：該当なし
ヒロハクサフジ		
<i>Vicia japonica</i> var. <i>japonica</i>		
国内の分布	南千島、北海道、本州（近畿以東）	
県内の分布	大間越、岩館、早口、能代、鷹巣西部、森岳、大潟、北浦	
生育環境	低地の草地	
選定理由	分布限定	
生存に対する脅威	海岸開発・改修、河川開発・改修	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

マメ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類 環境省2012：該当なし
ナンテンハギ		
<i>Vicia unijuga</i> var. <i>unijuga</i>		
国内の分布	本州、四国、九州	
県内の分布	岩館、戸賀、船川、松川温泉、大琴	
生育環境	低地や沿岸部の草地	
選定理由	分布限定、個体数希少	
生存に対する脅威	海岸の草地開発	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

フウロソウ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類 環境省2012：該当なし
ハマフウロ（オガフウロを含む）		
<i>Geranium yesoense</i> var. <i>pseudopalustre</i>		
国内の分布	北海道、本州（北部）	
県内の分布	岩館、戸賀、船川	
生育環境	海岸の草地	
選定理由	分布限定	
生存に対する脅威	海岸開発、道路整備	
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	

EX
絶滅

トウダイグサ科

ヤマアイ

Mercurialis leiocarpa

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	大間越、岩館、中浜、象潟、小砂川
生育環境	沿岸部のやや湿った林内や林縁
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	海岸開発・改修、土地造成、森林伐採
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧ⅠA類

トウダイグサ科

シラキ

Neoshirakia japonica

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	岩谷、新沢、岩野目沢、平沢、象潟、小砂川
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採、土地造成、道路工事
現在の保護対策	

EN
絶滅危惧ⅠB類

グミ科

オオバグミ (マルバグミ)

Elaeagnus macrophylla

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	岩館、羽後水沢、平沢、象潟、小砂川
生育環境	海岸の林縁
選定理由	分布局限、個体数希少
生存に対する脅威	海岸開発・改修
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧Ⅱ類

スミレ科

キバナノコマノツメ

Viola biflora var. *biflora*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）、四国、九州（屋久島）
県内の分布	森吉山、八幡平、秋田駒ヶ岳、羽後朝日岳、大神成、鳥海山
生育環境	高山帯の湿った草地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

EX

絶滅

CR

絶滅危惧ⅠA類

EN

絶滅危惧ⅠB類

VU

絶滅危惧Ⅱ類

NT

準絶滅危惧

DD

情報不足

スミレ科

ウスバスミレ

*Viola blandiformis*秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	明利又、森吉山、八幡平、曲崎山、秋田駒ヶ岳、国見温泉、鳥海山
生育環境	亜高山帯の林内
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	道路工事、園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

アカバナ科

ケゴンアカバナ

Epilobium amurense subsp. *amurense*秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国
県内の分布	冷水岳、羽後焼山、阿仁前田、サンケ森、田沢、国見温泉、焼石岳、真湯温泉
生育環境	山地の溪流沿い
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

スギナモ科

スギナモ

*Hippuris vulgaris*秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	角館、刈和野、刈和野東部、羽後長野、大曲、六郷、真昼岳
生育環境	湧水や湧水が流入する池や水路
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	池沼開発・改修、水質汚濁
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物
特記事項	横手盆地北部に限定された分布になっている。

セリ科

ハマゼリ

*Cnidium japonicum*秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	岩館、大瀧、戸賀、船川、大久保、平沢、象瀧、小砂川
生育環境	海岸の砂地
選定理由	分布限定、分布減少
生存に対する脅威	海岸開発・改修
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EX
絶滅

セリ科

カラフトニンジン

Conioselinum chinense

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（北部）
県内の分布	大間越、岩館、能代、下岩川、戸賀、北浦、寒風山、船川
生育環境	海岸の草地、岩石地
選定理由	個体数希少
生存に対する脅威	海岸開発・改修、土地造成
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧ⅠA類

セリ科

オヤブジラミ

Torilis scabra

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	戸賀、船川、大神成、本荘
生育環境	沿岸部～山地の草地や林縁
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	道路工事、土地造成、草地開発
現在の保護対策	

EN
絶滅危惧ⅠB類

イワウメ科

イワウメ

Diapensia lapponica subsp. *obovata*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	八幡平、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山
生育環境	高山帯の岩石地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

イチヤクソウ科

ベニバナイチヤクソウ

Pyrola asarifolia subsp. *incarnata*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の林内や風穴周辺
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採、土地造成、園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物、県指定野生動植物保護地区指定植物

DD
情報不足

EX

絶滅

CR

絶滅危惧ⅠA類

EN

絶滅危惧ⅠB類

VU

絶滅危惧Ⅱ類

NT

準絶滅危惧

DD

情報不足

ツツジ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類 環境省2012：該当なし
ミネズオウ		
<i>Loiseleuria procumbens</i>		
国内の分布	北海道、本州（中部以北）	
県内の分布	森吉山、八幡平、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山	
生育環境	高山帯の岩石地	
選定理由	分布限定	
生存に対する脅威	踏みつけ、園芸採取	
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	

ツツジ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類 環境省2012：該当なし
イソツツジ		
<i>Rhododendron groenlandicum</i> subsp. <i>diversipilosum</i> var. <i>nipponicum</i>		
国内の分布	北海道、本州（東北地方）	
県内の分布	真名子、玉川温泉、八幡平、秋田駒ヶ岳、国見温泉	
生育環境	山地、高山帯の草地や硫気荒原	
選定理由	分布限定	
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ、土地造成、火山噴火	
現在の保護対策	国立公園指定植物、県立自然公園指定植物	

サクラソウ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類 環境省2012：該当なし
ウミミドリ		
<i>Lysimachia maritima</i> var. <i>obtusifolia</i>		
国内の分布	北海道、本州（北部）	
県内の分布	大間越、岩館、戸賀、船川、象潟	
生育環境	塩性湿地	
選定理由	分布限定	
生存に対する脅威	海岸整備工事	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

サクラソウ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類 環境省2012：該当なし
ユキワリコザクラ		
<i>Primula farinosa</i> subsp. <i>modesta</i> var. <i>fauriei</i>		
国内の分布	北海道、本州（北部）	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	山地や高山帯の岩場	
選定理由	分布限定、高採集圧	
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ	
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	

EX
絶滅

リンドウ科

ミヤマリンドウ

Gentiana nipponica var. *nipponica*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	松川温泉、秋田駒ヶ岳、国見温泉、羽後朝日岳、鳥海山
生育環境	高山帯の湿地や草地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	踏みつけ、園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧ⅠA類

リンドウ科

タテヤマリンドウ

Gentiana thunbergii var. *minor*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	玉川温泉、八幡平、羽後玉川、秋田駒ヶ岳、小安温泉、桂沢、栗駒山
生育環境	高山帯、亜高山帯の湿原
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	踏みつけ、園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧ⅠB類

キョウチクトウ科

チョウジソウ

Amsonia elliptica

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：準絶滅危惧

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	低地の林内、湿地
選定理由	個体数希少、高採集圧
生存に対する脅威	河川開発・改修、園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

ムラサキ科

ハマベンケイソウ

Mertensia maritima subsp. *asiatica*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州
県内の分布	大間越、岩館、戸賀、船川
生育環境	海岸の砂礫地
選定理由	分布限定、生育条件悪化
生存に対する脅威	海岸開発・改修
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

DD
情報不足

ムラサキ科

コシジタビラコ

Trigonotis brevipes var. *coronata*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（近畿以東の日本海側）
県内の分布	新沢、大曲、川辺、矢島、鳥海山、中直根、上笹子、稲庭
生育環境	山地の林内、溪流沿い
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

シソ科

メハジキ

Leonurus japonicus

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	丘陵地や山地の林縁
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	道路工事、薬用採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

シソ科

ミヤマタムラソウ

Salvia lutescens var. *crenata*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	鷹巣東部、桂瀬、阿仁前田、角館、抱返り溪谷
生育環境	山地の林内
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採、園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	北限と見られる。

シソ科

イブキジャコウソウ

Thymus quinquecostatus var. *ibukiensis*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地から亜高山帯の日当たりのよい岩石地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	園芸採取、道路工事、踏みつけ
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物

EX
絶滅

CR
絶滅危惧ⅠA類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

EX
絶滅

ゴマノハグサ科

ミヤマママコナ

Melampyrum laxum var. *nikkoense*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	尾太岳、大館、鷹巣西部、鷹巣東部、米内沢、桂瀬、太平山、岩見三内
生育環境	山地の林縁
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧ⅠA類

ゴマノハグサ科

ヨツバシオガマ

Pedicularis chamissonis subsp. *japonica* var. *japonica*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	森吉山、八幡平、松川温泉、秋田駒ヶ岳、鳥海山
生育環境	高山帯、亜高山帯の草地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧ⅠB類

ゴマノハグサ科

シオガマギク

Pedicularis resupinata subsp. *oppositifolia* var. *oppositifolia*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：準絶滅危惧種
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	越山、犬吠森、鷹巣東部、扇田、桂瀬、湯瀬、田山、田沢、羽後朝日岳、羽後長野、北川舟、左草、羽後田代、菅生、小安温泉、真湯温泉、秋ノ宮、鬼首峠
生育環境	山地の草地
選定理由	個体数希少
生存に対する脅威	土地造成、草地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	近年生育地の減少が見られる。

VU
絶滅危惧Ⅱ類

ゴマノハグサ科

ヒヨクソウ

Veronica laxa

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国
県内の分布	十和田湖西部、中浜、陸中濁川、小坂鉱山、大葛、戸島内、岩見三内、田沢湖、角館、大神成、大曲、左草、西馬音内、横堀
生育環境	丘陵地から山地の河原や草地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

ゴマノハグサ科

エチゴトラノオ

Veronica ovata subsp. *maritima* form. *angustata*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（中部以北の日本海側）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	沿岸部の草地や林縁
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採、園芸採取
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

タヌキモ科

ホザキノミミカキグサ

Utricularia caerulea

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	能代、鷹巣西部、扇田、桂瀬、羽後和田、刈和野、刈和野東部、新沢、大曲
生育環境	低地、丘陵地の湿地
選定理由	分布限定、生育条件悪化
生存に対する脅威	湿地開発、踏みつけ
現在の保護対策	県立自然公園指定植物、県指定野生動植物保護地区指定植物

タヌキモ科

オオタヌキモ

Utricularia macrorhiza

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：—
環境省2012：準絶滅危惧

国内の分布	北海道、本州北部
県内の分布	能代、森岳、大久保、土崎、新波、刈和野、川辺
生育環境	低地の池沼
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	池沼開発、水質汚濁
現在の保護対策	

タヌキモ科

ヒメタヌキモ

Utricularia minor

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類
環境省2012：準絶滅危惧

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	羽後水沢、大館、鷹巣東部、森岳、桂瀬、大久保、羽後和田、角館、前郷
生育環境	低地の浅い沼、湿地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	池沼開発・改修、水質汚濁
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EX
絶滅

CR
絶滅危惧ⅠA類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

EX
絶滅

オオバコ科

トウオオバコ

Plantago japonica

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	大間越、岩館、戸賀、船川、小砂川
生育環境	海岸の塩沼地や砂地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	海岸開発・改修
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧ⅠA類

スイカズラ科

クロミノウグイスカグラ (マルバヨノミを含む)

Lonicera caerulea subsp. *edulis* var. *emphylocalyx*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州 (中部以北)
県内の分布	森吉山、八幡平、上桧木内、国見温泉、羽後朝日岳、鳥海山、神室山
生育環境	高山帯の風衝地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧ⅠB類

スイカズラ科

キバナウツギ

Weigela maximowiczii

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州 (中部以北)
県内の分布	船川、田沢、抱返り溪谷、羽後朝日岳、岩野目沢、大琴
生育環境	山地の林内や岩石地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	県立自然公園指定植物、県指定野生動植物保護地区指定植物

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

レンプクソウ科

レンプクソウ

Adoxa moschatellina var. *moschatellina*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、九州
県内の分布	羽後水沢、鷹巣西部、鷹巣東部、扇田、大葛、沖田面、阿仁前田、戸島内、岩野目沢、中直根
生育環境	山地の林内
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林伐採、河川開発・改修
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

DD
情報不足

キキョウ科

ホタルブクロ

Campanula punctata var. *punctata*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	越山、湯瀬、戸賀、八幡平、船川、大久保、土崎、羽後境、稲沢、新沢、左草、羽後黒沢、横堀、小安温泉
生育環境	山地の林縁、海岸草地
選定理由	分布限定、生育条件悪化
生存に対する脅威	草地開発、道路工事
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

キク科

ウサギギク

Arnica unalaschcensis var. *tschonoskyi*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	秋田駒ヶ岳、国見温泉、鳥海山
生育環境	高山帯の草地や雪田周辺
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	園芸採取、踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

キク科

サワシロギク

Aster rugulosus var. *rugulosus*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	秋田東部、羽後和田、抱返り溪谷、刈和野東部、大曲、羽後黒沢
生育環境	丘陵地の湿地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	湿地開発、園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

キク科

カントウヨメナ

Aster yomena var. *dentatus*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：—
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州
県内の分布	秋田東部、刈和野、刈和野東部、悪戸野、大曲、横手、湯沢、横堀
生育環境	低地の畑地、路傍
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	土地造成、道路工事
現在の保護対策	

EX
絶滅

CR
絶滅危惧ⅠA類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

EX
絶滅

キク科

オケラ

Atractylodes ovata

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	白沢、大館、小坂、毛馬内、鷹巣東部、扇田、十二所
生育環境	山地のやや乾いた林縁
選定理由	分布限定、個体数減少
生存に対する脅威	森林伐採、園芸採取、自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧ⅠA類

キク科

コヤブタバコ

Carpesium cernuum

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：準絶滅危惧種
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	白沢、羽後水沢、能代、森岳、船川、岩谷、本荘、平沢、象潟、小砂川
生育環境	丘陵地の林内
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	森林開発、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧ⅠB類

キク科

ニッコウアザミ

Cirsium oligophyllum var. *nikkoense*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	八幡平、曲崎山、秋田駒ヶ岳、国見温泉、菅生、桂沢
生育環境	山地帯から亜高山帯の湿った草地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	湿地開発、草地開発、踏みつけ
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

キク科

タカサブロウ

Eclipta thermalis

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄、小笠原
県内の分布	大湯、鹿渡、船越、内道川、前郷、浅舞
生育環境	水田や湿地
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	河川開発、海岸開発、土地造成、帰化競合
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

DD
情報不足

EX
絶滅

CR
絶滅危惧ⅠA類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

キク科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類 環境省2012：該当なし
ミヤマコウゾリナ		
<i>Hieracium japonicum</i>		
国内の分布	本州（中部以北）、四国	
県内の分布	八幡平、秋田駒ヶ岳、大神成、鳥海山	
生育環境	高山帯の草地	
選定理由	分布限定	
生存に対する脅威	草地開発、道路工事、踏みつけ	
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	

キク科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類 環境省2012：該当なし
サワギク		
<i>Nemosencio nikoensis</i>		
国内の分布	北海道、本州、四国、九州	
県内の分布	桂瀬、明利又、北浦、船川、太平山、羽後庄内、下桧木内、国見温泉	
生育環境	山地の林内	
選定理由	分布限定、個体数希少	
生存に対する脅威	森林伐採、踏みつけ	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

キク科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類 環境省2012：該当なし
カニコウモリ		
<i>Parasenecio adenostyloides</i>		
国内の分布	本州（近畿以東）、四国	
県内の分布	三界山、丁岳、松ノ木峠、羽後川井、秋ノ宮、神室山、鬼首峠	
生育環境	山地の林内	
選定理由	分布限定、個体数希少	
生存に対する脅威	森林伐採、踏みつけ	
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	

キク科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類 環境省2012：該当なし
ミミコウモリ		
<i>Parasenecio kamtschaticus</i> var. <i>kamtschaticus</i>		
国内の分布	北海道、本州（東北地方）	
県内の分布	田代岳、明利又、湯瀬、太平湖、サンケ森、森吉山、玉川温泉、羽後玉川、上桧木内	
生育環境	山地の林内	
選定理由	分布限定、個体数希少	
生存に対する脅威	森林伐採、道路工事	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

EX
絶滅

キク科

ハチジョウナ

Sonchus brachyotus

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、九州
県内の分布	岩館、鷹巣東部、戸賀、北浦、寒風山、本荘
生育環境	海岸のやや湿った草地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	海岸開発、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧ⅠA類

トチカガミ科

ヤナギスブタ

Blyxa japonica

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	羽後水沢、能代、鷹巣東部、扇田、羽川、羽後和田、刈和野東部、大神成、羽後黒沢、羽後田代
生育環境	ため池や水田そばの湿地
選定理由	分布限定、個体数希少、分布減少
生存に対する脅威	池沼改修、水質汚濁、農薬汚染
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧ⅠB類

ホロムイソウ科

ホロムイソウ

Scheuchzeria palustris

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（近畿以東）
県内の分布	八幡平、曲崎山、松川温泉、新沢、陸中川尻、菅生、小安温泉
生育環境	高層湿原
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	池沼開発、湿地開発、踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物、県指定野生動植物保護地区指定植物

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

ヒルムシロ科

エゾヤナギモ

Potamogeton compressus

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	十和田湖東部、小坂鉦山、能代、森岳、鹿渡、寒風山、五城目、大久保、大曲、平沢
生育環境	低地の池沼、河川、水路
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	水質汚濁、池沼開発、農薬汚染
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

DD
情報不足

ヒルムシロ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
エゾノヒルムシロ		秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類
<i>Potamogeton gramineus</i>		環境省2012：該当なし
国内の分布	北海道、本州（中部以北）	
県内の分布	冷水岳、十和田湖西部、小坂鉱山、森岳、寒風山、玉川温泉、羽後和田、羽後田代、鳥海山、小安温泉	
生育環境	低地～山地の池沼	
選定理由	分布限定、個体数希少	
生存に対する脅威	池沼改修、湿地開発、水質汚濁	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

ヒルムシロ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
リュウノヒゲモ		秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類
<i>Potamogeton pectinatus</i>		環境省2012：準絶滅危惧
国内の分布	北海道、本州、四国、九州	
県内の分布	十和田湖西部、十和田湖東部、小坂鉱山、中滝、大湯、寒風山、五城目、船越、大久保	
生育環境	山地の湖沼、低地の池沼や水路	
選定理由	分布限定	
生存に対する脅威	池沼開発、水質汚濁、農業汚染	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

ヒルムシロ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
ヒロハノエビモ		秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
<i>Potamogeton perfoliatus</i>		環境省2012：該当なし
国内の分布	北海道、本州、四国、九州	
県内の分布	十和田湖西部、十和田湖東部、中滝、能代、鷹巣東部、森岳、下岩川、大湯、寒風山、船越、大久保	
生育環境	低地の池沼や流水中	
選定理由	分布限定	
生存に対する脅威	池沼開発、水質汚濁、水路改修	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

アマモ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
コアマモ		秋田県2002：—
<i>Zostera japonica</i>		環境省2012：該当なし
国内の分布	北海道、本州、四国、九州	
県内の分布	寒風山、船川、船越	
生育環境	沿岸の浅い水底	
選定理由	分布限定、個体数希少	
生存に対する脅威	海岸開発	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

EX
絶滅

CR
絶滅危惧ⅠA類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

EX
絶滅

ユリ科

ギョウジャニンニク

Allium victorialis subsp. *platyphyllum*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（近畿以東）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の林内
選定理由	分布減少、個体数減少
生存に対する脅威	食用採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物、県指定野生動植物保護地区指定植物
特記事項	「行者ニンニク」の名称から山菜として春早く掘りとることが急速に一般化し、海岸部の産地は激減している。

CR
絶滅危惧ⅠA類

ユリ科

キジカクシ

Asparagus schoberioides

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	湯瀬、戸賀、寒風山、船川、抱返り溪谷、小砂川
生育環境	海岸草地や山地の林縁
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	草地開発、園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧ⅠB類

ユリ科

ヤマスカシユリ

Lilium maculatum var. *monticola*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：準絶滅危惧種
環境省2012：準絶滅危惧

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	真名子、阿仁合、国見温泉、抱返り溪谷、大神成、真昼岳、岩野目沢、大琴、三界山、中直根、椿台、丁岳、小安温泉、真湯温泉
生育環境	山地の岩壁
選定理由	個体数希少、高採集圧
生存に対する脅威	園芸採取、道路工事
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

ミズアオイ科

ミズアオイ

Monochoria korsakowii

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種ⅠB類
環境省2012：準絶滅危惧

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	能代、森岳、大瀧、船越、大久保、秋田東部、羽後和田、本荘、角間川
生育環境	低地の河川や池沼
選定理由	分布限定、高採集圧
生存に対する脅威	河川・池沼の開発・改修、農薬汚染
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

DD
情報不足

EX
絶滅CR
絶滅危惧ⅠA類EN
絶滅危惧ⅠB類VU
絶滅危惧Ⅱ類NT
準絶滅危惧DD
情報不足

イグサ科

タチコウガイゼキショウ

*Juncus krameri*秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	藤琴、能代、大潟、船越、田沢湖、羽後長野
生育環境	低地の湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	湿地開発
現在の保護対策	

ホシクサ科

タカユイヌノヒゲ

Eriocaulon miquelianum var. *atrosepalum*秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（秋田県、山形県）
県内の分布	大久保、羽後和田、新沢、川辺、稲庭、小安温泉
生育環境	低地から山地の湿原や水辺
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	湿地開発
現在の保護対策	

イネ科

ミヤマヌカボ

*Agrostis flaccida*秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	南千島、北海道、本州、四国、九州
県内の分布	八幡平、秋田駒ヶ岳、大神成、北川舟、鳥海山、栗駒山
生育環境	高山帯の草地、岩石地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

イネ科

コミヤマヌカボ

*Agrostis mertensii*秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	上桧木内、秋田駒ヶ岳、羽後朝日岳、大神成、北川舟、鳥海山
生育環境	高山帯の草地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

EX
絶滅

イネ科

カラフトジョウツナギ

Glyceria lithuanica

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	玉川温泉、八幡平、羽後玉川、上桧木内、秋田駒ヶ岳、中直根
生育環境	山地帯、亜高山帯の湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	森林伐採、湿地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧ⅠA類

イネ科

ヒエガエリ

Polypogon fugax

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種ⅡB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	大間越、岩館、船川
生育環境	低地の湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	湿地開発、海岸開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧ⅠB類

ミクリ科

エゾミクリ

Sparganium emersum

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種ⅡB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	下岩川、角館、刈和野、羽後長野、六郷、角間川、浅舞、西馬音内、湯沢
生育環境	低地の池沼、川岸
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	池沼開発、水質汚濁、園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧Ⅱ類

ミクリ科

ヤマトミクリ

Sparganium fallax

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種ⅡA類
環境省2012：準絶滅危惧

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	稲沢、角館、抱返り溪谷、羽後長野、横堀
生育環境	池沼、湧水池
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	池沼開発・改修、河川開発、土地造成
現在の保護対策	

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

EX
絶滅

CR
絶滅危惧ⅠA類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

ミクリ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類 環境省2012：準絶滅危惧
タマミクリ		
<i>Sparganium glomeratum</i>		
国内の分布	北海道、本州（中部以北）	
県内の分布	花輪、大瀧、玉川温泉、羽後玉川、上桧木内、田沢湖、真昼岳、川辺、松ノ木峠、小安温泉、真湯温泉	
生育環境	山地の池沼や湿原	
選定理由	分布限定、個体数希少	
生存に対する脅威	池沼開発・改修	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

ミクリ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類 環境省2012：該当なし
ホソバタマミクリ		
<i>Sparganium glomeratum</i> var. <i>angustifolium</i>		
国内の分布	本州（中部以北）	
県内の分布	田代岳、森吉山、八幡平、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山	
生育環境	高山帯の池沼	
選定理由	分布限定	
生存に対する脅威	踏みつけ、自然遷移	
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	

ガマ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：— 環境省2012：該当なし
コガマ		
<i>Typha orientalis</i>		
国内の分布	本州、四国、九州	
県内の分布	松原、秋田西部、象瀧、菅生	
生育環境	低地～山地の湿地	
選定理由	分布限定	
生存に対する脅威	湿地開発、農薬散布、園芸採取	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	
特記事項	容易に雑種が形成されるので集団が変化しやすい。	

カヤツリグサ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧Ⅱ類 環境省2012：該当なし
ヤマタヌキラン		
<i>Carex angustisquama</i>		
国内の分布	本州（東北地方）	
県内の分布	八幡平、秋田駒ヶ岳、秋ノ宮、栗駒山	
生育環境	硫気荒原	
選定理由	分布限定	
生存に対する脅威	踏みつけ、火山噴火	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

EX
絶滅

カヤツリグサ科

ハクサンスゲ

Carex canescens

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	玉川温泉、八幡平、羽後玉川、曲崎山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山
生育環境	高山帯の水湿のある草地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	踏みつけ、湿地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧ⅠA類

カヤツリグサ科

ジョウロウスゲ

Carex capricornis

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類

国内の分布	北海道、本州（関東以北）
県内の分布	森岳、大湯、五城目、船越
生育環境	沿岸部の池沼、水湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	池沼開発・改修
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧ⅠB類

カヤツリグサ科

マスクサ

Carex gibba

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	戸賀、船川、平沢、象潟、小砂川
生育環境	低地の林縁
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

カヤツリグサ科

イトキンスゲ

Carex hakkodensis

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	森吉山、八幡平、松川温泉、秋田駒ヶ岳、羽後朝日岳、鳥海山
生育環境	高山帯の湿った草地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

DD
情報不足

カヤツリグサ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類 環境省2012：該当なし
ムジナスゲ		
<i>Carex lasiocarpa</i> subsp. <i>occultans</i>		
国内の分布	北海道、本州（中部以北）	
県内の分布	能代、北浦、大久保、戸島内、羽川、羽後和田、新沢、大曲、稲庭、菅生、小安温泉	
生育環境	湿地や池沼の縁	
選定理由	分布限定	
生存に対する脅威	湿地開発	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物、県指定野生動植物保護地区指定植物	

カヤツリグサ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類 環境省2012：該当なし
トマリスゲ（ホロムイスケ）		
<i>Carex middendorffii</i>		
国内の分布	北海道、本州（中部以北）	
県内の分布	尾太岳、田代岳、八幡平、鳥海山、栗駒山	
生育環境	亜高山帯の高層湿原	
選定理由	分布限定	
生存に対する脅威	踏みつけ、湿地開発	
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	

カヤツリグサ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類 環境省2012：該当なし
シオクグ		
<i>Carex scabrifolia</i>		
国内の分布	北海道、本州、四国、九州、沖縄	
県内の分布	大瀧、戸賀、北浦、寒風山、船越、平沢、象潟	
生育環境	海岸の塩性湿地	
選定理由	分布限定	
生存に対する脅威	海岸開発・改修、湿地開発	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

カヤツリグサ科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類 環境省2012：該当なし
ヒメハリイ（クロハリイを含む）		
<i>Eleocharis kamtschatica</i>		
国内の分布	北海道、本州、九州	
県内の分布	能代、森岳、大瀧、戸賀、船越、秋田西部、刈和野東部	
生育環境	近海地の湿地	
選定理由	分布限定	
生存に対する脅威	湿地開発	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	
特記事項	2002年版では、ヒメヌマハリイ（クロハリイを含む）として掲載されている。	

EX
絶滅

CR
絶滅危惧ⅠA類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

EX
絶滅

カヤツリグサ科

コアゼテンツキ

Fimbristylis aestivalis

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州
県内の分布	湯瀬、阿仁前田、岩野目沢、角間川、金沢本町、西馬音内、湯沢
生育環境	低地の湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	池沼開発・改修、湿地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧ⅠA類

カヤツリグサ科

テンツキ

Fimbristylis dichotoma subsp. *dichotoma* var. *tentsuki*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種ⅡB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	船越、刈和野、刈和野東部、大曲、浅舞、横手、菅生
生育環境	低地の湿地、水田のあぜ
選定理由	分布限定、個体数希少
生存に対する脅威	湿地開発
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧ⅠB類

カヤツリグサ科

コイヌノハナヒゲ

Rhynchospora fujiana

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	米内沢、羽後和田、刈和野東部、羽後長野、大曲、羽後黒沢、西馬音内
生育環境	低地、丘陵地の湿地
選定理由	分布限定
生存に対する脅威	湿地開発、土地造成
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

ラン科

コアニチドリ

Amitostigma kinoshitae

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類

国内の分布	南千島、北海道、本州（中部以北）
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の湿った岩場
選定理由	高採集圧
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物
特記事項	和名は「小阿仁千鳥」で秋田県小阿仁での発見に関わる名称である。

DD
情報不足

EX
絶滅

CR
絶滅危惧ⅠA類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類 環境省2012：該当なし
イチヨウラン		
<i>Dactylostalis ringens</i>		
国内の分布	南千島、北海道、本州、四国、九州	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	山地の林内	
選定理由	個体数希少、高採集圧	
生存に対する脅威	森林伐採、園芸採取	
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物	

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類 環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類
ミズトンボ		
<i>Habenaria sagittifera</i>		
国内の分布	北海道、本州、四国、九州	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	丘陵地の湿原	
選定理由	個体数希少、高採集圧	
生存に対する脅威	園芸採取、湿原開発	
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類 環境省2012：該当なし
ジガバチソウ		
<i>Liparis krameri</i> var. <i>krameri</i>		
国内の分布	北海道、本州、四国、九州	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	山地の林内	
選定理由	個体数希少、高採集圧	
生存に対する脅威	園芸採取	
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物、国指定野生動植物保護地区指定植物	

ラン科		秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類 秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類 環境省2012：該当なし
ミズチドリ		
<i>Platanthera hologlottis</i>		
国内の分布	北海道、本州、四国、九州	
県内の分布	保護上の理由により非公開	
生育環境	山間の湿地	
選定理由	個体数希少、高採集圧	
生存に対する脅威	園芸採取、湿地開発	
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	

EX
絶滅

ラン科

ハシナガヤマサギソウ

Platanthera mandarinorum subsp. *mandarinorum* var. *mandarinorum*

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の草地
選定理由	個体数希少、高採集圧
生存に対する脅威	森林伐採、園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧ⅠA類

ラン科

ヤマトキシソウ

Pogonia minor

秋田県2014：絶滅危惧Ⅱ類
秋田県2002：絶滅危惧種Ⅱ類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	保護上の理由により非公開
生育環境	山地の草地
選定理由	分布限定、高採集圧
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

EN
絶滅危惧ⅠB類

ハナヤスリ科

アカハナワラビ

Botrychium nipponicum var. *nipponicum*

秋田県2014：情報不足
秋田県2002：情報不足種
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	抱返り溪谷
生育環境	山地の林内
選定理由	分布限定と見られるが評価のための情報が不足している。
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

イワテンダ科

イワウサギシダ

Gymnocarpium jessoense

秋田県2014：情報不足
秋田県2002：情報不足種
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（近畿以東）、四国
県内の分布	白沢
生育環境	風穴周辺
選定理由	分布局限と見られるが評価のための分布情報が不足している。
生存に対する脅威	踏みつけ、管理放棄
現在の保護対策	県立自然公園指定植物
特記事項	1956年の標本が国立科学博物館に収蔵されている。

DD
情報不足

ヤナギ科

オオタチヤナギ

Salix pierotii

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	内道川、平沢、川辺、象潟
生育環境	低地の水辺
選定理由	分布局限と見られるが評価のための情報が不足している。
生存に対する脅威	河川開発・改修
現在の保護対策	

秋田県2014：情報不足
秋田県2002：情報不足種
環境省2012：該当なし

EX
絶滅

キンポウゲ科

ワガトリカブト

Aconitum okuyamae var. *wagaense*

国内の分布	本州（北部）
県内の分布	羽後朝日岳
生育環境	高山の草地
選定理由	分布局限と見られるが評価のための情報が不足している。
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	
特記事項	基準産地は奥羽山脈の朝日岳である。

秋田県2014：情報不足
秋田県2002：—
環境省2012：絶滅危惧II類

CR
絶滅危惧I A類

キンポウゲ科

ハイキンポウゲ

Ranunculus repens

国内の分布	北海道、本州（東北、関東）
県内の分布	碓ヶ関、十和田湖西部、中滝
生育環境	山地の林内
選定理由	分布限定と見られるが評価のための情報が不足している。
生存に対する脅威	森林伐採、道路工事
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：情報不足
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

EN
絶滅危惧I B類

VU
絶滅危惧II類

オトギリソウ科

オクヤマオトギリ

Hypericum gracillimum

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山
生育環境	山地の草地
選定理由	分布限定と見られるが評価のための情報が不足している。
生存に対する脅威	踏みつけ
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：情報不足
秋田県2002：情報不足種
環境省2012：該当なし

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

EX
絶滅

アブラナ科

イワテハタザオ

Arabis serrata var. *japonica* form. *fauriei*

秋田県2014：情報不足
秋田県2002：情報不足種
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（秋田県、岩手県）
県内の分布	秋田駒ヶ岳
生育環境	高山帯の岩礫地
選定理由	分布局限と見られるが評価のための情報が不足している。
生存に対する脅威	自然遷移
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

CR
絶滅危惧ⅠA類

アブラナ科

ミチバタガラシ

Rorippa dubia

秋田県2014：情報不足
秋田県2002：情報不足種
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	羽川
生育環境	低地の路傍
選定理由	分布限定と見られるが由来を含め判断のための情報が不足している。
生存に対する脅威	道路工事、踏みつけ
現在の保護対策	

EN
絶滅危惧ⅠB類

バラ科

エゾノコリンゴ

Malus baccata var. *mandshurica*

秋田県2014：情報不足
秋田県2002：絶滅危惧種IB類
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北）
県内の分布	鷹巣東部、五城目、玉川温泉、田沢湖
生育環境	山地の林内
選定理由	分布限定と見られるが評価のための情報が不足している。
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	

VU
絶滅危惧Ⅱ類

クロウメモドキ科

クロツバラ

Rhamnus davurica var. *nipponica*

秋田県2014：情報不足
秋田県2002：情報不足種
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	白沢、小坂、毛馬内、湯瀬
生育環境	丘陵地の林縁
選定理由	分布限定と見られるが評価のための情報が不足している。
生存に対する脅威	森林伐採、道路工事
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

モクセイ科

オクノハマイボタ

Ligustrum tschonoskii var. *yuhkianum*

秋田県2014：情報不足
 秋田県2002：情報不足種
 環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北の日本海側）
県内の分布	秋田西部、小砂川
生育環境	海岸部の林内、林縁
選定理由	分布限定と見られるが評価のための情報が不足している。
生存に対する脅威	森林伐採、土地造成
現在の保護対策	

ガガイモ科

コバノカモメヅル

Vincetoxicum sublaceolatum var. *sublaceolatum*

秋田県2014：情報不足
 秋田県2002：絶滅種
 環境省2012：該当なし

国内の分布	本州、四国、九州
県内の分布	船越
生育環境	低地の湿地
選定理由	近年再発見の情報があるが評価のための分布資料が不足している。
生存に対する脅威	草地開発、道路工事
現在の保護対策	

ヒルガオ科

マメダオシ

Cuscuta australis

秋田県2014：情報不足
 秋田県2002：情報不足種
 環境省2012：絶滅危惧IA類

国内の分布	北海道、本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	小坂、船川、太平山、羽後長野、羽後田代、横堀
生育環境	日当たりのよい草地
選定理由	分布限定と見られるが評価のための情報が不足している。
生存に対する脅威	土地造成、帰化競合
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

スイカズラ科

ヤマウグイスカグラ

Lonicera gracilipes var. *gracilipes*

秋田県2014：情報不足
 秋田県2002：絶滅危惧種IA類
 環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	本荘
生育環境	丘陵地の林縁
選定理由	分布局限と見られるが由来を含め判断のための情報が不足している。
生存に対する脅威	土地造成、道路工事
現在の保護対策	

EX

絶滅

CR

絶滅危惧IA類

EN

絶滅危惧IB類

VU

絶滅危惧II類

NT

準絶滅危惧

DD

情報不足

EX
絶滅

スイカズラ科

ウコンウツギ

Macrodiervilla middendorffiana

国内の分布	北海道、本州（北部）
県内の分布	八幡平
生育環境	亜高山帯の林縁
選定理由	分布局限と見られるが評価のための情報が不足している。
生存に対する脅威	森林伐採
現在の保護対策	国立公園指定植物、国定公園指定植物、県立自然公園指定植物

秋田県2014：情報不足
秋田県2002：絶滅危惧種IA類
環境省2012：該当なし

CR
絶滅危惧IA類

キキョウ科

ヤマホタルブクロ

Campanula punctata var. *hondoensis*

国内の分布	本州（東北南部～近畿東部）
県内の分布	上桧木内、秋田駒ヶ岳、小安温泉
生育環境	山地の林縁
選定理由	分布局限とされているが評価のための情報が不足している。
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	国定公園指定植物

秋田県2014：情報不足
秋田県2002：情報不足種
環境省2012：該当なし

EN
絶滅危惧IB類

VU
絶滅危惧II類

キク科

アシノクラアザミ

Cirsium ashinokuraense

国内の分布	本州（秋田県）
県内の分布	船川
生育環境	急斜面のブナ林内
選定理由	分布局限と見られるが県内での調査が十分でなく情報が不足している。
生存に対する脅威	土地造成、道路工事
現在の保護対策	
特記事項	基準産地は男鹿半島である。

秋田県2014：情報不足
秋田県2002：—
環境省2012：絶滅危惧IB類

NT
準絶滅危惧

キク科

リョウウアザミ

Cirsium domonii

国内の分布	本州（秋田県、山形県）
県内の分布	平沢、小砂川
生育環境	沿岸部の林縁、草地
選定理由	分布局限と見られるが県内での調査が十分でなく情報が不足している。
生存に対する脅威	土地造成、道路工事
現在の保護対策	

秋田県2014：情報不足
秋田県2002：—
環境省2012：該当なし

DD
情報不足

EX

絶滅

CR

絶滅危惧ⅠA類

EN

絶滅危惧ⅠB類

VU

絶滅危惧Ⅱ類

NT

準絶滅危惧

DD

情報不足

キク科		秋田県2014：情報不足 秋田県2002：— 環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類
オガアザミ		
<i>Cirsium horiiianum</i>		
国内の分布	本州（秋田県）	
県内の分布	船川	
生育環境	山地の林内・林縁	
選定理由	分布局限と見られるが県内での調査が十分でなく情報が不足している。	
生存に対する脅威	土地造成、道路工事	
現在の保護対策		
特記事項	基準産地は男鹿半島である。	

キク科		秋田県2014：情報不足 秋田県2002：— 環境省2012：該当なし
トガアザミ		
<i>Cirsium togaense</i>		
国内の分布	本州（秋田県）	
県内の分布	北浦、船川	
生育環境	沿岸部山地の高茎草地・林縁	
選定理由	分布局限と見られるが県内での調査が十分でなく情報が不足している。	
生存に対する脅威	土地造成、道路工事	
現在の保護対策		
特記事項	基準産地は男鹿半島である。	

キク科		秋田県2014：情報不足 秋田県2002：情報不足種 環境省2012：絶滅危惧ⅡB類
アキノハハコグサ		
<i>Gnaphalium hypoleucum</i>		
国内の分布	本州、四国、九州	
県内の分布	大瀧、大久保、蓬内台、土崎、羽後和田	
生育環境	低地の路傍	
選定理由	分布限定と見られるが由来を含め判断のための情報が不足している。	
生存に対する脅威	草地開発、道路工事、土地造成	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	

キク科		秋田県2014：情報不足 秋田県2002：— 環境省2012：該当なし
ツガルコウモリ		
<i>Parasenecio hosoianus</i>		
国内の分布	本州（北部）	
県内の分布	岩館、二ツ井	
生育環境	山地の林内	
選定理由	分布局限と見られるが県内での調査が十分でなく情報が不足している。	
生存に対する脅威	森林伐採、道路工事	
現在の保護対策		

EX
絶滅

キク科

オガコウモリ

Parasenecio ogamontanus

国内の分布	本州（秋田県）
県内の分布	船川
生育環境	山地の林内
選定理由	分布局限と見られるが県内での調査が十分でなく情報が不足している。
生存に対する脅威	森林伐採、道路工事
現在の保護対策	
特記事項	基準産地は男鹿半島である。

秋田県2014：情報不足
秋田県2002：—
環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類

CR
絶滅危惧ⅠA類

ユリ科

ヤブラン

Liriope muscari

国内の分布	本州、四国、九州、沖縄
県内の分布	本荘、象潟
生育環境	沿岸部の照葉樹林内
選定理由	分布限定と見られるが由来を含め判断のための情報が不足している。
生存に対する脅威	園芸採取
現在の保護対策	

秋田県2014：情報不足
秋田県2002：情報不足種
環境省2012：該当なし

EN
絶滅危惧ⅠB類

イグサ科

ヒロハノコウガイゼキショウ

Juncus diastrophanthus var. *diastrophanthus*

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	陸中濁川、船越、羽後玉川、曲崎山、羽後黒沢、小砂川、栗駒山
生育環境	低地の湿地
選定理由	分布限定と見られるが評価のための情報が不足している。
生存に対する脅威	湿地開発
現在の保護対策	

秋田県2014：情報不足
秋田県2002：情報不足種
環境省2012：該当なし

NT
準絶滅危惧

イグサ科

オカスズメノヒエ

Luzula pallidula

国内の分布	北海道、本州、四国、九州
県内の分布	羽後玉川
生育環境	山地の草地
選定理由	分布局限とされているが評価のための情報が不足している。
生存に対する脅威	踏みつけ、自然遷移
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

秋田県2014：情報不足
秋田県2002：絶滅危惧種ⅠA類
環境省2012：該当なし

DD
情報不足

EX
絶滅

CR
絶滅危惧ⅠA類

EN
絶滅危惧ⅠB類

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

ホシクサ科		秋田県2014：情報不足
カラフトホシクサ		秋田県2002：—
<i>Eriocaulon sachalinense</i>		環境省2012：絶滅危惧Ⅱ類
国内の分布	北海道、本州（北部）	
県内の分布	八幡平	
生育環境	亜高山帯の湿原	
選定理由	分布局限と見られるが詳しい分布情報が無く評価が困難である。	
生存に対する脅威	湿原開発、踏みつけ、自然遷移	
現在の保護対策		
特記事項	秋田県八幡平産の標本が秋田県立博物館に収蔵されている。	

ホシクサ科		秋田県2014：情報不足
コケヌマイヌノヒゲ		秋田県2002：情報不足種
<i>Eriocaulon satakeanum</i>		環境省2012：該当なし
国内の分布	本州（秋田県）	
県内の分布	小安温泉	
生育環境	山地の湿原	
選定理由	分布局限と見られるが分類学上諸説があり評価が困難である。	
生存に対する脅威	湿地開発、自然遷移	
現在の保護対策	国定公園指定植物、県立自然公園指定植物	
特記事項	基準産地は旧皆瀬村苔沼である。	

ホシクサ科		秋田県2014：情報不足
ガリメギイヌノヒゲ		秋田県2002：情報不足種
<i>Eriocaulon tutidae</i>		環境省2012：該当なし
国内の分布	本州（秋田県）	
県内の分布	羽後田代	
生育環境	山地の湿原	
選定理由	分布局限と見られるが分類学上諸説があり評価が困難である。	
生存に対する脅威	湿地開発、自然遷移	
現在の保護対策	県立自然公園指定植物	
特記事項	基準産地は羽後町刈女木湿原である。	

イネ科		秋田県2014：情報不足
スズタケ		秋田県2002：情報不足種
<i>Sasa borealis</i> var. <i>borealis</i>		環境省2012：該当なし
国内の分布	北海道、本州（太平洋側）、四国、九州	
県内の分布	小坂	
生育環境	山地の林内、林縁	
選定理由	地理的孤立とされているが由来を含め判断のための情報が不足している。	
生存に対する脅威	土地造成	
現在の保護対策		

EX
絶滅

イネ科

センダイザサ (オオクマザサ)

Sasa chartacea var. *chartacea*

秋田県2014：情報不足
秋田県2002：情報不足種
環境省2012：該当なし

国内の分布	北海道、本州（中部以北の太平洋側）
県内の分布	本荘
生育環境	丘陵地の林内、林縁
選定理由	地理的孤立とされているが由来を含め判断のための情報が不足している。
生存に対する脅威	土地造成
現在の保護対策	

CR
絶滅危惧ⅠA類

カヤツリグサ科

アイズスゲ

Carex hondoensis

秋田県2014：情報不足
秋田県2002：情報不足種
環境省2012：該当なし

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	小安温泉
生育環境	山地の林縁
選定理由	地理的孤立とされているが由来を含め判断のための情報が不足している。
生存に対する脅威	森林伐採、道路工事
現在の保護対策	

EN
絶滅危惧ⅠB類

ラン科

クモイジガバチ

Liparis truncata

秋田県2014：情報不足
秋田県2002：情報不足種
環境省2012：絶滅危惧IA類

国内の分布	本州（中部以北）
県内の分布	根城岱
生育環境	山地の樹上に着生
選定理由	分布局限とされているが評価のための情報が不足している。
生存に対する脅威	森林伐採、園芸採取
現在の保護対策	県立自然公園指定植物

VU
絶滅危惧Ⅱ類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

準絶滅危惧 (NT)

科名	和名	学名	秋田県2002	環境省2012
ヒカゲノカズラ	ヤチスギラン	<i>Lycopodiella inundata</i>	準絶滅危惧種	該当なし
イワヒバ	エゾノヒメクラマゴケ	<i>Selaginella helvetica</i>	準絶滅危惧種	該当なし
イワヒバ	ヒモカズラ	<i>Selaginella shakotanensis</i>	準絶滅危惧種	該当なし
イワヒバ	イワヒバ	<i>Selaginella tamariscina</i>	絶滅危惧種II類	該当なし
ミズニラ	ミズニラ	<i>Isoetes japonica</i>	準絶滅危惧種	準絶滅危惧
チャセンシダ	クモノスシダ	<i>Asplenium ruprechtii</i>	準絶滅危惧種	該当なし
オシダ	オオクジャクシダ	<i>Dryopteris dickinsii</i>	準絶滅危惧種	該当なし
オシダ	トウゴクシダ	<i>Dryopteris nipponensis</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ヒメシダ	ニッコウシダ	<i>Thelypteris nipponica</i> var. <i>nipponica</i>	絶滅危惧種II類	該当なし
イワデンダ	ホソバイヌワラビ	<i>Athyrium iseanum</i> var. <i>iseanum</i>	準絶滅危惧種	該当なし
イワデンダ	ウスゲミヤマシケシダ	<i>Deparia mucilagina</i>	情報不足種	該当なし
イワデンダ	フモトシケシダ	<i>Deparia pseudoconilii</i> var. <i>pseudoconilii</i>	絶滅危惧種II類	該当なし
イワデンダ	ミヤマシダ	<i>Diplazium sibiricum</i> var. <i>glabrum</i>	準絶滅危惧種	該当なし
イワデンダ	フクロシダ	<i>Woodsia manchuriensis</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ウラボシ	ミツデウラボシ	<i>Selliguea hastata</i> var. <i>hastata</i>	準絶滅危惧種	該当なし
マツ	コメツガ	<i>Tsuga diversifolia</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ヒノキ	ミヤマネズ	<i>Juniperus communis</i> var. <i>nipponica</i>	準絶滅危惧種	該当なし
タデ	ホソバイヌタデ	<i>Persicaria erectominor</i> var. <i>trigonocarpa</i>	—	準絶滅危惧
タデ	ヤナギヌカボ	<i>Persicaria foliosa</i> var. <i>paludicola</i>	絶滅危惧種II類	絶滅危惧II類
タデ	ヌカボタデ	<i>Persicaria taquetii</i>	絶滅危惧種II類	絶滅危惧II類
ナデシコ	オオミミナグサ	<i>Cerastium fontanum</i> var. <i>vulgare</i>	絶滅危惧種II類	該当なし
ナデシコ	タカネナデシコ	<i>Dianthus superbus</i> var. <i>speciosus</i>	絶滅危惧種II類	該当なし
ナデシコ	センジュガンビ	<i>Silene gracillima</i>	準絶滅危惧種	該当なし
アカザ	カワラアカザ	<i>Chenopodium acuminatum</i> var. <i>vachelii</i>	絶滅危惧種IB類	該当なし
アカザ	オカヒジキ	<i>Salsola komarovii</i>	準絶滅危惧種	該当なし
フサザクラ	フサザクラ	<i>Euptelea polyandra</i>	準絶滅危惧種	該当なし
キンボウゲ	フクジュソウ	<i>Adonis ramosa</i>	絶滅危惧種II類	該当なし
キンボウゲ	エゾノリュウキンカ	<i>Caltha fistulosa</i>	—	該当なし
キンボウゲ	ケキツネノボタン	<i>Ranunculus cantoniensis</i>	絶滅危惧種II類	該当なし
キンボウゲ	タガラシ	<i>Ranunculus sceleratus</i>	絶滅危惧種II類	該当なし
キンボウゲ	イワカラマツ	<i>Thalictrum sekimotoanum</i>	絶滅危惧種II類	絶滅危惧II類
シラネアオイ	シラネアオイ	<i>Glaucidium palmatum</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ウマノスズクサ	ウマノスズクサ	<i>Aristolochia debilis</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ウマノスズクサ	ミチノクサイシン	<i>Asarum fauriei</i> var. <i>fauriei</i>	準絶滅危惧種	絶滅危惧II類
ボタン	ヤマシャクヤク	<i>Paeonia japonica</i>	準絶滅危惧種	準絶滅危惧
ベンケイソウ	メノマンネングサ	<i>Sedum japonicum</i> subsp. <i>japonicum</i> var. <i>japonicum</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ベンケイソウ	ミヤママンネングサ	<i>Sedum japonicum</i> subsp. <i>japonicum</i> var. <i>senanense</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ユキノシタ	コマガタケスグリ	<i>Ribes japonicum</i>	準絶滅危惧種	該当なし

EX

絶滅

CR

絶滅危惧 I A 類

EN

絶滅危惧 I B 類

VU

絶滅危惧 II 類

NT

準絶滅危惧

DD

情報不足

EX

絶滅

CR

絶滅危惧ⅠA類

EN

絶滅危惧ⅠB類

VU

絶滅危惧Ⅱ類

NT

準絶滅危惧

DD

情報不足

科名	和名	学名	秋田県2002	環境省2012
バラ	ミヤマザクラ	<i>Cerasus maximowiczii</i>	準絶滅危惧種	該当なし
バラ	クロバナロウゲ	<i>Comarum palustre</i>	絶滅危惧種Ⅱ類	該当なし
バラ	エゾノシロバナシモツケ	<i>Spiraea miyabei</i>	準絶滅危惧種	該当なし
マメ	カワラケツメイ	<i>Chamaecrista nomame</i>	絶滅危惧種Ⅱ類	該当なし
マメ	フジカンゾウ	<i>Hylodesmum oldhamii</i>	準絶滅危惧種	該当なし
マメ	イヌハギ	<i>Lespedeza tomentosa</i>	準絶滅危惧種	絶滅危惧Ⅱ類
マメ	センダイハギ	<i>Thermopsis lupinoides</i>	準絶滅危惧種	該当なし
マメ	ノハラクサフジ	<i>Vicia amurensis</i>	準絶滅危惧種	該当なし
マメ	カスマグサ	<i>Vicia tetrasperma</i>	情報不足種	該当なし
フウロソウ	ミツバフウロ	<i>Geranium wilfordii</i> var. <i>wilfordii</i>	準絶滅危惧種	該当なし
フウロソウ	ハクサンフウロ	<i>Geranium yesoense</i> var. <i>nipponicum</i>	準絶滅危惧種	該当なし
トウダイグサ	ハクサンタイゲキ	<i>Euphorbia togakusensis</i>	絶滅危惧種Ⅱ類	該当なし
トウダイグサ	アカメガシワ	<i>Mallotus japonicus</i>	絶滅危惧種ⅠB類	該当なし
カエデ	カラコギカエデ	<i>Acer ginnala</i> var. <i>aidzuense</i>	絶滅危惧種Ⅱ類	該当なし
ニシキギ	オオツリバナ	<i>Euonymus planipes</i>	準絶滅危惧種	該当なし
スマレ	ヒナスミレ	<i>Viola tokubuchiana</i> var. <i>takedana</i>	準絶滅危惧種	該当なし
アカバナ	ヤナギラン	<i>Chamerion angustifolium</i> subsp. <i>angustifolium</i>	絶滅危惧種Ⅱ類	該当なし
アカバナ	ミヤマアカバナ	<i>Epilobium hornemannii</i> subsp. <i>hornemannii</i>	絶滅危惧種Ⅱ類	該当なし
セリ	ハクサンサイコ	<i>Bupleurum nipponicum</i> var. <i>nipponicum</i>	準絶滅危惧種	該当なし
セリ	ハマボウフウ	<i>Glehnia littoralis</i>	準絶滅危惧種	該当なし
セリ	ムカゴニンジン	<i>Sium ninsi</i>	絶滅危惧種Ⅱ類	該当なし
イチヤクソウ	シャクジョウソウ	<i>Hypopitys monotropa</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ツツジ	コメバツガザクラ	<i>Arcterica nana</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ツツジ	サラサドウダン	<i>Enkianthus campanulatus</i> var. <i>campanulatus</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ツツジ	シラタマノキ	<i>Gaultheria pyroloides</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ツツジ	アオノツガザクラ	<i>Phyllodoce aleutica</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ツツジ	オオバツツジ	<i>Rhododendron nipponicum</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ツツジ	コメツツジ	<i>Rhododendron tschonoskii</i> subsp. <i>tschonoskii</i> var. <i>tschonoskii</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ツツジ	ツルコケモモ	<i>Vaccinium oxycoccos</i>	絶滅危惧種Ⅱ類	該当なし
サクラソウ	ヒナザクラ	<i>Primula nipponica</i>	準絶滅危惧種	該当なし
サクラソウ	ハイハマボツス	<i>Samolus parviflorus</i>	準絶滅危惧種	準絶滅危惧
ミツガシワ	アサザ	<i>Nymphoides peltata</i>	絶滅危惧種Ⅱ類	準絶滅危惧
アカネ	キクムグラ	<i>Galium kikumugura</i>	準絶滅危惧種	該当なし
アカネ	ハシカグサ	<i>Neanotis hirsuta</i> var. <i>hirsuta</i>	絶滅危惧種Ⅱ類	該当なし
アカネ	フタバムグラ	<i>Oldenlandia brachypoda</i>	準絶滅危惧種	該当なし
アワゴケ	ミズハコベ	<i>Callitriche palustris</i> var. <i>palustris</i>	準絶滅危惧種	該当なし
シソ	トウバナ	<i>Clinopodium gracile</i>	絶滅危惧種ⅠB類	該当なし
シソ	サンインヒキオコシ	<i>Isodon shikokianus</i> var. <i>occidentalis</i>	絶滅危惧種Ⅱ類	該当なし
シソ	タテヤマウツボグサ	<i>Prunella prunelliformis</i>	準絶滅危惧種	該当なし
シソ	デワノタツナミソウ	<i>Scutellaria muramatsui</i>	準絶滅危惧種	該当なし

科名	和名	学名	秋田県2002	環境省2012
ナス	ハシリドコロ	<i>Scopolia japonica</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ゴマノハグサ	キクモ	<i>Limnophila sessiliflora</i>	絶滅危惧種IA類	該当なし
ゴマノハグサ	イワテシオガマ	<i>Pedicularis iwatensis</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ゴマノハグサ	オニシオガマ	<i>Pedicularis nipponica</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ゴマノハグサ	エゾヒナノウスツボ	<i>Scrophularia alata</i>	絶滅危惧種II類	該当なし
ゴマノハグサ	オオヒナノウスツボ	<i>Scrophularia kakudensis</i> var. <i>kakudensis</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ゴマノハグサ	エゾリトラノオ (ヤマルリトラノオを含む)	<i>Veronica ovata</i> subsp. <i>miyabei</i> var. <i>miyabei</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ハマウツボ	オオナンバンギセル	<i>Aeginetia sinensis</i>	準絶滅危惧種	該当なし
タヌキモ	イヌタヌキモ	<i>Utricularia australis</i>	準絶滅危惧種	準絶滅危惧
タヌキモ	ミミカキグサ	<i>Utricularia bifida</i>	準絶滅危惧種	該当なし
タヌキモ	ムラサキミミカキグサ	<i>Utricularia uliginosa</i>	準絶滅危惧種	準絶滅危惧
オオバコ	エゾオオバコ	<i>Plantago camtschatica</i>	絶滅危惧種II類	該当なし
スイカズラ	ソクズ	<i>Sambucus chinensis</i> var. <i>chinensis</i>	準絶滅危惧種	該当なし
オミナエシ	ツルカノコソウ	<i>Valeriana flaccidissima</i>	準絶滅危惧種	該当なし
キク	ヤマノコギリソウ	<i>Achillea alpina</i> subsp. <i>alpina</i> var. <i>discoidea</i>	準絶滅危惧種	該当なし
キク	ヒメヨモギ	<i>Artemisia lancea</i>	絶滅危惧種II類	該当なし
キク	ヒメシオン	<i>Aster fastigiatus</i>	絶滅危惧種II類	該当なし
キク	エゾノタウコギ	<i>Bidens maximowicziana</i>	準絶滅危惧種	該当なし
キク	アズマギク	<i>Erigeron thunbergii</i> subsp. <i>thunbergii</i>	準絶滅危惧種	該当なし
キク	クモニガナ	<i>Ixeridium dentatum</i> subsp. <i>kimuranum</i>	準絶滅危惧種	該当なし
キク	ウスユキソウ	<i>Leontopodium japonicum</i> var. <i>japonicum</i>	準絶滅危惧種	該当なし
キク	メタカラコウ	<i>Ligularia stenocephala</i>	準絶滅危惧種	該当なし
キク	クルマバハグマ	<i>Pertya rigidula</i>	準絶滅危惧種	該当なし
オモダカ	サジオモダカ	<i>Alisma plantago-aquatica</i> var. <i>orientale</i>	準絶滅危惧種	該当なし
オモダカ	マルバオモダカ	<i>Caldesia parnassiifolia</i>	絶滅危惧種II類	絶滅危惧II類
トチカガミ	ミズオオバコ	<i>Ottelia alismoides</i>	準絶滅危惧種	絶滅危惧II類
ヒルムシロ	センニンモ	<i>Potamogeton maackianus</i>	絶滅危惧種II類	該当なし
イバラモ	ホッスモ	<i>Najas graminea</i>	絶滅危惧種IA類	該当なし
ユリ	ノカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> var. <i>disticha</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ユリ	スカシユリ	<i>Lilium maculatum</i> var. <i>maculatum</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ユリ	クルマバツクバネソウ	<i>Paris verticillata</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ユリ	チャボゼキショウ	<i>Tofieldia coccinea</i> var. <i>kondoii</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ユリ	バイケイソウ	<i>Veratrum oxysepalum</i> var. <i>oxysepalum</i>	準絶滅危惧種	該当なし
アヤメ	ヒメシャガ	<i>Iris gracilipes</i>	準絶滅危惧種	準絶滅危惧
イネ	イワノガリヤス	<i>Calamagrostis purpurea</i> subsp. <i>langsдорffii</i>	準絶滅危惧種	該当なし
イネ	タカネノガリヤス	<i>Calamagrostis sachalinensis</i>	準絶滅危惧種	該当なし
イネ	ミヤマドジョウツナギ	<i>Glyceria alnasteretum</i>	準絶滅危惧種	該当なし
イネ	ヒロハノドジョウツナギ	<i>Glyceria leptolepis</i>	準絶滅危惧種	該当なし
イネ	アズマガヤ	<i>Hystrix duthiei</i> subsp. <i>longearistata</i>	絶滅危惧種II類	該当なし
イネ	カモノハシ	<i>Ischaemum aristatum</i> var. <i>crassipes</i>	準絶滅危惧種	該当なし
イネ	ハイドジョウツナギ	<i>Torreyochloa viridis</i>	絶滅危惧種II類	該当なし

EX
絶滅

CR
絶滅危惧I A類

EN
絶滅危惧I B類

VU
絶滅危惧II類

NT
準絶滅危惧

DD
情報不足

科名	和名	学名	秋田県2002	環境省2012
サトイモ	セキショウ	<i>Acorus gramineus</i>	絶滅危惧種IB類	該当なし
ミクリ	ヒメミクリ	<i>Sparganium subglobosum</i>	準絶滅危惧種	絶滅危惧II類
カヤツリグサ	コウキヤガラ (エゾウキヤガラ)	<i>Bolboschoenus koshevnikovii</i>	絶滅危惧種II類	該当なし
カヤツリグサ	ハタガヤ	<i>Bulbostylis barbata</i>	絶滅危惧種II類	該当なし
カヤツリグサ	ヤチスゲ	<i>Carex limosa</i>	準絶滅危惧種	該当なし
カヤツリグサ	ホソバカンスゲ	<i>Carex morrowii</i> var. <i>temnolepis</i>	準絶滅危惧種	該当なし
カヤツリグサ	ナガエスゲ	<i>Carex otayae</i>	準絶滅危惧種	該当なし
カヤツリグサ	シラコスゲ	<i>Carex rhizopoda</i>	準絶滅危惧種	該当なし
カヤツリグサ	シロガヤツリ	<i>Cyperus pacificus</i>	絶滅危惧種II類	該当なし
カヤツリグサ	サギスゲ	<i>Eriophorum gracile</i>	準絶滅危惧種	該当なし
カヤツリグサ	イトイヌノハナヒゲ	<i>Rhynchospora faberi</i>	準絶滅危惧種	該当なし
カヤツリグサ	コホタルイ	<i>Schoenoplectus komarovii</i>	準絶滅危惧種	該当なし
カヤツリグサ	ヒメホタルイ	<i>Schoenoplectus lineolotus</i>	準絶滅危惧種	該当なし
カヤツリグサ	ミネハリイ	<i>Trichophorum cespitosum</i>	絶滅危惧種II類	該当なし
ラン	エビネ	<i>Calanthe discolor</i>	準絶滅危惧種	準絶滅危惧
ラン	ギンラン	<i>Cephalanthea erecta</i> var. <i>erecta</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ラン	ハクサンチドリ	<i>Dactylorhiza aristata</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ラン	エソズラン	<i>Epipactis papillosa</i> var. <i>papillosa</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ラン	カキラン	<i>Epipactis thunbergii</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ラン	オニノヤガラ	<i>Gastrodia elata</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ラン	アリドオシラン	<i>Myrmechis japonica</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ラン	ノビネチドリ	<i>Neolindleya camtschatica</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ラン	アオフタバラン	<i>Neottia makinoana</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ラン	ジンバイソウ	<i>Platanthera florentii</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ラン	イイヌマムカゴ	<i>Platanthera iinumae</i>	準絶滅危惧種	絶滅危惧IB類
ラン	オオキシチドリ	<i>Platanthera ophrydioides</i> var. <i>ophrydioides</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ラン	ホソバノキシチドリ	<i>Platanthera tipuloides</i> subsp. <i>tipuloides</i> var. <i>sororia</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ラン	トキシウ	<i>Pogonia japonica</i>	絶滅危惧種II類	準絶滅危惧
ラン	ヒトツボクロ	<i>Tipularia japonica</i> var. <i>japonica</i>	準絶滅危惧種	該当なし
ラン	ショウキラン	<i>Yuania japonica</i>	準絶滅危惧種	該当なし

EX

絶滅

CR

絶滅危惧I A類

EN

絶滅危惧I B類

VU

絶滅危惧II類

NT

準絶滅危惧

DD

情報不足

付属資料

分布上希少な雑種

科名	和名	学名	秋田県2002
ゼンマイ	オオバヤシヤゼンマイ (オクタマゼンマイ)	<i>Osmunda × intermedia</i>	分布上希少な雑種
オシダ	ミヤマオシダ	<i>Dryopteris crassirhizoma × D. monticola</i>	分布上希少な雑種
オシダ	フジクマワラビ	<i>Dryopteris × fujipedis</i>	分布上希少な雑種
オシダ	ハコネオオクジャク	<i>Dryopteris × hakonecola</i>	分布上希少な雑種
オシダ	タニヘゴモドキ	<i>Dryopteris × kominatoensis</i>	分布上希少な雑種
オシダ	アイノコクマワラビ	<i>Dryopteris × mituii</i>	分布上希少な雑種
オシダ	タカヤマナライシダ	<i>Leptorumohra × takayamensis</i>	分布上希少な雑種
オシダ	アイツヤナシノデ	<i>Polystichum × amboversum</i>	分布上希少な雑種
オシダ	ドウリヨウイノデ	<i>Polystichum × anceps</i>	分布上希少な雑種
オシダ	オクキヌイノデ	<i>Polystichum braunii × P. retrosopaleaceum</i>	分布上希少な雑種
オシダ	ハコネイノデ	<i>Polystichum × hakonense</i>	分布上希少な雑種
オシダ	フナコシイノデ	<i>Polystichum × inadae</i>	分布上希少な雑種
オシダ	ゴテンバイノデ	<i>Polystichum longifrons × P. ovatopaleaceum</i> var. <i>coraiense</i>	分布上希少な雑種
オシダ	チチブイノデ	<i>Polystichum × titibuense</i>	分布上希少な雑種
オシダ	ハリマイノデ	<i>Polystichum × utsumii</i>	分布上希少な雑種
イワデンダ	ヤマカライヌワラビ	<i>Athyrium clivicola × A. vidalii</i>	分布上希少な雑種
イワデンダ	ヘビヤマイヌワラビ	<i>Athyrium × mentiens</i>	分布上希少な雑種
イワデンダ	ヤマホソバイヌワラビ	<i>Athyrium × pseudospinescens</i>	分布上希少な雑種
イワデンダ	ヤマヒロハイヌワラビ	<i>Athyrium × pseudowardii</i>	分布上希少な雑種
イワデンダ	コセイタカシケシダ	<i>Debaria conilii × D. dimorphophylla</i>	分布上希少な雑種
イワデンダ	オオホソバシケシダ	<i>Debaria conilii × D. japonica</i>	分布上希少な雑種
イワデンダ	ホソバフモトシケシダ	<i>Debaria conilii × D. pseudoconilii</i> var. <i>pseudoconilii</i>	分布上希少な雑種
イワデンダ	セイタカフモトシケシダ	<i>Debaria dimorphophylla × D. pseudoconilii</i> var. <i>pseudoconilii</i>	分布上希少な雑種
イワデンダ	タマシケシダ	<i>Debaria japonica × D. pseudoconilii</i> var. <i>pseudoconilii</i>	分布上希少な雑種
イワデンダ	ムサシシケシダ	<i>Debaria × musashiensis</i>	分布上希少な雑種
イワデンダ	オオメシダモドキ	<i>Debaria okuboana × D. pterorachis</i>	—
イワデンダ	ミヤマキヨタキシダ	<i>Diplazium sibiricum</i> var. <i>glabrum × D. squamigerum</i>	分布上希少な雑種
マツ	ハッコウダゴヨウ	<i>Pinus × hakkodensis</i>	分布上希少な雑種
ヤナギ	ヌシロヤナギ (コイエヤナギ)	<i>Salix × koiei</i>	分布上希少な雑種
ヤナギ	センダイヤナギ	<i>Salix × sendaica</i> nothosubsp. <i>sendaica</i>	分布上希少な雑種
カバノキ	ヒロハハンノキ	<i>Alnus × mayrii</i> nothovar. <i>glabrescens</i>	分布上希少な雑種
ブナ	ミズコナラ	<i>Quercus × crispuloserrata</i>	分布上希少な雑種
キンボウゲ	ムラサキボタンヅル	<i>Clematis × takedana</i>	分布上希少な雑種
ツバキ	ユキバツバキ	<i>Camellia × intermedia</i>	—
ユキノシタ	チダケトリアシ	<i>Astilbe × amabilis</i>	分布上希少な雑種
バラ	オオミネザクラ	<i>Cerasus × oneyamensis</i> nothovar. <i>takasawana</i>	分布上希少な雑種
バラ	コハマナス	<i>Rosa × iwara</i>	分布上希少な雑種
バラ	アイノコキイチゴ	<i>Rubus × nikaii</i>	分布上希少な雑種
バラ	アイノコフユイチゴ	<i>Rubus × pseudohakonensis</i>	分布上希少な雑種

科名	和名	学名	秋田県2002
モチノキ	オオツルツゲ	<i>Ilex × makinoi</i>	分布上希少な雑種
シナノキ	ノジリボダイジュ	<i>Tilia × nozircicola</i>	分布上希少な雑種
スマレ	スワキクバスマレ	<i>Viola × chinoi</i>	分布上希少な雑種
スマレ	テリハナガハシスマレ	<i>Viola faurieana × V. rostrata</i>	—
スマレ	イワフネタチツボスマレ	<i>Viola kusanoana × V. rostrata</i>	分布上希少な雑種
アカバナ	オオタニタデ	<i>Circaea × dubia</i>	分布上希少な雑種
アカバナ	マルヤマタニタデ	<i>Circaea × mentiensi</i>	分布上希少な雑種
ツツジ	ウラジロコヨウラク	<i>Rhododendron × kamatae</i>	分布上希少な雑種
キク	ナガバシラヤマギク	<i>Aster × sekimotoi</i>	分布上希少な雑種
ヒルムシロ	ヒメオヒルムシロ	<i>Potamogeton × yamagataensis</i>	分布上希少な雑種
ユリ	ヒダカエンレイソウ	<i>Trillium × miyabeianum</i>	分布上希少な雑種
ユリ	トカチエンレイソウ	<i>Trillium × yezoense</i>	—
イネ	オオエノコロ	<i>Setaria × pycnocomia</i>	分布上希少な雑種
イネ	スナシバ	<i>Zoysia × hondana</i>	分布上希少な雑種
カヤツリグサ	カヅノスゲ	<i>Carex × akitaensis</i>	分布上希少な雑種
カヤツリグサ	アニアイスゲ	<i>Carex × aniaiensis</i>	分布上希少な雑種
カヤツリグサ	タヌキナルコ	<i>Carex × hosoi</i>	分布上希少な雑種
カヤツリグサ	モリヨシスゲ	<i>Carex × moriyoshiensis</i>	分布上希少な雑種
カヤツリグサ	サドスゲモドキ	<i>Carex × pseudosadoensis</i>	分布上希少な雑種
カヤツリグサ	マシケスゲモドキ (オオタヌキラン)	<i>Carex × scitiformis</i>	絶滅危惧種IB類
カヤツリグサ	スミカワスゲ	<i>Carex × sumikawaensis</i>	分布上希少な雑種
カヤツリグサ	ミカツキグサモドキ	<i>Rhynchospora × hakkodensis</i>	分布上希少な雑種
カヤツリグサ	アイノコカンガレイ	<i>Schoenoplectus × uzenensis</i>	分布上希少な雑種

留意種

科名	和名	学名	秋田県2002	環境省2012
タデ	ノダイオウ	<i>Rumex longifolius</i>	留意種	絶滅危惧II類
ケシ	ナガミノツルキケマン	<i>Corydalis raddeana</i>	留意種	準絶滅危惧
ユキノシタ	ヤシヤビシャク	<i>Ribes ambiguum</i>	留意種	準絶滅危惧
トウダイグサ	ノウルシ	<i>Euphorbia adenochlora</i>	留意種	準絶滅危惧
アリノトウグサ	タチモ	<i>Myriophyllum ussuriense</i>	準絶滅危惧種	準絶滅危惧
ガガイモ	スズサイコ	<i>Vincetoxicum pycnostelma</i>	留意種	準絶滅危惧
シソ	テイネニガクサ	<i>Teucrium teinense</i>	留意種	準絶滅危惧
タヌキモ	タヌキモ	<i>Utricularia japonica</i>	準絶滅危惧種	準絶滅危惧
オモダカ	アギナシ	<i>Sagittaria aginashi</i>	準絶滅危惧種	準絶滅危惧
ヒルムシロ	イトモ	<i>Potamogeton berchtoldii</i>	絶滅危惧種II類	準絶滅危惧
アヤメ	カキツバタ	<i>Iris laevigata</i>	準絶滅危惧種	準絶滅危惧
ミクリ	ミクリ	<i>Sparganium erectum</i>	準絶滅危惧種	準絶滅危惧
ミクリ	ナガエミクリ	<i>Sparganium japonicum</i>	準絶滅危惧種	準絶滅危惧

参考資料

秋田県版レッドデータブック2002から削除した種

和名	秋田県2002	和名	秋田県2002	和名	秋田県2002
ホソバコケシノブ	絶滅危惧種IA類	イワウメツル	準絶滅危惧種	ユズリハ	情報不足種
カラフトメンマ	絶滅危惧種IA類	イイギリ	準絶滅危惧種	ミヤマシキミ	情報不足種
ムクゲシケンダ	絶滅危惧種IA類	アリアケスミレ	準絶滅危惧種	イヌツゲ	情報不足種
ミドリワラビ	絶滅危惧種IA類	ミズユキノシタ	準絶滅危惧種	ヒメスミレ	情報不足種
ケハギ	絶滅危惧種IA類	フサモ	準絶滅危惧種	アオキ	情報不足種
ムラサキマユミ	絶滅危惧種IA類	アキノギンリョウソウ	準絶滅危惧種	カクレミノ	情報不足種
クロツリバナ	絶滅危惧種IA類	ヒメウスノキ	準絶滅危惧種	チドメグサ	情報不足種
シハイスミレ	絶滅危惧種IA類	スナビキソウ	準絶滅危惧種	クリンソウ	情報不足種
ベニシスラン	絶滅危惧種IA類	オオマルバノホロシ	準絶滅危惧種	ネズミモチ	情報不足種
ツルナ	絶滅危惧種IB類	サワトウガラシ	準絶滅危惧種	ミヤマヨメナ	情報不足種
リュウキンカ	絶滅危惧種IB類	チョウジギク	準絶滅危惧種	ハイニガナ	情報不足種
エゾイタヤメイゲツ	絶滅危惧種IB類	シロヨモギ	準絶滅危惧種	コシカギク	情報不足種
ホザキノフサモ	絶滅危惧種IB類	ウゴアザミ	準絶滅危惧種	ハマギク	情報不足種
モリアザミ	絶滅危惧種IB類	ミスギク	準絶滅危惧種	エゾタケシマラン	情報不足種
ニラ	絶滅危惧種IB類	クロモ	準絶滅危惧種	ヒメイヌノヒゲ	情報不足種
ミノゴメ	絶滅危惧種IB類	エビモ	準絶滅危惧種	ミカワイヌノヒゲ	情報不足種
チシマガリヤス	絶滅危惧種IB類	キバナノアマナ	準絶滅危惧種	ハライヌノヒゲ	情報不足種
タマシヅイチゴツナギ	絶滅危惧種IB類	ツルボ	準絶滅危惧種	オオウシノケグサ	情報不足種
テキリスゲ	絶滅危惧種IB類	ミヤマホソコウガイゼキショウ	準絶滅危惧種	ヌマスゲ	情報不足種
ヒカゲハリスゲ	絶滅危惧種IB類	ミヤマヌカボシソウ	準絶滅危惧種	ニセコシノサトメシダ	分布上希少な雑種
オオイトスゲ	絶滅危惧種IB類	ヒゲノガリヤス (オオヒゲガリヤスを含む)	準絶滅危惧種	オゼオオサトメシダ	分布上希少な雑種
ナラガシワ	絶滅危惧種II類	コメススキ	準絶滅危惧種	イケノヤナギ	分布上希少な雑種
タコアシオトギリ	絶滅危惧種II類	ハマエノコロ	準絶滅危惧種	トヨハラヤナギ	分布上希少な雑種
エゾホソイ	絶滅危惧種II類	コイチヨウラン	準絶滅危惧種	ホソバガシワ	分布上希少な雑種
ドロイ	絶滅危惧種II類	アケボノシスラン	準絶滅危惧種	コガシワ	分布上希少な雑種
ミヤマシシガシラ	準絶滅危惧種	コケイラン	準絶滅危惧種	トガマダイオウ	分布上希少な雑種
イノデ	準絶滅危惧種	コバノトンボソウ	準絶滅危惧種	シバコブシ	分布上希少な雑種
メニッコウシダ	準絶滅危惧種	ハイホラゴケ	情報不足種	ツルワサビ	分布上希少な雑種
ハイネズ	準絶滅危惧種	ヒメサクラタデ	情報不足種	カスミオクチョウジザクラ	分布上希少な雑種
キヌヤナギ	準絶滅危惧種	ハマナデシコ	情報不足種	ミスタキソウ	分布上希少な雑種
ハマツメクサ	準絶滅危惧種	ナツカラマツ	情報不足種	イヌヌマトラノオ	分布上希少な雑種
ハマアカザ	準絶滅危惧種	モッコク	情報不足種	アイノコイトモ	分布上希少な雑種
ハイカモ	準絶滅危惧種	タイトゴメ	情報不足種	オオニガナ	留意種
コモチマンネングサ	準絶滅危惧種	トベラ	情報不足種		
チングルマ	準絶滅危惧種	ヤマザクラ	情報不足種		
イワキンバイ	準絶滅危惧種	ヤブツルアズキ	情報不足種		
ヒメゴヨウイチゴ	準絶滅危惧種	ヒヨウノセンカタバミ	情報不足種		

参考文献

本書を編集するに当たって参考とした図書・論文等は多数に上る。それらを全て取り上げて列記することは本書の性格上あまり必要とは考えられない。学会誌等に掲載される原記載のような一般に利用されることが少ないと思われるものは省略し、以下に主な参考書のみを利用しやすい配列で示した。

1. 図鑑等

- 大井次三郎 (北川政夫改訂). 1983. 新日本植物誌顕花篇. 至文堂
- 北村四郎・村田源・堀勝. 1957. 原色日本植物図鑑 (上). 保育社
- 北村四郎・村田源. 1961. 原色日本植物図鑑 (中). 保育社
- 北村四郎・村田源・小山鐵夫. 1964. 原色日本植物図鑑 (下). 保育社
- 北村四郎・村田源. 1971. 原色日本植物図鑑・木本Ⅰ. 保育社
- 北村四郎・村田源. 1979. 原色日本植物図鑑・木本Ⅱ. 保育社
- 田川基二. 1959. 原色日本羊歯植物図鑑. 保育社
- 杉本順一. 1965. 日本樹木総検索誌 改訂増補. 六月社
- 杉本順一. 1978. 日本草本植物総検索誌 1 双子葉編 増補改訂. 井上書店
- 杉本順一. 1973. 日本草本植物総検索誌 2 単子葉編. 井上書店
- 杉本順一. 1979. 改訂増補日本草本植物総検索誌 3 シダ編. 井上書店
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫編. 1982. 日本の野生植物 草本Ⅰ 単子葉類. 平凡社
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫編. 1982. 日本の野生植物 草本Ⅱ 離弁花類. 平凡社
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫編. 1981. 日本の野生植物 草本Ⅲ 合弁花類. 平凡社
- 佐竹義輔・原寛・亘理俊次・富成忠夫編. 1989. 日本の野生植物 木本Ⅰ. 平凡社
- 佐竹義輔・原寛・亘理俊次・富成忠夫編. 1989. 日本の野生植物 木本Ⅱ. 平凡社
- 岩槻邦男編. 1992. 日本の野生植物 シダ. 平凡社
- 大橋広好・邑田仁・岩槻邦男編. 2008. 新牧野日本植物図鑑. 北隆館
- Iwatsuki K., Yamazaki T., Boufford D., Ohba H. (eds.), 1995. Flora of Japan I. Kodansha
- Iwatsuki K., Boufford D., Ohba H. (eds.), 2006. Flora of Japan II a. Kodansha
- Iwatsuki K., Boufford D., Ohba H. (eds.), 2001. Flora of Japan II b. Kodansha
- Iwatsuki K., Boufford D., Ohba H. (eds.), 1999. Flora of Japan II c. Kodansha
- Iwatsuki K., Yamazaki T., Boufford D., Ohba H. (eds.), 1993. Flora of Japan III a. Kodansha
- Iwatsuki K., Yamazaki T., Boufford D., Ohba H. (eds.), 1995. Flora of Japan III b. Kodansha
- 前川文夫. 1971. 原色日本のラン. 誠文堂新光社
- 浜 栄助. 1975. 原色日本のスミレ. 誠文堂新光社
- 倉田悟・中池敏之. 1979-1997. 日本のシダ植物図鑑1-8. 東京大学出版会
- 長田武正. 1989. 増補 日本イネ科植物図譜. 平凡社
- 角野康郎. 1994. 日本水草図鑑. 文一総合出版
- 鈴木貞雄. 2000. 日本タケ科植物総目録. 学習研究社
- 勝山輝男. 2005. 日本のスゲ. 文一総合出版
- 星野卓二・正木知美. 2011. 日本カヤツリグサ科植物図譜. 平凡社
- 邑田 仁. 2011. 原色植物分類図鑑 日本のテンナンショウ. 北隆館
- 米倉浩司. 2012. 日本維管束植物目録. 北隆館

2.地方植物誌等

- 秋田県. 1997. 秋田県植物分布図. 秋田県
- 伊藤浩司・日野間彰・中井秀樹編. 1987-1994. 環境調査・アセスメントのための北海道高等植物目録 I-IV. たくぎん総合研究所
- 細井幸兵衛. 1994. 青森県野生植物目録. みどり造園植生調査部
- 岩手県自然保護課. 2001. 岩手県野生生物目録. 岩手県
- 藤原陸夫・松田義徳・阿部裕紀子. 2005. 秋田県植物目録 第11版. 秋田植生研究会
- 藤原陸夫. 2000. 秋田県植物分布図 第2版. 秋田県環境と文化のむら協会
- 結城嘉美. 1992. 新版 山形県の植物誌. 新版 山形県の植物誌刊行委員会
- 宮城植物の会. 2011. 宮城県維管束植物チェックリスト. 宮城植物の会
- 福島県植物誌編纂委員会. 1987. 福島県植物誌. 福島県植物誌編纂委員会
- 桑山邦亨・望月陸夫. 1964. 秋田県太平山の植物. 秋田県立秋田高校生物部同窓会
- 望月陸夫. 1966. 秋田県男鹿半島の植物. 北陸の植物の会
- 望月陸夫・高田順(編著). 1978. 秋田湾地区の植物相. 秋田自然史研究会
- 雄勝野草の会. 1982. 秋田県雄勝地方植物誌. 雄勝野草の会
- 米田 博. 1986. 秋田県鹿角地方植物誌. 鹿角植物の会
- 松田義徳. 1988. 秋田県平鹿地方植物誌. 秋田植生研究会
- 畠山益穂. 1988. 鷹巣地方植物誌. 無明舎出版
- 工藤茂美. 1989. 秋田県山本地方植物誌. 秋田植生研究会
- 和賀山塊自然学術調査会. 1999. 和賀山塊の自然 和賀山塊学術調査報告書. 和賀山塊自然学術調査会
- 協和町動植物調査報告書編集委員会. 2005. 協和町動植物調査報告書. 協和町教育委員会

3.レッドデータブック関係

- 環境庁自然保護局野生生物課. 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 -レッドデータブック-8 植物 I (維管束植物). 財団法人 自然環境研究センター
- 環境省自然環境局野生生物課. 2012. 環境省第4次レッドリスト(絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト)公表に係る資料. 環境省自然環境局野生生物課
- 茨城県生活環境部環境政策課. 2013. 茨城における絶滅のおそれのある野生生物 植物編 2012年改訂版 (茨城県版レッドデータブック). 茨城県生活環境部環境政策課
- 埼玉県環境部自然環境課. 2012. 埼玉県の希少野生生物 埼玉県レッドデータブック2011植物編. 埼玉県環境部自然環境課
- 千葉県レッドデータブック改訂委員会(編). 2009. 千葉県の保護上重要な野生生物 -千葉県レッドデータブック- 植物・菌類編 2009年改訂版. 千葉県環境生活部自然保護課
- 東京都環境局自然環境部. 2013. レッドデータブック東京2013 ~東京都の保護上重要な野生生物種(本土部) 解説版~. 東京都環境局自然環境部
- 富山県生活環境文化部自然保護課. 2012. 富山県の絶滅のおそれのある野生生物 -レッドデータブックとやま2012-. 富山県生活環境文化部自然保護課
- 石川県絶滅危惧植物調査会. 2010. 改訂・石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしかわレッドデータブック(植物編) 2010. 石川県環境部自然保護課

- 愛知県環境調査センター. 2009. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックあいち2009 -植物編-. 愛知県環境部自然環境課
- 滋賀県生きもの総合調査委員会. 2011. 滋賀県で大切にすべき野生生物 -滋賀県レッドデータブック2010年版-. 滋賀県自然環境保全課
- 和歌山県環境生活部環境政策局環境生活総務課自然環境室. 2012. 保全上重要なわかやまの自然 -和歌山県レッドデータブック- [2012年改訂版]. 和歌山県環境生活部環境政策局環境生活総務課自然環境室
- 島根県環境生活部自然環境課. 2013. 改訂 しまねレッドデータブック2013植物編 ~島根県の絶滅のおそれのある野生生物~. 島根県環境生活部自然環境課
- 福岡県環境部自然環境課. 2011. 福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック2011 -植物群落・植物・哺乳類・鳥類-. 福岡県環境部自然環境課
- 宮崎県版レッドデータブック改訂検討委員会. 2011. 改訂・宮崎県版レッドデータブック 宮崎県の保護上重要な野生生物. 宮崎県環境森林部自然環境課
- 沖縄県文化環境部自然保護課. 2006. 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 (菌類編・植物編) -レッドデータおきなわ-. 沖縄県文化環境部自然保護課

4. フロラ論文およびその他

秋田県の植物相についての研究報告は2002年以後も相当の数に上り、その大多数は下記研究誌に集中しているので雑誌名のみを挙げる。

秋田自然史研究 1-64号. 1972-2013. 秋田自然史研究会

東北植物研究 1-17号. 1983-2013. 東北植物研究会

水草研究会誌 1-100号. 1980-2013. 水草研究会

国立科学博物館(編). 2006. 日本列島の自然史. 東海大学出版会

加藤雅啓・海老原 淳. 2011. 日本の固有植物. 東海大学出版会

秋田県の自然公園・自然環境保全地域一覧

1. 自然公園

すぐれた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図ることにより国民の保健、休養及び教化に資するため自然公園を指定している。県内で指定されている自然公園は表2のとおりである。公園区域内では一定の行為が規制され、特別地域内では指定された動植物の捕獲や採取などが禁止されるとともに、特別保護地区では動植物の捕獲や採取などが禁止される。

【表2】秋田県内自然公園指定状況

区分	公園名	指定年月日	関係市町村	面積 (ha)						
				特別保護地区	特別地域			普通地域	海域	合計
					第1種	第2種	第3種			
公園立	十和田八幡平	昭和11.2.1 (昭和31.7.10 八幡平地区追加)	鹿角市、小坂町、 仙北市	1,501	6,019	8,309	10,593	367		26,789
国定公園	鳥海	昭和38.7.24	にかほ市、 由利本荘市		240	4,820	10,342		538	15,940
	栗駒	昭和43.7.22	湯沢市、東成瀬村	3,158	3,062	2,607	14,380			23,207
	男鹿	昭和48.5.15	男鹿市	160	1,237	2,606	4,080	73	3,378	11,534
	計	3箇所		3,318	4,539	10,033	28,802	73	3,916	50,681
	田沢湖抱返り	昭和35.4.1	仙北市		83	4,275	1,828	1,291		7,477
県立自然公園	きみまち阪	昭和39.7.16	能代市			239	304	56		599
	八森岩館	昭和39.7.16	八峰町		101	86	748	68	1,176	2,179
	森吉山	昭和43.10.1	北秋田市		412	2,804	11,370	628		15,214
	太平山	昭和47.7.15	秋田市、五城目町、 上小阿仁村		614	3,328	7,955			11,897
	田代岳	昭和50.1.11	大館市		106	677	1,072			1,855
	真木真昼	昭和50.1.11	大仙市、美郷町		1,553	3,000	1,320	30		5,903
	秋田白神	平成16.8.24	八峰町、藤里町		331	684	3,091	2,169		6,275
	計	8箇所			3,200	15,093	27,688	4,242	1,176	51,399
	合計			4,819	13,758	33,435	67,083	4,682	5,092	128,869

(平成26年3月末現在)

2. 自然環境保全地域

すぐれた自然環境を保全することが特に必要な区域の生物多様性の確保、自然環境の保全を推進することにより国民が自然環境の恵沢を享受するなどのため自然環境保全地域等を指定している。県内で指定されている自然環境保全地域等は表3のとおりである。自然環境保全地域等では一定の行為が規制され、野生動植物保護地区内では指定された動植物の捕獲や採取などが禁止される。

【表3】秋田県内自然環境保全地域等指定状況

国指定自然環境保全地域						
地域名	関係市町村	総面積 (ha)	特別地区 (ha)	保護地区*1 (ha)	指定年月日	主な保全対象
白神山地	藤里町	4,336	2,466	2,466	平成4. 7.10	大規模ブナ林及びビイヌワシ、クマゲラ等
県指定自然環境保全地域						
地域名	関係市町村	総面積 (ha)	特別地区 (ha)	保護地区*1 (ha)	指定年月日	主な保全対象
南由利原	由利本荘市	191.8	74.6		昭和49.11. 2	湿原植物群落、草原植物群落
湯の台・小方角沢	大仙市	53.4	12.7	12.7	昭和49.11. 2	湿原植物群落、ハツチョウトンボ多産地
冬師	にかほ市	32.4			昭和49.11. 2	湿地林、湿原植物群落
露熊山峡	北秋田市	71.1	22.2		昭和50. 2.22	岩壁植生
保呂羽山	横手市	10.5	10.5		昭和50. 2.22	ブナ、ミズナラを主体とする天然林
刈女木	羽後町	33.8			昭和51. 3.30	湿原植物群落
羽黒山	八峰町	5.1			昭和51. 3.30	暖地性植物
外山	横手市	17.2			昭和52. 8.11	ブナ-ユキツバキ群落
丁岳	由利本荘市	88.16	88.16		昭和53. 1.24	ブナを主体とする天然林、亜高山性植物
番鳥森	秋田市	126.83	126.83		昭和53. 1.24	ブナ及びミズナラを主体とする天然林
鞍山風穴	北秋田市	6.93	0.65	0.65	昭和56. 3.14	風穴植物群落
金峰山	横手市	21.93	3.97		昭和56. 3.14	ブナ-ユキツバキ群落
小又風穴	北秋田市	21.283	3.60	3.60	昭和57. 5. 1	風穴植物群落
親川	由利本荘市	16.67	12.91	12.91	昭和60.10. 8 拡張:平成15.11. 4	タブノキ群落、ヤブツバキ群落
出戸湿原	潟上市	2.74	2.74	2.74	平成15.11. 4	湿原植物群落
加田喜沼	由利本荘市	4.0811	4.0811	4.0811	平成16.12. 3	湿原植物群落
笹森山	由利本荘市	114.67	42.67	42.67	平成21.12.15	シナノキ群落内の貴重植物
計	17地域	818.5941	405.6111	79.3511		

*1：野生動植物保護地区
特別地区の面積は総面積の、野生動植物保護地区の面積は特別地区のそれぞれ内数。

県指定緑地環境保全地域						
地域名	関係市町村	総面積 (ha)		指定年月日	主な保全対象	
長木溪谷	大館市	238.0		昭和49.11. 2	溪谷、スギ-ブナ群落	
今泉	北秋田市	37.5		昭和52. 8.11	池沼、広葉樹林、スギ林	
千屋並木	美郷町	7.1		昭和51. 3.30	アカマツ並木、スギ並木	
石沢峡	由利本荘市	152.2		昭和59. 5.26	溪谷、ケヤキ群落	
計	4地域	434.8				

(平成26年3月末現在)

執筆者、写真提供者

執筆者

沖 田 貞 敏
菊 地 卓 弥
高 田 順
高 橋 祥 祐
松 田 義 徳

(五十音順、敬称略)

写真提供者

大日向 貞 英
沖 田 貞 敏
菊 地 卓 弥
熊 谷 隆
児 玉 勉
猿 田 基
高 田 順
人 見 和 男
福 田 兼四郎
藤 原 重 栄
松 田 義 徳
山 口 実
脇 坂 良 子

(五十音順、敬称略)

和名索引 (*は口絵写真掲載)

和名	カテゴリー	ページ
[ア]		
アイアシ	EN	123
アイヅスゲ	DD	182
アイツヤナシイノデ	雑種	187
アイナエ*	CR	60
アイノコカンガレイ	雑種	188
アイノコキイチゴ	雑種	187
アイノコクマワラビ	雑種	187
アイノコフユイチゴ	雑種	187
アオイチゴツナギ	CR	76
アオウシノケグサ	EN	123
アオチドリ*	EN	135
アオテンツキ	EN	131
アオノイワレンゲ	EN	97
アオノツガザクラ	NT	184
アオフタバラン	NT	186
アオホラゴケ	EN	85
アオモリマンテマ	EN	93
アカネムグラ*	EN	109
アカハナワラビ	DD	174
アカヒダボタン	CR	53
アカメガシワ	NT	184
アギナシ	留意	188
アキノハハコグサ	DD	179
アケボノスミレ*	EN	103
アサギリソウ	EX	40
アサザ	NT	184
アシノクラアザミ	DD	178
アズマガヤ	NT	185
アズマギク	NT	185
アズマレイジンソウ*	CR	50
アゼガヤツリ	EN	130
アゼナルコ*	CR	78
アツモリソウ	EX	41
アニアイスゲ	雑種	188
アブノメ	CR	63
アマナ	CR	73
アマモ*	EN	117
アラシグサ	CR	53
アリドオシラン	NT	186
アワゴケ	EN	109
アワボスゲ*	CR	78

和名	カテゴリー	ページ
[イ]		
イイヌマムカゴ	NT	186
イガガヤツリ*	EN	130
イソスミレ*	EN	103
イソツツジ	VU	155
イチイ*	CR	46
イチゴツナギ	EN	124
イチヨウシダ*	CR	44
イチヨウラン	VU	173
イトイチゴツナギ	EN	124
イトイヌノハナヒゲ	NT	186
イトイバラモ	EN	118
イトキンスゲ	VU	170
イトクズモ*	CR	72

和名	カテゴリー	ページ
イトトリゲモ	EN	117
イトモ	留意	188
イヌアワ	EN	125
イヌセンブリ*	CR	61
イヌタヌキモ	NT	185
イヌチャセンシダ	CR	44
イヌドクサ	CR	42
イヌナズナ	CR	52
イヌニガクサ	EN	110
イヌハギ	NT	184
イノテモドキ*	EN	88
イノモトソウ	EX	39
イバラモ*	EN	117
イブキジャコウソウ	VU	157
イブキソソモ	EN	124
イブキトラノオ*	EN	92
イワウサギシダ	DD	174
イワウメ	VU	154
イワオウギ	VU	150
イワオモダカ	VU	142
イワカラマツ	NT	183
イワギキョウ	CR	66
イワスゲ	CR	80
イワタバコ*	EN	112
イワツツジ	EN	108
イワテシオガマ	NT	185
イワテハタザオ	DD	176
イワテヒゴタイ	EN	115
イワトラノオ	EN	86
イワノガリヤス	NT	185
イワヒゲ*	EN	106
イワヒバ	NT	183
イワブクロ	CR	64
イワフネタチツボスミレ	雑種	188
イワヘゴ*	CR	45
イワベンケイ	CR	52
イワヤシダ	VU	141

和名	カテゴリー	ページ
[ウ]		
ウキガヤ	EN	123
ウゴシオギク	CR	67
ウコンウツギ	DD	178
ウサギギク	VU	161
ウサギシダ	VU	141
ウスイロスゲ	CR	79
ウスゲミヤマシケシダ	NT	183
ウスバスミレ	VU	153
ウスヒメワラビ	EN	89
ウスユキノソウ	NT	185
ウセントリカブト	VU	145
ウチヨウラン*	CR	83
ウマノスズクサ	NT	183
ウミミドリ	VU	155
ウラジロコヨウラク	雑種	188
ウラジロナナカマド*	EN	100
ウラジロハナヒリノキ*	EN	106
ウリカワ*	CR	71

※雑種：分布上希少な雑種 留意：留意種

和名	カテゴリー	ページ
【エ】		
エゾアオイスミレ	EN	102
エゾウキヤガラ	NT	186
エゾオオハコ	NT	185
エゾオオヤマハコベ*	CR	49
エゾオグルマ*	CR	70
エゾオトギリ	EN	96
エゾスズラン	NT	186
エゾツツジ	EN	107
エゾツリスゲ	EN	128
エゾツルキンバイ	EN	99
エゾテンダ	CR	45
エゾノキツネアザミ	EN	114
エゾノコギリソウ*	CR	66
エゾノコリンゴ	DD	176
エゾノシロバナシモツケ	NT	184
エゾノタウコギ	NT	185
エゾノタチツボスミレ	CR	56
エゾノチャルメルソウ	EN	98
エゾノヒメクランマゴケ	NT	183
エゾノヒルムシロ	VU	165
エゾノミズタデ*	CR	47
エゾノリュウキンカ	NT	183
エゾノレンリソウ	VU	151
エゾハタザオ	CR	51
エゾヒナノウスツボ	NT	185
エゾヒョウタンボク	CR	65
エゾミクリ	VU	168
エゾヤナギモ	VU	164
エゾルリトラノオ	NT	185
エゾルリムラサキ	CR	61
エゾワサビ	VU	147
エチゴトラノオ	VU	159
エビネ	NT	186
エンコウソウ*	VU	145

【オ】		
オオアカウキクサ	EX	39
オオアカバナ	EX	39
オオイタチシダ	EN	87
オオウラジロノキ	CR	55
オオエノコ	雑種	188
オオカサモチ*	EN	105
オオガンクビソウ	CR	67
オオキノチドリ	NT	186
オオキヌタソウ	EN	109
オオクジャクシダ	NT	183
オオクボンダ	CR	46
オオクマザサ	DD	182
オオコメツツジ*	EN	107
オオサクラソウ	CR	59
オオシバナ	EN	117
オオシラヒゲソウ	CR	54
オオタカネバラ	EN	99
オオタチヤナギ	DD	175
オオタニタデ	雑種	188
オオタヌキモ*	VU	159

和名	カテゴリー	ページ
オオタヌキラン	雑種	188
オオツリバナ	NT	184
オオツルツゲ	雑種	188
オオトボシガラ	CR	75
オオトリゲモ	EN	118
オオナンバンギセル	NT	185
オオバグミ	VU	152
オオバショウマ	VU	145
オオバツツジ	NT	184
オオバナノエンレイソウ	EN	120
オオバナノミミナグサ*	VU	144
オオハナワラビ*	EN	85
オオバノイノモトソウ	EN	85
オオバナノハチジョウシダ	EN	86
オオバヤシャゼンマイ	雑種	187
オオヒナノウスツボ	NT	185
オオベニシダ	VU	140
オオホソバシケシダ	雑種	187
オオмамシグサ*	EN	126
オオミネザクラ	雑種	187
オオミミナグサ	NT	183
オオメシダモドキ	雑種	187
オオユリワサビ	VU	147
オガアザミ	DD	179
オカウツボ	EN	112
オガコウモリ	DD	180
オカスズメノヒエ	DD	180
オガタチイチゴツナギ	EN	124
オカヒジキ	NT	183
オガフウロ	VU	151
オキナグサ	EN	94
オクウスギタンポボ*	EN	116
オクキタアザミ	EN	116
オクキヌイノデ	雑種	187
オクタマゼンマイ	雑種	187
オクノハマイボタ	DD	177
オクヤマオトギリ	DD	175
オクヤマガラシ	EN	97
オクヤマシダ*	EN	87
オクヤマワラビ*	CR	45
オケラ	VU	162
オサバグサ	EN	97
オゼコウホネ*	EN	95
オタカラコウ	CR	69
オタルスゲ	CR	79
オナモミ	CR	70
オニカナワラビ	EN	86
オニシオガマ	NT	185
オニノヤガラ	NT	186
オニヤブマオ	VU	143
オノエラン*	EN	133
オヤブジラミ	VU	154
オヤマソバ*	EN	92
オヤリハグマ*	CR	70
オンタデ	EN	92

和名	カテゴリー	ページ
[カ]		
カイジンドウ*	CR	62
カキツバタ	留意	188
カキラン	NT	186
カスマグサ	NT	184
カツノスゲ	雑種	188
カニコウモリ	VU	163
カニツリノガリヤス	CR	74
カノコソウ*	EN	113
カモノハシ	NT	185
カラクサイノデ	VU	140
カラコギカエデ	NT	184
カラフトイチヤクソウ*	CR	58
カラフトダイコンソウ	CR	54
カラフトドジョウツナギ	VU	168
カラフトニンジン	VU	154
カラフトホシクサ	DD	181
カリガネソウ*	CR	62
ガリメギイヌノヒゲ	DD	181
カワラアカザ	NT	183
カワラケツメイ	NT	184
カワラサイコ	EN	99
カワラニガナ	CR	69
カンエンガヤツリ	EN	129
ガンジュアザミ*	CR	67
カントウヨメナ	VU	161

和名	カテゴリー	ページ
[キ]		
キキョウ	EN	113
キクムグラ	NT	184
キクモ	NT	185
キジカクシ	VU	166
キジオシダ	CR	42
キセワタ	CR	63
キダチノネズミガヤ	CR	76
キタノミヤマシダ	CR	45
キヌガサソウ	EN	119
キバナウツギ*	VU	160
キバナノコマノツメ	VU	152
キバナハタザオ	CR	52
ギボウシラン*	EN	135
ギョウジャニンニク	VU	166
キヨスミウツボ*	EN	112
キヨスミヒメワラビ	VU	139
キンスゲ	CR	80
キンセイラン*	EN	133
キンチャクスゲ	EN	128
キンラン*	EN	133
ギンラン	NT	186
ギンレイカ	EX	40
キンロバイ	CR	55

和名	カテゴリー	ページ
[ク]		
クサイチゴ*	EN	100
クサコアカソ	VU	143
クサスゲ*	EN	129
クサボケ*	EN	99

和名	カテゴリー	ページ
クマガイソウ	EN	134
クモイジガバチ	DD	182
クモノスシダ	NT	183
クモマニガナ	NT	185
クリイロスゲ	CR	78
クルマバツクバネソウ	NT	185
クルマバハグマ	NT	185
クロアブラガヤ*	EN	132
クロカンバ	EN	102
クロツバラ	DD	176
クロテンツキ	EN	131
クロバナロウゲ	NT	184
クロハリイ	VU	171
クロビイタヤ*	EN	102
クロヒメシライトソウ*	EN	119
クロミノウグイスカグラ	VU	160

和名	カテゴリー	ページ
[ケ]		
ケキツネノボタン	NT	183
ケゴンアカバナ	VU	153
ゲジゲジシダ	EN	88
ゲンジスミレ*	CR	57

和名	カテゴリー	ページ
[コ]		
コアゼテンツキ	VU	172
コアツモリソウ	EN	134
コアニチドリ	VU	172
コアマモ	VU	165
コイエヤナギ	雑種	187
コイヌノハナヒゲ	VU	172
コウキヤガラ	NT	186
コウライイヌワラビ*	EN	89
コオニタヒラコ	EN	115
コガネイチゴ*	EN	100
コガマ	VU	169
コケスギラン	EN	84
コケヌマイヌノヒゲ	DD	181
コゴメウツギ	VU	149
コシジタヒラコ	VU	157
コシノカンアオイ	EN	96
コジマエンレイソウ*	CR	73
コシンジュガヤ*	EN	132
コスギラン*	EN	84
コスミレ*	EN	103
コセイタカシケシダ	雑種	187
ゴテンバイノデ	雑種	187
コバノイシカグマ	VU	139
コバノイチヤクソウ	CR	58
コバノカモメツル	DD	177
コハマナス	雑種	187
コハリスゲ*	EN	127
コフタバラン	EN	136
コホタルイ	NT	186
コマガタケスグリ	NT	183
コマクサ	CR	51
ゴマノハグサ*	CR	64
コミヤマヌカボ	VU	167

和名	カテゴリー	ページ
コミヤマハンショウヅル*	EN	94
コメツガ	NT	183
コメツツジ	NT	184
コメバツガザクラ	NT	184
コモチレンゲ	VU	148
コヤブタバコ	VU	162

【サ】

サイゴクイノテ*	EN	88
サイゴクベニシダ	CR	44
サカネラン*	CR	82
サギスゲ	NT	186
サギソウ	CR	83
サクラスミレ	CR	57
サクラタデ	VU	143
ササエビモ	CR	72
サジオモダカ	NT	185
サデクサ*	EN	93
サドスゲモドキ	雑種	188
サナギイチゴ	VU	150
サマニヨモギ*	CR	66
サラサドウダン	NT	184
ザリコミ	EN	98
サルメンエビネ	EN	133
サワギク*	VU	163
サワシロギク	VU	161
サワラン	EN	135
サンインヒキオコシ	NT	184
サンショウモ	VU	142
サンリンソウ*	VU	145

【シ】

シオガマギク	VU	158
シオクグ	VU	171
ジガバチソウ	VU	173
シコタンソウ	EN	98
シデシヤジン*	CR	66
シナノキンバイ	CR	50
シナノタイゲキ	EN	101
シノブ	VU	139
シャクジョウソウ	NT	184
シャリンバイ	CR	55
ショウキラン	NT	186
ショウロウスゲ*	VU	170
シラオイハコベ*	CR	48
シラガミクワガタ	EN	111
シラキ	VU	152
シラコスゲ	NT	186
シラタマノキ	NT	184
シラネアオイ	NT	183
シロウマアサツキ	EN	118
シロウマレイジンソウ	CR	50
シロガヤツリ	NT	186
シロダモ	CR	49
シロバナノヘビイチゴ	CR	54
シロヨメナ	EN	114
ジンバイソウ	NT	186

和名	カテゴリー	ページ
ジンヨウイチヤクソウ*	EN	105

【ス】

スカシユリ	NT	185
スギカズラ	VU	138
スギナモ	VU	153
スギラン*	EN	84
スジヌマハリイ*	EN	130
スズサイコ	留意	188
スズタケ	DD	181
スズムシソウ*	EN	136
スズメノエンドウ*	EN	101
スズラン	EN	119
スナシバ	雑種	188
スハマソウ	EN	94
スプタ	CR	71
スマカワスゲ	雑種	188
スワキクバスミレ	雑種	188

【セ】

セイトカシケシダ	EN	90
セイトカスズムシソウ	EN	136
セイトカハリイ	EN	130
セイトカフモトシケシダ	雑種	187
セキショウ	NT	186
セキショウモ	CR	71
セナミスミレ*	EN	103
センジュガンピ	NT	183
センダイザサ	DD	182
センダイハギ	NT	184
センダイヤナギ	雑種	187
センニンモ	NT	185

【ソ】

ソクシンラン	EX	41
ソクズ	NT	185

【タ】

タカサゴソウ*	CR	68
タカサブロウ	VU	162
タカネクロスゲ*	EN	131
タカネコウボウ	EN	122
タカネサギソウ	CR	83
タカネスズメノヒエ*	EN	121
タカネスミレ	CR	57
タカネセンブリ	CR	60
タカネトンボ	EN	137
タカネナデシコ	NT	183
タカネナナカマド*	CR	56
タカネノガリヤス	NT	185
タカネバラ	CR	55
タカネヒカゲノカズラ	VU	138
タカネマスクサ	CR	80
タカヤマナライシダ	雑種	187
タカユイヌノヒゲ	VU	167
タガラシ	NT	183
ダケスゲ	CR	79

和名	カテゴリー	ページ
タコノアシ	VU	149
タチコウガイゼキショウ	VU	167
タチモ	留意	188
タテヤマウツボグサ	NT	184
タテヤマスゲ*	EN	126
タテヤマリンドウ	VU	156
タニヘゴモドキ	雑種	187
タヌキナルコ	雑種	188
タヌキモ	留意	188
タマシケシダ	雑種	187
タマミクリ	VU	169

【チ】

チシマカニツリ	CR	77
チシマゼキショウ	EN	120
チダケサシ*	EN	98
チダケトリアシ	雑種	187
チチブイノデ	雑種	187
チトセバイカモ*	EN	94
チャボゼキショウ	NT	185
チョウカイアザミ	EN	114
チョウカイフスマ	CR	48
チョウジソウ	VU	156
チョウセンキバナアツモリソウ	CR	81
チョウセンゴミシ*	EN	93

【ツ】

ツガザクラ*	EN	106
ツガルコウモリ	DD	179
ツガルミセバヤ	VU	148
ツクシイワヘゴ*	CR	44
ツクシガヤ	CR	75
ツチアケビ	EN	134
ツツイトモ*	CR	72
ツヤナシイノデ*	EN	88
ツルアブラガヤ*	EN	132
ツルカノコソウ	NT	185
ツルキケマン*	CR	51
ツルケマン*	CR	51
ツルコケモモ	NT	184
ツルスゲ*	EN	129
ツルタチツボスミレ	EN	103
ツレサギソウ	EN	138

【テ】

テイカカズラ	CR	61
テイネニガクサ	留意	188
テリハナガハシスミレ	雑種	188
テワノタツナミソウ	NT	184
テンジソウ*	CR	46
テンツキ	VU	172

【ト】

トウオオバコ	VU	160
トウゴクシダ	NT	183
トウバナ	NT	184
ドウリョウイノデ	雑種	187

和名	カテゴリー	ページ
トガアザミ	DD	179
トガクシショウマ*	EN	95
トガクシソウ*	EN	95
トカチエンレイソウ	雑種	188
トキソウ	NT	186
トケンラン	EN	134
トチカガミ	EN	116
トマリスゲ	VU	171
トモエシオガマ*	EN	111
トリゲモ	CR	72

【ナ】

ナガエスゲ	NT	186
ナガエミクリ	留意	188
ナガバシラヤマギク	雑種	188
ナガバツガザクラ	EN	106
ナガバノウナギツカミ*	EN	92
ナガミノツルキケマン	留意	188
ナツエビネ*	CR	81
ナベクラザゼンソウ*	EN	126
ナンゴクナライシダ	EN	87
ナンテンハギ	VU	151
ナンブソウ	EN	95

【ニ】

ニッコウアザミ	VU	162
ニッコウシダ	NT	183
ニッコウハリスゲ*	EN	127

【ヌ】

ヌカボタテ	NT	183
ヌシロヤナギ	雑種	187
ヌマドジョウツナギ*	CR	76
ヌリワラビ	EN	90

【ネ】

ネコシテ	EN	91
ネズ	EN	90
ネズミサシ	EN	90
ネバリタテ	CR	48
ネムロコウホネ	CR	51

【ノ】

ノウルシ	留意	188
ノカンソウ	NT	185
ノジリボダイジュ	雑種	188
ノダイオウ	留意	188
ノニガナ*	EN	115
ノハラクサフジ	NT	184
ノビネチドリ	NT	186

【ハ】

バイカウツギ*	CR	54
バイカウツジ*	EN	107
ハイキンボウゲ	DD	175
バイケイソウ	NT	185
ハイドジョウツナギ	NT	185

和名	カテゴリー	ページ
ハイハマボツス	NT	184
ハカタシダ	EN	86
ハクウンラン*	EN	135
ハクサンイチゲ	EN	93
ハクサンオオハコ*	EN	113
ハクサンサイコ	NT	184
ハクサンスゲ	VU	170
ハクサンタイゲキ	NT	184
ハクサンチドリ	NT	186
ハクサンフウロ	NT	184
ハクセンナズナ*	CR	52
ハコネイノデ	雑種	187
ハコネオオクジャク	雑種	187
ハコネシケチシダ	VU	141
ハコネシダ	CR	43
ハシカグサ	NT	184
ハシナガヤマサギソウ	VU	174
ハシバミ	CR	47
ハシリドコロ	NT	185
ハダカホオズキ*	CR	63
ハタガヤ	NT	186
ハタザオ	VU	147
ハチジョウナ	VU	164
ハッコウダゴヨウ	雑種	187
ハナイカリ*	CR	60
ハマウツボ	EN	112
ハマカキラン*	CR	81
ハマゼリ	VU	153
ハマハコベ	VU	144
ハマハナヤスリ	CR	42
ハマヒエガエリ*	EN	125
ハマフウロ	VU	151
ハマベンケイソウ	VU	156
ハマボウフウ	NT	184
ハナムギ*	EN	122
ハリオニアザミ	CR	67
ハリマイノデ	雑種	187
ハンゲショウ	VU	146

【ヒ】

ヒエガエリ	VU	168
ヒエスゲ*	EN	128
ヒオウギアヤメ*	EN	120
ヒゲシバ	CR	76
ヒゴスミレ	EN	102
ヒサカキ	EN	96
ヒシモドキ	CR	65
ヒダカエンレイソウ	雑種	188
ヒトツボクロ	NT	186
ヒナガリヤス	CR	75
ヒナザクラ	NT	184
ヒナザサ	EN	122
ヒナスミレ	NT	184
ヒナチドリ	EN	137
ヒメアカバナ	CR	57
ヒメイバラモ	EX	40
ヒメイワカガミ	EN	105

和名	カテゴリー	ページ
ヒメイワシヨウブ	EN	120
ヒメイワトラノオ*	CR	43
ヒメウメバチソウ*	CR	53
ヒメオヒルムシロ	雑種	188
ヒメカイウ	CR	77
ヒメカワズスゲ	CR	78
ヒメキンポウゲ	CR	50
ヒメクロマメノキ	CR	59
ヒメクワガタ	CR	65
ヒメコウガイゼキショウ*	EN	121
ヒメサジラン	VU	141
ヒメシオン	NT	185
ヒメシャガ	NT	185
ヒメシャクナゲ	EN	106
ヒメスギラン	VU	138
ヒメタヌキモ	VU	159
ヒメナエ	CR	59
ヒメノキシノブ	EN	90
ヒメハリイ	VU	171
ヒメヒゴタイ*	CR	70
ヒメビシ*	EN	104
ヒメフタバラン*	EN	137
ヒメホタルイ	NT	186
ヒメミクリ	NT	186
ヒメミズニラ	EN	84
ヒメヨモギ	NT	185
ヒメワラビ*	EN	89
ヒモカズラ	NT	183
ヒヨクソウ	VU	158
ヒラギシスゲ*	EN	126
ビロードシダ	VU	142
ヒロハイヌワラビ	VU	140
ヒロハカツラ	CR	49
ヒロハクサフジ	VU	151
ヒロハツリシュスラン*	CR	82
ヒロハノエビモ	VU	165
ヒロハノカワラサイコ	VU	150
ヒロハノコウガイゼキショウ	DD	180
ヒロハノコムススキ	EN	122
ヒロハノドジョウツツナギ	NT	185
ヒロハノハネガヤ	EN	125
ヒロハノノキ	雑種	187

【フ】

フガクスズムシソウ	EN	136
フクジュソウ	NT	183
フクロシダ	NT	183
フサザクラ	NT	183
フサタヌキモ	EN	113
フジカンソウ	NT	184
フジクマワラビ	雑種	187
フシグロセンノウ*	CR	48
フジチドリ	CR	83
フタバムグラ	NT	184
フタバラン	EN	136
フナコシイノデ	雑種	187
フナバラソウ*	CR	61

和名	カテゴリー	ページ
フモトシケシダ	NT	183
フモトシダ	CR	43

【へ】

ヘニバナイチヤクソウ	VU	154
ヘビヤマイヌワラビ	雑種	187

【ほ】

ホクリクネコノメ*	CR	53
ホザキイチヨウラン	CR	82
ホザキノミミカキグサ	VU	159
ホザキヤドリギ*	VU	143
ホシクサ	EX	41
ホソコウガイゼキショウ	EN	121
ホソバアカバナ	EN	104
ホソバイヌタデ	NT	183
ホソバイヌワラビ	NT	183
ホソバイワベンケイ	VU	148
ホソバカンスゲ	NT	186
ホソバコゴメグサ*	EN	110
ホソバタマミクリ	VU	169
ホソバツルリンドウ	EN	108
ホソバナアマナ*	EN	119
ホソバノキソチドリ	NT	186
ホソバノシバナ	CR	71
ホソバハマアカザ	VU	144
ホソバフモトシケシダ	雑種	187
ホタルブクロ	VU	161
ホッスモ	NT	185
ホロムイソゲ	VU	171
ホロムイソウ	VU	164
ボントクタデ	VU	144

【ま】

マイヅルテンナンショウ	CR	77
マシケスゲモドキ	雑種	188
マスクサ	VU	170
マツカサススキ*	EN	132
マツバスゲ	EN	127
マツバニンジン	EX	39
マツムシソウ	EX	40
ママコナ	EN	111
マメダオシ	DD	177
マルバウスゴ	EN	108
マルバオモダカ	NT	185
マルバグミ	VU	152
マルバサンキライ*	CR	73
マルバシャリンバイ	CR	55
マルバダケブキ*	CR	69
マルバノサワトウガラシ*	EN	110
マルバヨノミ	VU	160
マルホハリイ	EN	131
マルヤマタニタデ	雑種	188

【み】

ミカヅキグサモドキ	雑種	188
ミギワガラシ*	EN	97
ミクリ	留意	188

和名	カテゴリー	ページ
ミクリゼキショウ	CR	74
ミサキカグマ	VU	140

ミズアオイ	VU	166
ミズオオハコ	NT	185
ミズキカシグサ*	EN	104
ミズコナラ	雑種	187
ミズスギ	CR	42
ミズチドリ	VU	173
ミズトンボ	VU	173
ミズニラ	NT	183
ミズハコベ	NT	184
ミズマツバ	EN	104
ミスミンソウ	EN	94
ミズメ	EN	91
ミソガワソウ	CR	63
ミチノクワガタ*	EN	111
ミチノクコゴメグサ	CR	64
ミチノクコザクラ	CR	59
ミチノクサイシン	NT	183
ミチバタガラシ	DD	176
ミツテウラボシ	NT	183
ミツバノバイカオウレン	VU	146
ミツバフウロ	NT	184
ミツバベンケイソウ	VU	148
ミドリアカザ	CR	49
ミドリヒメワラビ	EN	89
ミネアザミ*	EN	114
ミネズオウ	VU	155
ミネハリイ	NT	186
ミノボロ	EN	123
ミミカキグサ	NT	185
ミミコウモリ	VU	163
ミヤマアカバナ	NT	184
ミヤマアケボノソウ*	CR	60
ミヤマアズマギク	CR	68
ミヤマイワニガナ	CR	68
ミヤマウスユキソウ	CR	69
ミヤマウラジロイチゴ	VU	150
ミヤマオシダ	雑種	187
ミヤマオダマキ	CR	50
ミヤマカワラハノキ*	CR	46
ミヤマキタアザミ	EN	115
ミヤマキヨタキシダ	雑種	187
ミヤマキンバイ	VU	149
ミヤマキンボウゲ	VU	146
ミヤマコウゾリナ	VU	163
ミヤマザクラ	NT	184
ミヤマシオガマ*	CR	64
ミヤマシダ	NT	183
ミヤマダイコンソウ	VU	149
ミヤマタゴボウ	EX	40
ミヤマタムラソウ	VU	157
ミヤマツチトリモチ*	CR	47
ミヤマドジョウツナギ	NT	185
ミヤマヌカボ	VU	167
ミヤマネズ	NT	183
ミヤマノガリヤス*	CR	75

和名	カテゴリー	ページ
ミヤマハタザオ	VU	146
ミヤマハハソ*	CR	56
ミヤマハンショウヅル	EN	94
ミヤマヒナホシクサ	EN	121
ミヤマビャクシン	VU	142
ミヤマフタバラン*	EN	137
ミヤマママコナ	VU	158
ミヤママンネングサ	NT	183
ミヤマラッキョウ	CR	73
ミヤマリンドウ	VU	156
ミヤマワレモコウ	EN	100

【ム】

ムカゴソウ	EX	41
ムカゴトラノオ	CR	47
ムカゴニンジン	NT	184
ムカシヨモギ	CR	68
ムサシシケシダ	雑種	187
ムシトリスミレ	EN	112
ムジナスゲ	VU	171
ムシャリンドウ	CR	62
ムラサキ	CR	62
ムラサキボタンヅル	雑種	187
ムラサキミミカキグサ	NT	185

【メ】

メガルガヤ	EN	125
メギ	EN	95
メタカラコウ	NT	185
メノマンネングサ	NT	183
メハジキ	VU	157

【モ】

モウコガマ*	CR	77
モクゲンジ	CR	56
モメンヅル*	EN	101
モリヨシスゲ	雑種	188

【ヤ】

ヤガミスゲ	EN	128
ヤシャゼンマイ	EN	85
ヤシャビシヤク	留意	188
ヤチスギラン	NT	183
ヤチスゲ	NT	186
ヤチツツジ	CR	58
ヤチラン	CR	82
ヤナギスブタ	VU	164
ヤナギヌカボ	NT	183
ヤナギラン	NT	184
ヤハズトウヒレン*	EN	116
ヤブソテツ*	EN	87
ヤブミョウガ*	CR	74
ヤブラン	DD	180
ヤマアイ	VU	152
ヤマアセスゲ	EN	127
ヤマウグイスカグラ	DD	177
ヤマエンゴサク*	EN	96

和名	カテゴリー	ページ
ヤマカライヌワラビ	雑種	187
ヤマジソ	EN	109
ヤマジノタツナミソウ	EN	110
ヤマシヤクヤク	NT	183
ヤマスカシユリ*	VU	166
ヤマスズメノヒエ	CR	74
ヤマゼリ	CR	58
ヤマタヌキラン	VU	169
ヤマトキソウ	VU	174
ヤマトグサ*	EN	105
ヤマトミクリ	VU	168
ヤマドリトラノオ	CR	43
ヤマノコギリソウ	NT	185
ヤマハタザオ	VU	147
ヤマヒロハイヌワラビ	雑種	187
ヤマホソバイヌワラビ	雑種	187
ヤマホタルブクロ	DD	178
ヤマミズ	EN	91
ヤマラッキョウ	EN	118
ヤマルリトラノオ	NT	185
ヤラメスゲ*	CR	79
ヤワラスゲ*	EN	129

【ユ】

ユウシュンラン	CR	81
ユキグニハリスゲ	CR	80
ユキグニミツバツツジ*	EN	107
ユキバタツバキ	雑種	187
ユキワリコザクラ	VU	155
ユビソヤナギ	EN	91

【ヨ】

ヨツバシオガマ	VU	158
---------	----	-----

【リ】

リシリシノブ	VU	139
リュウノヒゲモ	VU	165
リョウウアザミ	DD	178
リンドウ*	EN	108
リンネソウ	CR	65

【レ】

レンブクソウ	VU	160
レンリソウ	EN	101

【ワ】

ワガトリカブト	DD	175
---------	----	-----

秋田県の 絶滅のおそれのある 野生生物

—秋田県版レッドデータブック2014— 維管束植物

2014 (平成26) 年3月 発行

[編集・発行] 秋田県生活環境部自然保護課
〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号
TEL 018-860-1613
FAX 018-860-3835

[印刷] 秋田活版印刷株式会社

Threatened Wildlife of Akita Prefecture

秋田県の絶滅の
おそれのある
野生生物



秋田県版レッドデータブック2014
〔維管束植物〕

Red Data Book of
Akita Prefecture 2014
Vascular Plants